Pandora Hearts

パンドラハーツ

OFFICIAL ANIMATION GUIDE

～パンドラ　ボックス～



Pandora Hearts

パンドラハーツ

OFFICIAL ANIMATION GUIDE

〜パンドラ　ボックス〜





キービジュアル1
原画:小林千鶴　仕上げ:関口智子　背景:影原半蔵　コンポジット:中野剛




アニメージュ　2009年2月号
原画:小林千鶴　仕上げ:関本美津子　コンポジット:中野剛





アニメディア　2009年2月号
原画:小林千鶴　仕上げ:関本美津子　コンポジット:中野剛





キービジュアル2-A
原画:小林千鶴　仕上げ:関本美津子　コンポジット:中野剛





アニメディア　2009年4月号
原画:小林千鶴　仕上げ:岡田小百合　コンポジット:中野剛











ED「私をみつけて。」
イラストレーション:小林千鶴



ニュータイプ　2009年5月号
原画:小林千鶴　仕上げ:関口智子　コンポジット:中野剛









アニメディア　2009年6月号
原画:小林千鶴　仕上げ:松岡珠江　コンポジット:中野剛





アニメディア　2009年5月号
原画:乗田拓茂　仕上げ:松岡珠江　コンポジット:中野剛



アニメージュ　2009年4月号
原画:乗田拓茂　仕上げ:関口智子　コンポジット:中野剛



PASH！　2009年5月号
原画:小林千鶴　仕上げ:岡田小百合　背景:KLAS　コンポジット:中野剛





ニュータイプ・ロマンス　2009年SUMMER
原画:堀たえ子　仕上げ:松岡珠江　背景:KLAS　コンポジット:中野剛





アニメディア　2009年7月号
原画:藤原奈津子　仕上げ:岡田小百合　背景:KLAS　コンポジット:中野剛





アニメディア　2009年8月号
原画:堀たえ子　仕上げ:松岡珠江　背景:KLAS　コンポジット:中野剛

PandoraHearts

～パンドラボックス～の発売を記念して、
夢のコラボイラストが完成!!　でかギル×ちびギル、
ふたりの描くギルギルワールド♥



原作者
望月淳 & キャラクターデザイン 小林千鶴
Mochizuki Jun　Kobayashi Chizuru

Special Collaboration!!!



To　小林さん

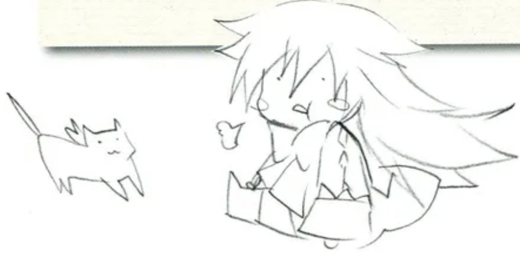
小林さんの描かれる活き活きとした線が大好きです。
服のふわっとした感じもいつも勉強させていただきました。
アニメのやわらかそ〜うなアリスの美脚に負けないように、
これからも頑張って女の子の脚を描いていこうと思います。
パンドラのキャラを描いてくださって本当にありがとうございました。

From　でかギル担当　望月淳

To　望月先生

いつも温かい目で見守っていただきありがとうございました。
パンドラに関われた期間が、私の中で
とてもかけがえのないものになりました。
本当に幸せ者です！
アニメは終わりましたがイチファンとして
これからも原作を楽しみにしております！

From　ちびギル担当　小林千鶴





Pandora Hearts

パンドラハーツ

OFFICIAL ANIMATION GUIDE

～パンドラ ボックス～

CONTENTS

ACCORD BOX

PRESIOUS BOX

FORTUNE BOX

ACCORD BOX

原作者・望月淳によって作られたキャラクター達は
キャストによって息を吹き込まれ、新しい一面を魅せる。
彼らが奏でる響きをお楽しみあれ！

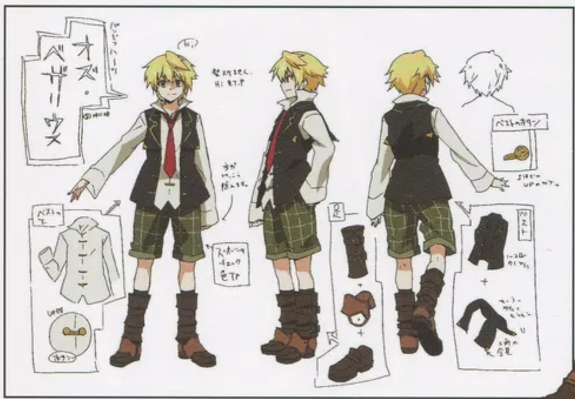


Face pattern

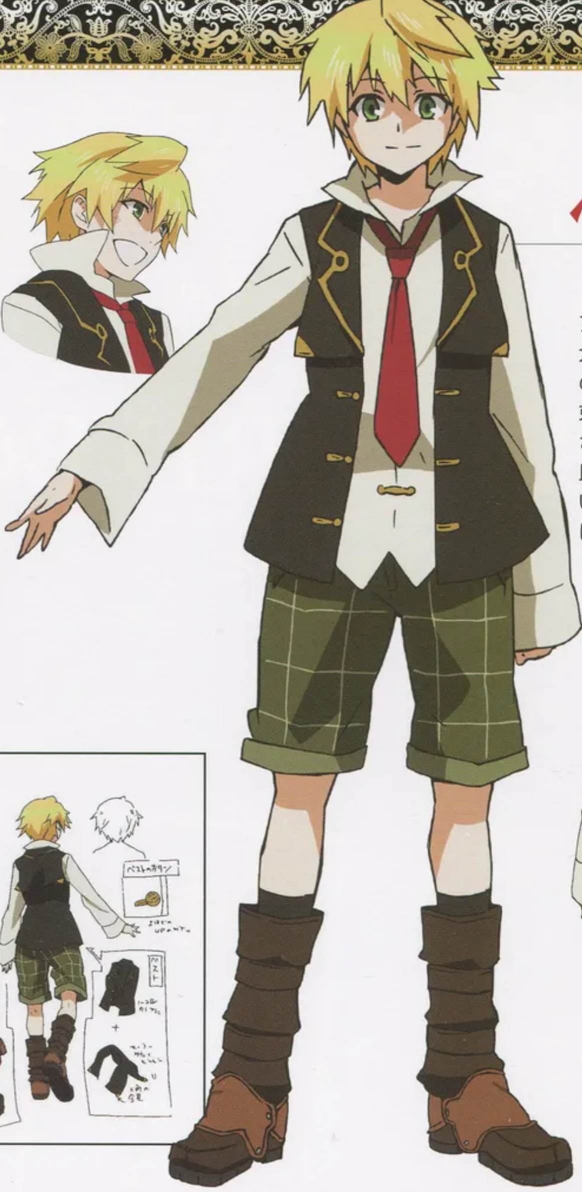


SD character





キャラクター三面図





オズ＝ベザリウス

Oz Vessalius

CV：皆川純子

アリスの契約者、15歳。四大公爵家の雄・ベザリウス家の跡取り息子として将来を約束されていたが、成人したまさにその日「バスカヴィルの民」に襲われ、身に覚えのない罪によって異空間アヴィスに堕とされてしまう。



存在さえ否定する、忌まわしき呪詛の言葉

生まれてこなければよかった——それは、父に投げつけられた呪いの言葉。己の居場所も存在する意味も見失ったオズは、やがて哀しい結論に辿り着く。自分は、価値のない人間なのだと。ならば全てを受け入れよう。涙も痛みも、笑顔で隠してしまえ……と。



「最初からそういう事だったんだよ…全て受け入れてしまえばいい…」



過去のオズ

幼い頃からやんちゃだったオズは、動きやすい服装が好み。ギルと出会ったのは10歳頃で、当時からよき主の片鱗を見せていた。



Costume variation



Others



天使

女の子大好き！ フェミニストのオズに恋の矢を打ち込むキューピッドは本人そっくり!?







懐中時計

オズが肌身離さず持ち歩いている懐中時計。100年前に真実に関わる重大な手がかりのひとつ。





自分の姿を探し、現実を見つめる探求者

失われた記憶を求め、必死に手をのばすアリス。では、オズは一体何を探しているのか？ バスカヴィルの言う「罪」の意味を探る中、彼は「本当の探し物」に気付く。それはあの日に見失った自身の姿——生きて、今ここに存在する誇りと喜びだった。

「俺は恥じる事なく、迷う事なく、在り続ける！ オズ=ベザリウスとして！」



ギルバート＝ナイトレイ

Gilbert Nightray

CV：鳥海浩輔

オスカーに拾われたことが縁で、オズの従者、親友となった孤児。後に主をアヴィスの闇から救いたい一心で、仇敵・ナイトレイ家の養子となる。オズと出会う以前の記憶を失っているが、実は100年前の「サブリエの悲劇」に関わっていた可能性も……。

Face pattern

SD character





キャラクター三面図

かけがえのない人に出会った、あの日

傷だらけで発見された少年・ギルが覚えていたのは己の名。そして「マスターを守る」という根拠のない、けれど確かな使命感。事実、主・オズは守るに値する少年だった。天真爛漫だが自分に厳しい努力家。そんなオズは、ギルの誇りでもあった。





「俺は今でもあなたの従者でありたい」



幼い頃のギルバート

繊細で愛らしい少年だったギル。この頃からネコ嫌いでヘタレな性格をしていた。

Costume variation



Others



ギルの帽子

エイダからプレゼントされたもので、「オレはあの帽子がいいんだ！」とゴネるほど愛着のある品。







ギルの銃

戦闘では銃を愛用、非常時でない限り鴉（レイヴン）は使わない。射撃は裏社会の仕事をこなす中で覚えたもの。





守りたいものは、自分の心……？

失われた光・オズを取り戻すためギルは鴉（レイヴン）の力を求め、ついにその手を血で染めた。しかしオズのためと懸命になるほど、彼は主の本当の姿を見失っていく。オズを守ること、必要とされることで安心を得るギル。果たして、彼が真に守りたいものとは……？

「お前は独りではない。常に我々と共にある事を、忘れないでほしい」



SD
character

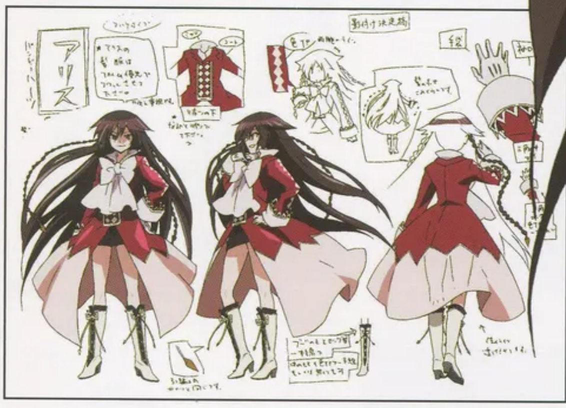
アリス

Alice　CV：川澄綾子

外見、中身とも人間に近い特異なチェインで、通称「血染めの黒うさぎ（ビーラビット）」。名前以外のことは覚えておらず、失った記憶を探そうとオズと強引に契約し、人間の世界にやって来る。だがその出生には、恐るべき秘密が隠されていた……！



キャラクター三面図



Face pattern





記憶の彼方にかすむ過去、あいまいな現在

肝心なページが破られた物語のように、アリスは人として暮らしていた頃の記憶を失くしていた。生きてきた足跡、存在を証明する。それを取り戻したいと願うのは、本能にも似た望み。でも、ならばなぜ——アリスは忘れてしまったのだろう？



「私は…知らなければならないから…自分がなんのために生まれて来たのかを！」



"100年前"のアリス

アリスがまだ人間だった頃の姿。ハサミで首を切られ何者かに殺害された後、アヴィスに堕ち、チェイン化したようだ。

Costume variation



Others



血染めの黒うさぎ ビーラビット

アリスが本来の力を解放した状態。凶暴で、他のチェインからも恐れられる。







心強い味方「同志」と手を取り合って

自分は何者なのか？　チェインなのか人なのか？　知らないことは不安で、しかし知ってしまうことも怖ろしい。不安と恐怖に揺れる彼女を救ったのは、昔のアリスではなく「今のアリス」を理解し、受け入れてくれるオズの存在だった……。

「欲しいものは奪い取る！　邪魔する奴はなぎ倒す！　それが今の私、ビーラビットのアリスだ！」



「それはきっと…
『誰かのために』を
『言い訳』にしない事だよ…」



咎人に残された唯一のあがない

閉ざされた忠誠の果てに罪を犯し、「アヴィスの意志」とある取引をしたブレイク。歪められた過去に一時は彼女を恨みもしたが、やがて己が罪と向き合うため、残る命を「100年前の真実」探求に捧げる決意を固める──。

ザークシーズ＝ブレイク

Xerxes Break CV：石田 彰

レインズワース家に仕える神出鬼没の青年。使用人として、またパンドラの一員として、常にシャロンのかたわらに控えている。契約の影響で成長、老化が止まっているが、実は余命わずかの身であるらしい。





Face pattern

"ケビン＝レグナード"

50年ほど前、シンクレア家の騎士だった彼は主を救うためチェインと違法契約。「紅眼の亡霊」と呼ばれ恐れられた。



Costume variation





シャロン＝レインズワース

Sharon Rainsworth

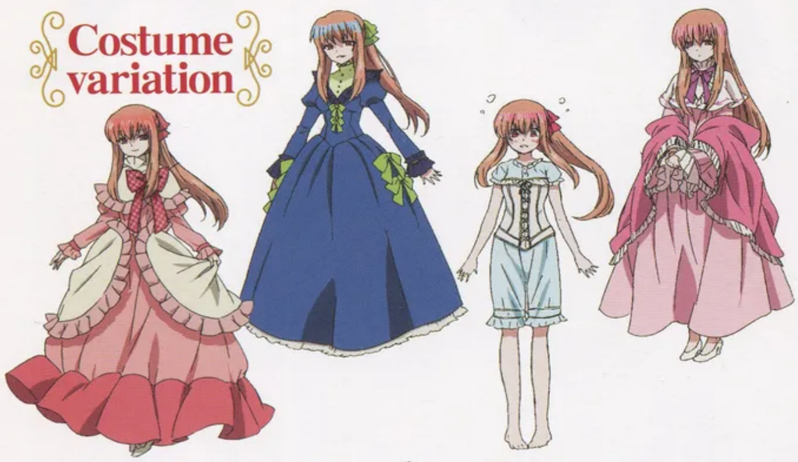
CV：花澤香菜

美しさと知性を備えた令嬢。四大公爵家の当主・レインズワース女公爵の孫娘としてパンドラの活動に参加、チェインと正規の契約を交わしている。外見は13歳、実年齢は23歳で、ブレイクと同様、身体の成長が止まっている。



Face pattern

Costume variation



ありし日のレインズワース家

左の女性が母・シェリー。バルマ家のレイムとは当時から親交があった。瀕死のブレイクを救ったのもこの頃で、以来、実の兄妹のような関係に。







「私は…ザクス兄さんの役に立ちたくて、ここにいるのに……」



この想いを強さに変えて

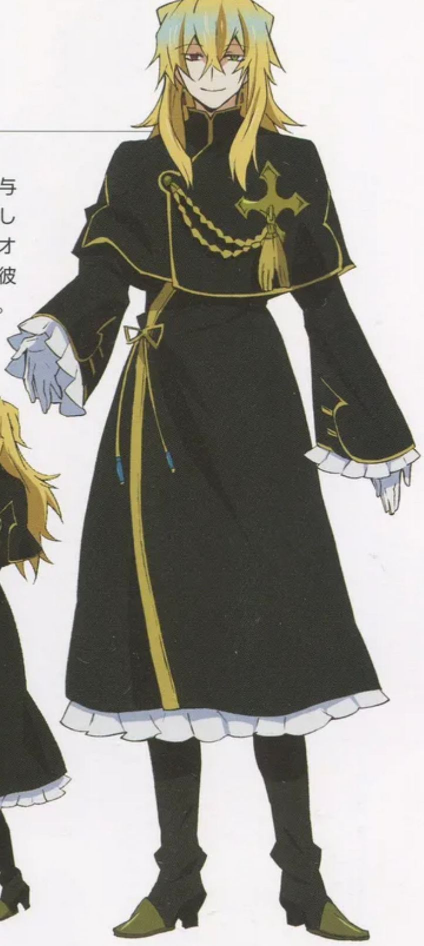
柔らかな笑みを絶やさないシャロンが、芯の強さを発揮する時。それは「ザクス兄さん」ことブレイクの手助けをする時だ。彼の願いは自分の願い——大切な人の「生きる理由」のため、彼女は自らの意志で危地に飛び込む。



ヴィンセント＝ナイトレイ

Vincent Nightray CV:福山 潤

ギルの実弟。幼い頃「サブリエの悲劇」に関与しアヴィスに堕ちたが、何らかの方法で脱出しオズ達の時代へとたどり着いた。金と赤紫のオッドアイはこの国でも珍しい身体的特徴で、彼の過去、素性の一端を知る手がかりとなった。



Face pattern



「誰も知る必要はないんだ、100年前の真相なんて…」



罪をひた隠す卑怯な「言い訳」

100年前、彼は「ギルのため」にある重大な過ちを犯した。兄のためなら仕方ないという甘え、罪を直視できない弱さ。だから彼は、真実に恐怖する。陰湿な謀略、隠蔽工作は、実は罪悪感の裏返しなのかもしれない。

底知れぬ、過去からの来訪者

「サブリエの悲劇」が起きた当時と、ナイトレイ家に引き取られた頃の姿。美しいが、どこか底知れない雰囲気を漂わす少年だった。









エコー

Echo CV：広橋 涼

ヴィンセントの身の回りの世話をしている使用人。感情を表に出さない淡々とした少女で、主の理不尽な命令にも決して逆らうことはない。身体能力が高く、袖に隠し持った暗器でチェインに立ち向かうことも。

Face pattern







「放っておいて下さい。
うざいです」



ひとつの意志が救った命

ヴィンセントの忠実な人形——ただその言葉に従うだけの、意志なき日々。しかしエコーは、主に逆らってまでシャロンの命を救う。彼女を突き動かしたものは、人形が決して持ち得ない、血の通った「人の心」だった。

Others

ヴィンセントの銃

10話でフィリップの父を殺害した凶器。彼もギル同様、幼い頃に裏社会の仕事に手を染めたのかもしれない。



（右側面）

（銃の刻印）



（左側面）



解毒剤の小瓶

ヴィンセントがシャロンとエコーに飲ませた毒の解毒剤。







ナイトレイ家の紋章

四大公の影の部分を担う家だけあり、紋章もナイフを思わせる、ものものしいデザイン。





ヴィンセントのハサミ

ハサミで物を切り裂く趣味がある。彼の残忍性を象徴するアイテムだ。



「会いたかった…
会いたかったよ…」







「オズもギルもオレにとって
大切な息子なんだ」



オズを包みこむ家族愛

愛する家族が、ある日突然いなくなる――オズが消えたこの10年を、エイダとオスカーはどんな思いで過ごしたのか。自分には価値がないと思いこんでいるオズ。しかし彼を心から想う人達が、確かに存在しているのだ。

エイダ=ベザリウス

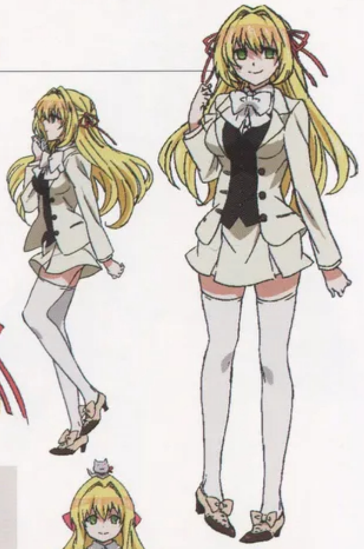
Ada Vessalius　CV：福原香織

オズの妹。兄と生き別れた当時はまだ小さな女の子だったが、現在はオズより年上の18歳。超名門校・ラトウィッジ校で学んでおり、エリオット達とも顔見知りだ。



ダイナ







幼き日の兄妹

エイダ3歳、オズ10歳頃。当時から優しく面倒見のいいオズが大好き。もちろん、兄妹の絆は今も変わらない。





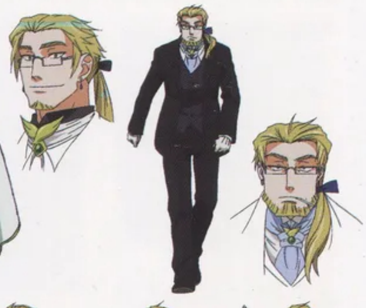
エイダ7歳

オスカー=ベザリウス

Oscar Vessalius　CV：梅津秀行

ベザリウス家の当主にしてオズの叔父。包容力あふれる人物で、オズやギルにとっては父にも等しい存在だ。友人も多くシャロンやブレイク、レイムとも親しい。





Costume variation





エリオット＝ナイトレイ

Elliot Nightray　CV：野島裕史

ナイトレイ公爵の実子。正義感が強く、自分の信念をストレートに口にできるタイプ。ピアノの名手で、オズの持つ懐中時計のオルゴール曲「レイシー」の作曲者を自称するが……。

Face pattern





リーオ

Leo　CV：渡辺明乃

エリオットの従者にして親友。ともにラトウィッジ校に通う秀才だが、性格は正反対で、カッとなりやすい主のセーブ役を務めている。ナイトレイ家の関係者でありながら、オズに対して好意的。





Face pattern



「そのまま進もうが戻ろうが、違う道を行こうが全ては…お前次第だ！」







「相手の事情も考えずに言いたいこと言っちゃうのは、君の悪いクセだよ」



熱血マスターとマイペース従者

強い光を思わせる少年・エリオットと、マイペースで理性的なリーオは、オズ、ギルとはまた異なる友情、主従関係で結ばれている。だからこそ言える彼らの率直な言葉、心づかいは、オズに前へと進む勇気を与えた。



「頼む…どうか彼を
止めてやってくれ。
私の唯一無二の友を…」







「この城にいる者は一人残らず
殺せ!! 今すぐにだ!!」



英雄を襲った親友殺しの悲劇

貧乏貴族と、特別な家柄の当主。にぎやかなジャックと寡黙なグレンはまるで動と静、互いにないものを持つ親友同士だった。そのふたりがなぜ、殺し合わねばならなかったのか？真実は100年前の闇の向こうにある――。

ジャック=ベザリウス

Jack Vessalius CV：小野大輔

「サブリエの悲劇」で国を救い、英雄と讃えられる歴史的人物。100年前、ベザリウス家の三男として生まれ、グレンやアリスと親交をもつように。オズが拾った懐中時計の作者でもある。



Face pattern







Costume variation

グレン=バスカヴィル

Glen Baskerville CV：谷山紀章

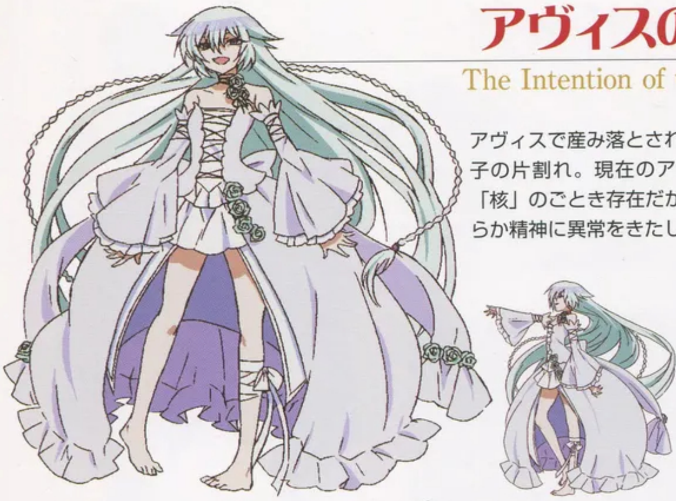
バスカヴィル家の当主。「サブリエの悲劇」を引き起こした張本人で、親友・ジャックと対決し、殺害されたといわれている。オルゴール曲『レイシー』の作者。











アヴィスの意志

The Intention of the Abyss

CV：川澄綾子

アヴィスで産み落とされたアリスの双子の片割れ。現在のアヴィスを創る「核」のごとき存在だが、その影響からか精神に異常をきたしている。

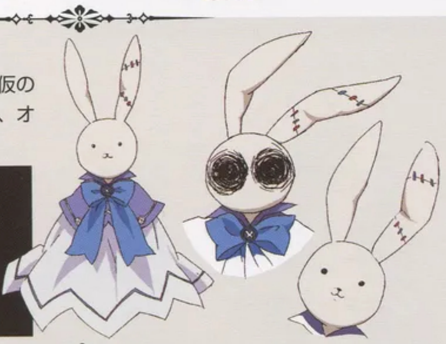


「本当に……
私の願いをかなえてくれる？」

深淵からの呼び声

こちら側の世界に干渉する際の仮の姿。アヴィスにいながらにして、オズ達に接触をはかってきた。











チェシャ猫

Cheshire　CV：山口勝平

100年前、アリス（アヴィスの意志）が可愛がっていた黒猫がチェイン化したもの。アヴィスの意志の狂信者で、異空間に潜み「アリスが最も忘れてしまいたい記憶」をひっそりと守っていた。



「チェシャはあの子のためだけにここにいる。あの子のためにお前らを殺すんだ!!」



アリスの唯一無二の友人

アリスの孤独をなぐさめていた猫。ヴィンセントの手で眼をえぐられ、光を失う。







純白の少女に捧げる黒猫の想い

チェシャがなついていた少女。それはアリス本人ではなく、アリスの身体を借りたアヴィスの意志だった。大切な「あの子」を守る騎士になりたい。純粋な願いに突き動かされ、チェシャは彼女の敵・アリスに牙をむく——！



「私は何ひとつ聞いておりませんっ！」





「我が求めるのは情報」





「あやつは存在していてはいけない」



レイム=ルネット

Reim Lunettes

CV：諏訪部順一

バルマ公に仕える、きまじめで有能な人物。10年来の友人として、またパンドラに属する同僚として、ブレイクのよき理解者であり続ける。動揺するとメガネを拭くクセあり。



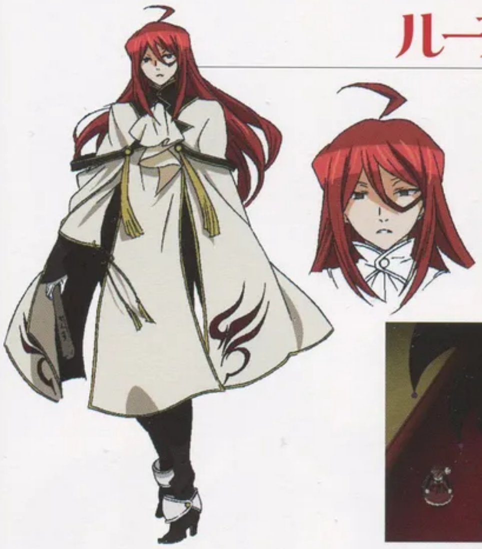


ルーファス=バルマ

Rufus Barma

CV：内田夕夜

バルマ家の当主にして四大公の最年長。知識と情報を駆使して真実を追う理論派でもある。人間嫌いの変人としても有名で、幻影を創り出す力を用い、人を惑わすような一面も。





ザイ=ベザリウス

Zai Vessalius

CV：大川 透

オズとエイダの父。理由は不明だが、息子をひどくうとんじており、子供らの面倒はオスカーに任せきりだった。10年前、オズがアヴィスに堕とされた日から行方知れずとなっている。





バスカヴィルの民

The Baskerville race

「紅き死神」「アヴィスの使者」とも呼ばれる者達。「アヴィスの意志を手に入れる鍵」としてオズを危険視し、アヴィスに堕として断罪するが……。





バスカヴィル・リーダー

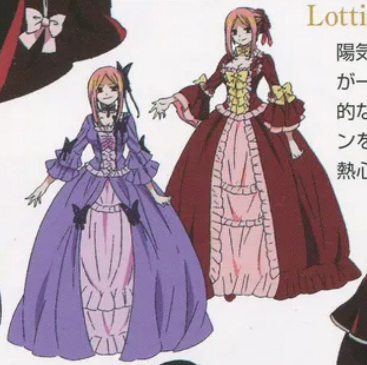
Leader of Baskerville CV：大川 透

仲間を率い、オズをアヴィスへと堕とした人物。

ロッティ

Lottie CV：豊口めぐみ

陽気だが妖艶、非情だが一途という、小悪魔的な魅力を持つ。グレンを慕い、彼の行方を熱心に探している。



Costume variation





ツヴァイ

Zwei CV：広橋 涼

10年前にギルを操り、アヴィスへの道を開いた人物。幼さの残る残忍さ、身勝手さで仲間を振り回すことも。





ダグ

Dug CV：白熊寛嗣

毒の収集を趣味とする巨漢。ヴィンセントに渡した毒薬は、彼のコレクションのひとつだとか。



ファング

Fang CV：近藤孝行

大刀を操る武闘派。ロッティの護衛役のような存在らしく、いつも彼女を気にかけている。



「何度、あんたがグレン様を殺そうと、何度でも見つけ出してみせる！」



混沌を呼ぶ死神たちの暗躍

悲劇から100年、再結集した彼ら目的はふたつ――まず四大公に奪われた4つの「扉」と、そこに封じられた4体のチェインの奪還。そして、今なお生きていると思われる当主・グレンの居場所を突き止めることだという。

Guest Character
ゲストキャラクター



花売りの少女
CV：名塚佳織
ノーザンブリアの違法契約者。時間切れを迎え、オズの眼前でアヴィスに堕ちた。



ケイト
CV：久川 綾
ベザリウス家の家政婦を努める女性。





パンドラスタッフ
ドルダムに操られ、オズ達を襲ったパンドラの構成員達。



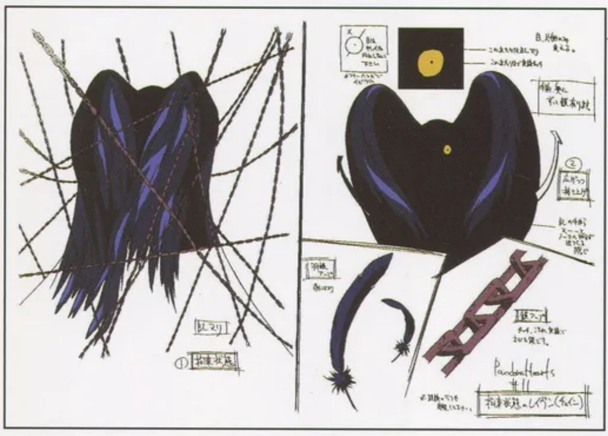
フィリップの父
CV：置鮎龍太郎

フィリップ
CV：比嘉久美子
没落貴族の息子。貧しいながらも、父との暮らしに幸福を感じていたが……。



酒場の客
CV：金光宣明（左）
CV：櫻井浩美（中央）
CV：竹内良太（右）
ギルの帽子を拾ったチンピラトリオ。オズ達3人と腕相撲勝負し、ヒドい目にあう。

Chain
チェイン



鴉 レイヴン（契約者：ギルバート）
ナイトレイ家所有。アヴィスへの道を造るという。



眠り鼠 ヤマネ（契約者：ヴィンセント）
自身だけでなく、契約者も眠りに誘う。能力は不明。





一角獣 エクエス（契約者：シャロン）
影と影をつなぎ、往来可能な穴を造る。移動、諜報に力を発揮。

イカレ帽子屋 マッドハッター（契約者：ブレイク）
チェインを消滅させる力を持ち、恐れられている。



グリフォン（契約者：ザイ＝ベザリウス）
ベザリウス家のチェイン。ザイがオズ断罪の際に使役した。



ドルダム（契約者：ツヴァイ）
人の心身を操る「マリオネット」の力を持つ。



イラスト：弥南せいら

望月淳×キャスト Presents

『PandoraHearts』TEA PARTY!

2009年7月某日——都内某所にて『PandoraHearts』キャスト&原作者望月先生達による、ささやかなティーパーティーが開催されました。その模様を少しだけお届け♥

望月淳　今日はお集まりいただき、ありがとうございます。
川澄綾子　ティーパーティーなんですね。
望月　楽しくお話できればと思いまして。
皆川純子　もうすぐアフレコ収録も終わってしまいますね……。
川澄　今日は23話の収録だったしね。
皆川　私的には本当にこの現場も作品も愛しているので、一歩一歩終わりに近づくというのは寂しいなと感じているんですよ。今日のアフレコ前に『パンドララジオ スペシャルCD』の収録で、綾ちーと鳥海さんと一日中一緒だったんですけど、移動のタクシーの中で、「どうにか、終わらない方向はないか」とか「終わりたくないね」って話していたんですよ。みんな名残惜しい感じで。
望月　残り2話の収録となってしまいましたが……24話、25話についてはどうですか？
花澤香菜　今後のアニメオリジナル展開が、すごく気になりますよね！
皆川　気になる！ って、今日の収録からオリジナルだよ!!
一同　（笑）。
皆川　どうなるんだろうね。
花澤　マネージャーさんからいただく、次の台本がすごく楽しみでした。
石田彰　原作だと、話が進むにつれて、物語がすごくシリアスな方向にいくからね。
望月　そうですね。だいぶ重たい感じに。
石田　そして、シリアスになるほど……エミリーがしゃべらない。
花澤　そうそう（笑）！
石田　でもアニメでは23話からのオリジナル展開になった途端にエミリーがしゃべりはじめた！ 今まで溜めていた、アニメスタッフのエミリーへの想いが一気に解放された感じなのかな、みたいな。
皆川　そうですね（笑）。今日の収録で、久しぶりにエミリーの声聞いたなって思いましたもん。
川澄　22話までで原作のお話をきちんと描いて、23話からの3回でちょっとスペシャルな感じなのかな？ いろんなキャラクターが出てくるしね。
皆川　うん。演じてる側としてもまったく展開が読めない。終着点が見えないんだよね。
花澤　そうですよね。だからアニメオリジナルの3話は本当に楽しみです。原作では見られないようなシーンも、たくさんありそうですしね。
皆川　これもひとつの分岐点だよね。原作とアニメオリジナル。もうひとつの『PandoraHearts』として観てもらえればいいよね。ギル的にはどうですか？
鳥海浩輔　23話の最後が「街が燃えている」っていうセリフで終わったじゃないですか。とんでもないところで。で、ここで立ち上がった5人の勇者達が…（笑）。
一同　（笑）。
鳥海　どういう結末に向かうのかが、非常に気になるところですよね。あの終わり方は。この本が出る頃には明らかになってるんだろうけどね。
皆川　『PandoraHearts』における首都は、本当に悲惨だよね。
望月　そうですね。アヴィスに堕とされたり、燃えたり……。ごめんなさい！（笑）

TEA PARTY 参加の皆様



皆川純子さん

オズへ一言!

これからも望月先生があなたにいろんな試練を与えると思いますけど……強く生きてください。そしてあなたが心から笑っていますように。

PROFILE
東京俳優生活協同組合所属。11月22日生まれ。茨城県出身。主な出演作品は、『テニスの王子様』越前リョーマ役、『戦場のヴァルキュリア』ロージー役など。



鳥海浩輔さん

ギルへ一言!

幸せになってください。心の底から。どんな形であれ。

PROFILE
アーツビジョン所属。5月16日生まれ。神奈川県出身。主な出演作品は、『NARUTO』犬塚キバ役、『テイルズ オブ ヴェスペリア』ユーリ・ローウェル役など。

あの人があのキャラを!? 意外なオーディション秘話

望月　今日はジャックの懐中時計のモデルになった時計を持ってきたんですよ。
皆川　ここから『PandoraHearts』が生まれたんですね。すごくステキ！
川澄　「レイシー」の曲が入っていたら、欲しい人いっぱいいますよね。
望月　自分が買います！　アシスタントさんの分も！
鳥海　先生はもらってくださいよ（笑）。
望月　（笑）。あ、もしよろしかったら、お茶菓子もどうぞ♥
皆川　今日はひたすら食べてばっかりだね（笑）。（※1）
一同　（笑）。
望月　今回、初のアニメ化ということで、何もかも初めての経験だったんですが、完全に「アニメになるんだ」って確信したのは、8話の放送を観た頃なんですよ。
皆川　おそ！　じんわりですね（笑）。
川澄　ずっと騙されてると？
望月　はい（笑）。すごく感動しちゃって、自分のブログに『PandoraHearts』の絵をのっけてた記憶があるんですよ。アニメの感想と一緒に。それまでは、監修チェックとかに気をとられていて、まともに観れたのが8話だったんですよね。「パンドラがアニメ化だよ！」ってびっくりしました（笑）。
皆川　実は私、まさかオズ役に受かるとは思ってなかったんですよ。
望月　どうしてですか？
皆川　以前、原作のドラマCDでオズ役をやらせていただいたのですが、わりと、アニメ化する時にキャストが変わることが多いんですね。なので、オーディションすら受けられないかなって思ってたんですよ。でも、お話をいただけたんで、マネージャーとも「ダメかもしれないけど、頑張るよ」って話してて。だから受かった時はもう……「うっそ！」って感じでした。嬉しかったですね。
鳥海　2回あったんですよね、オーディション。
皆川　え、そうだったの？
鳥海　僕は最初のオーディション時にはギルを受けさせてもらったんですけど、2回目にはなぜかブレイク役も追加されてたんですよね。
一同　（笑）。
鳥海　でも、ブレイクは石田さんだよなーって。僕がやってみても、しっくりこないんですよ、自分の中で。
皆川　言ってたよね、オーディションの時から石田さんの声で聞こえたって。
鳥海　で、正式にブレイク役が石田さんに決まって「良かった！」って（笑）。
皆川　自分が受かったことじゃないんだ。
鳥海　うん。
石田　僕はブレイクしかオーディション受けてないんだけど……、話が来たのはどのタイミングだったんだろう。
川澄　かなり前の段階からですよ。決まりましたって知らせがくるまでも、かなり時間が空いていましたね。
望月　オーディションはアニメスタッフの皆さんと一緒に自分も参加させていただいたんですが、花澤さんの演技がすごく印象的でしたね。ブレイクをなぐるシーンがあったじゃないですか。あれ、他の皆さんはわりとおしとやかに演じていらっしゃるのに、花澤さんだけ「うらー！」って。一番元気で、よく覚えてます（笑）。
皆川　すごいパワフルなシャロンだったんだね。
花澤　シャロンみたいな、精神面で大人っぽい役をやったことがなかったので、マネージャーさんと一緒に、「もっとなにかを含ませて！」「もっと黒く！」って、かなりやり直してました（笑）。
望月　活き活きとしてましたよ。
花澤　すごく怒鳴った記憶があります。
皆川　石田さんを？
一同　（笑）。
石田　その頃から想定して演じてもらえて嬉しいです。
花澤　いえいえ……。すごく必死だったんで、受かったって聞いた時にはマネージャーさんと手を取り合って喜びました。実は一時間も練って出来たキャラクターだから……。
川澄　本当!?
花澤　はい。決まったけど……どうしようって気持ちもありました。だから、アフレコがはじまってからの方が緊張してたんです。



モデルとなった懐中時計。川澄さんは、手に取った時のその重みに感動！　現在は入手困難とのこと。

※1 詳しくは『DJCD　パンドララジオ　スペシャルCD　Vol.2』（p.109 参照）をチェック！

望月　実際にキャストさんが決まってからは「本当、こんな豪華なキャストさんでいいのかな」ってもう、ビクビクしてました。
川澄　私はアリスとシャロンを受けさせていただいたんですが、シャロンのオーディション資料に「中身は30歳ぐらいのイメージで」ってあったから、完璧30歳で演じちゃいました。
一同　(笑)。
川澄　すごい上から目線で、もう……酸いも甘いも知ってる大人、みたいな演技で。でも正直、シャロンもアリスもちょっと違うなって感じていたんですよね。
皆川　普段の綾ちーだったら、シャロンだよね。私のイメージだけど。「ザ・ヒロイン」みたいな?
川澄　そうなの。シャロンがもうちょっと見た目にも大人だったら、しっくりきたのかもしれないけど。アリスは……私、あんまり「下僕」とか言ったことないんで。
皆川　まぁ、普通言いませんよね(笑)。
皆川　そこで、今までにない川澄綾子の



川澄さんver.のシャロンなら、ハリセンの威力も倍増しそう!?
ちなみに、実際のシャロンの精神年齢は23歳です!

引き出しを?
川澄　そうだね(笑)。でもマネージャーさんと「これちょっと面白いよね。川澄、初ツンデレじゃない?」って。どうせなら、今までやったことない感じでやってみようよって、楽しんでやってた。だから、「受かりました」って連絡が来た時(笑)。「どっち!?」ってまず聞きました(笑)。
鳥海　僕も「どっち?」って聞いた。
一同　(笑)。
川澄　アリスに決まったって聞いた時はびっくりした。演じたことのないキャラクターって、緊張するじゃない? 「あーっはっは!」みたいな高笑いもあんまりしたことないし。
皆川　でも、けっこうお似合いでしたよ?
川澄　そうですか(笑)。今までは肉好きなキャラよりは草食系が多かったんで。アリスを演じられて、すごく面白かったです。
石田　僕はどう勘違いしたのか、オーディションの時に、エミリーもやってるつもりになってたんですよ。だから、ブレイク役に決まった時、「ちょっと待て、決まったのは嬉しいんだけど、これ(エミリー)どうするんだっけ? どうやってやってた? 思い出せないんだけど」って、事務所で大騒ぎしたんだよね。
皆川　実際はやってないのに?
石田　そう。スタッフが「オーディションの時はエミリーはやってなかったんですけど」って言ってるのに、「いや、やってる! やった記憶あるもん!」って。
一同　(笑)。
石田　そんな思い込みをしていたこともあって、最初に登場した回で、スタジオに入ってまず、加戸監督と高寺さん(音響監督)に「僕、エミリーってどうやってました?」って聞いたんだよ。
皆川　「エミリーどうしたらいいんでしょうかって」困り顔の石田さんが初回のスタジオに居ましたね(笑)。
鳥海　でも最初に演じられた感じのままでいきましたよね。
石田　監督達に「自由にやってくれていいよ」っ言われたからね。で、結果、あなりました。
望月　ブレイクとエミリーを同時に演じられてるのを観てびっくりしました。
皆川　別録りじゃないですしね。
望月　石田さんと花澤さんは初共演だとお聞きしました。印象はいかがでした?
石田　すごくシャロンにぴったりだと。
花澤　……嘘ついてる……。
一同　(笑)。
石田　本当のことを言うとね(笑)、ビジュアル的にはばっちりだと。だけどさっきも言ってたとおり、シャロンは見た目と中身にギャップのある難しい役じゃないですか。だから、花澤さんは、実年齢もお若いので大変じゃないかな……とは思いました。でも、すごく頑張ってるし、シャロンだよ! 問題ないですよ!
川澄　よかったね!
花澤　今日はよく眠れそうです。
一同　(笑)。
皆川　他の皆さんもぴったりですよね。新た綾ちーのアリスは意外でしたけど、新たな川澄綾子が見れたし、ぴったりだし。
川澄　アリスの、口で上手く言えなくて手や足が出ちゃうっていうのはわかるかな。「うわぁ~~」ってもどかしい感じ。でも普段の私とまったく違うから、演じていて気持ちいいですね。今日もビーラビットで叫びまくりました(笑)。

川澄綾子さん



アリスへ一言!
アリスの笑った顔が好きです。いろんな人がアリスに笑ってほしいと思っているので、そうなったらいいな。

PROFILE
大沢事務所所属。3月30日生まれ。東京都出身。主な出演作品は、『のだめカンタービレ』野田恵役、『とある魔術の禁書目録』ローラ・スチュアート役など。

石田彰さん



ブレイクへ一言!
不幸な人生をたどることになっちゃったけど、君がやったことはすべて、無駄ではないから。無駄だったなって思うかもしれないんだけど、君は頑張ったんだからね。

PROFILE
フリー。11月2日生まれ。愛知県出身。主な出演作品は、『スパイラル～推理の絆』アイズ・ラザフォード役、『ヱヴァンゲリヲン新劇場版』渚カヲル役など。

花澤香菜さん



シャロンへ一言!
あんまり頑張りすぎないでね。女の子なんだから、もうちょっと頼るところは頼ってもいいんじゃないかな。

PROFILE
大沢事務所所属。2月25日生まれ。東京都出身。主な出演作品は、『セキレイ』草野役、『魔法遣いに大切なこと～夏のソラ』ソラ役など。

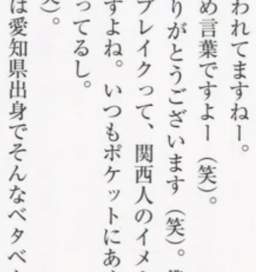
謎だらけのストーリー 一番の謎はブレイク!?

鳥海　実はこのメンバーが揃ったのは、2話の収録からなんだよね。
皆川　そうは言っても鳥海さんは二言だけだからね。
鳥海　「けっこうだ」って。
一同　（笑）。
川澄　もう23話まで進んだから思うんだけど、『PandoraHearts』は他の作品とは違う印象を受けたんだよね。
望月　どんな印象ですか？
川澄　キャラクター一人一人が、いろな面を持っているじゃないですか。自分自身も気付いてなかったり、知らないような。それがフラッシュバックというか、断片的にでてきたりするのが他とは違うかなって。
皆川　そうだね。特にブレイク！　原作を読んだ時、最初は敵か味方かわからなかった。敵かなーって思ってたんだけど、「違う、この人すっげーいい人だ」っていう発見があったんだよね。そこは一番落差が大きかった。まあ、パンドラの登場人物は全員怪しいんだけど。
望月　ブレイクは最初から「いい人」で描いてたんですけどね（笑）。
一同　え――――！
石田　狙いじゃなかったんですか？　どちらにも見えるようにっていうのは。
望月　全然違いますね。むしろブレイクは言いにくいこともずばずば言ってくれるし、悪いことは指摘してくれるし。
皆川　でも、なんか食えない人ですよね。
望月　原作でブレイクのそういう場面を描くと「ブレイク、ひどいです！」って言われますね。「オズをいじめないでください」とか。
鳥海　ストレートなことしか言ってないのに、ブレイクが言うとそう聞こえないって感じなんですかね。
皆川　わかりづらいんですよ！　原作を読み返して、「ブレイク、ここで助言してた」ってやっと気付きますからね（笑）。
望月　そう、ちゃんと助言してくれてるんですよ（笑）。職場では「ブレイクはいい人、ギルはひどい人」って（笑）。
鳥海　なんでですか!?
望月　自分の歪みに気付いていないところとか（笑）。
皆川　マスター依存症だしね（笑）。
川澄　1話の収録のあと望月先生とお食事に行った時、「こんなにネタバレしてもいいの!?」っていうくらい原作の話をしてもらったよね。
望月　「ネタバレですけどいいんですか？」って前置きしてからお話ししましたよね。で、皆さんが「どーんとこい」って言ってくださったので。
皆川　でも聞いておいて良かったよね。
望月　反応が面白かったんで（笑）。
川澄　なかなか教えてくださらない原作の方も多いのに、たくさん答えていただきましたよね。
皆川　それでもまだ謎があるんですよね。
鳥海　特にこの作品はずっとそれがお話としてつながっていく物語なんで、気になってしょうがないよね。
望月　皆さんにお話したあとで、担当さんに「ここまでネタバレしましたが、大丈夫ですか?!」ってビクビク聞いたら、「大丈夫」って言ってくれたんで安心しました。
石田　ちなみにケビンは何回くらい頭をぶつけるとブレイクになるんですか？
一同　（笑）。
石田　ケビンはちゃんと騎士として働いている人じゃないですか。あんなセンスを持っているとは思えないです。
望月　あれは全部、演技です（笑）。
鳥海　甘党なのも演技なんですか？
望月　それは元から。むしろ今は堂々と食べられるから嬉しいのかも。
川澄　ブレイクと石田さんは似てる気がする。さらっと毒を吐くみたいな（笑）。
鳥海　ひどいこと言われてますよ。
石田　言われてますねー。
川澄　褒め言葉ですよー（笑）。
石田　ありがとうございます（笑）。僕の中ではブレイクって、関西人のイメージなんですよね。いつもポケットにあめちゃん入ってるし。
一同　（笑）。
石田　僕は愛知県出身でそんなベタベタ関西人でもないので、ブレイクとは違うと思うんだけど……。
皆川　待ってください、それブレイクのとらえ方が一般の人と違うから（笑）。



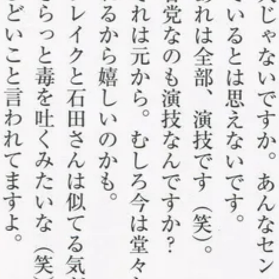
石田さんならではの斬新な発想！　エミリーの暴言も、あの印象的なブレイクのセリフも、関西弁で一度は聴いてみたい★

担当M氏



望月先生を影で操る編集者。望月先生の仕事場では「大佐」と呼ばれている。

弥南せいら先生



望月淳先生アシスタント。今回の「TEA PARTY」にてイラストと4コママンガを担当。

望月淳先生



PROFILE
漫画家。12月22日生まれ。神奈川県出身。主な作品は、『Crimson－Shell』、『PandoraHearts』（1～9以下続刊）など。現在、「Gファンタジー」にて『PandoraHearts』を連載中！（すべてスクウェア・エニックス刊）

ティーパーティー後のお楽しみ♥

「あのキャラクターのあんな場面が見たい！」というキャストさんのリクエストに望月先生が応え、イラストを描いてくれました！　その一部をお見せしちゃいます。

皆川さんリクエスト「オズの夏」



「オズの水着姿が見たい！」という皆川さんのリクエストにより描かれた作品。シャロンのビキニ姿も貴重ですが、オズの頭上のスイミングキャップにも注目です!!

鳥海さんリクエスト「料理中のギル」



鳥海さんの「軽いヤケドに『アチチッ！』となるギルが見たい」という言葉から生まれた作品。このあと、後ろの3人にからかわれるギルが目に浮かびます……。

それぞれの心に残るあのシーン

望月　演じられていて難しく感じたシーンはありますか？
石田　ブレイクは、僕としては、入りやすいタイプのキャラクターですね。内面でぶれていてる人ではないんで。それに、ここまで彼を演じてきたからっていうのもあるんですが、彼の素の部分と仮面を被っている部分のさじ加減というか……、ここは、演技でこれだけのジャンプをした方が有効かなとか、そういう計算をしているので。先生と監督に確認する前に自由にやってみて、何も言われなければアリなんだっていう納得の仕方をしてますね。ただ、彼の全てを理解できているかは僕自身もわからないですから、ある程度、想像で補っているところはありますよね。
川澄　私の場合は白アリスと黒アリスである意味全然違うキャラを演じるので、21話や22話はかなり難しかったですね。白アリスの方がやりやすいです。圧倒的に。あと普段は「おっさん」っていわれてる黒アリスが、5話に1回くらい無邪気で可愛くなる。その部分を大事にしたいなって。
皆川　オズは走りながらのモノローグが多いですよね。よく家でリハーサルしてる時、酸欠になります。今日も頑張るな、オズって（笑）。
望月　主人公ですからね、頑張ってもらわないと（笑）。
川澄　原作でもそうだけど、すごく印象に残っているのは22話の「双生児である」のシーン！
鳥海　小野大輔さんの声でね（笑）。
皆川　「ソウセイジ」っていう音を聞くと、●ャウエッセン的なものが浮かばずにはいられないけどね（笑）。22話は最後のブレイクの「『誰かのために』を『言い訳』にしないことだよ」ってセリフも妙に納得させられたな。
石田　ブレイクは最初、説明するシーンが多いなって。こういう立ち位置なんだなって思ったんだけど、ふざけるような部分もでてきて。すごい振り幅じゃないですか。で、さっきの望月先生の「あれは演技だ」っていう話を聞いて、改めてなるほどって思った。過去にいろいろあったからこその彼であって、むしろ極端な方がいいんだよね。いろいろな面を持っている……そういうブレイクを映し出してもらえてよかったなって思う。
花澤　私は17話でブレイクに助けられてから、本音をぶつけるシーンですね。原作でもここは絶対やりたいと思っていたので、やれて良かったです。
石田　あとチェシャと戦った15話かな。すごく強いブレイクが見られたので。
鳥海　生身でも強いし、チェインの能力としてもある意味最強ですもんね。
望月　なので「ゴホゴホ」って身体が弱っちゃう設定を加えたんです。
川澄　強すぎちゃうんですね（笑）。
鳥海　チェシャの最後は可哀想だったな。
川澄　「アリス」って大事に呼ぶんだよ。
花澤　大切そうにね。
鳥海　先輩にこういう言い方は失礼だけど、山口勝平さんの演技がよかった。さすがだなって。
望月　チェシャのしぐさがすごく可愛くて余計に……。
鳥海　僕が印象に残っているのは、「オズ」と言うセリフです。一番多かった言葉なんで（笑）。
皆川　間違いない（笑）。
川澄　それだけまとめて聞いてみたい！
望月　『オズCD』みたいなのをぜひ（笑）。
鳥海　（笑）。場面とかよりも……あれだけたくさんの「オズ」を言っているんだけど、その時その時で全部違うはずなので。それが一番ギルパートを表しているなって思うし、やっぱり「オズ」っていうセリフが一番印象に残りますね。
皆川　また鳥海さんのオズへのしゃべり方が優しいんだもん。
鳥海　今日も優しく言いました。
望月　15話でギルがオズをひっぱたくところがいいですよね。「役に立ったー、ギルが！」って（笑）。
鳥海　でもその後「ああ～！」って頭抱えてると思いますよ（笑）。
石田　そんなギルはMっぽいけど…、この作品の登場人物、S率が高いのは先生の趣味ですか？
望月　（担当M氏に）そこ！　なんで頷いてるんですか!?（笑）



優しい声の「オズ…」、叫ぶような「オズ！」、そして「マスター」。いろんなギル声をあなたに！　（※発売の予定はありません）

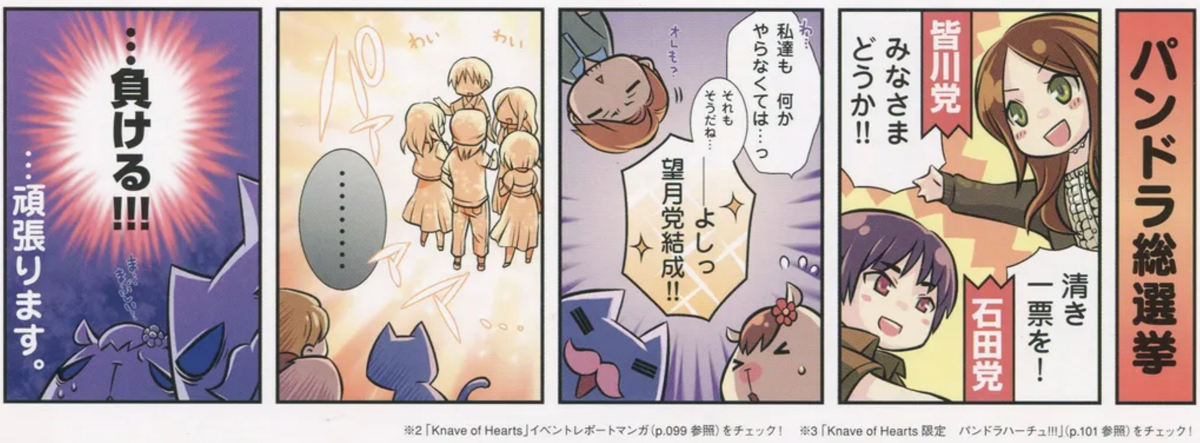
パンドラファン集結！「Knave of Hearts」裏話

望月　九段会館のイベント（※2）は、すごい長蛇の列でしたよね。アシスタントさんと「なんだろうねー、アイドルとか来てるのかな？　女の子いっぱいだね」って言いながら気付かず横を通りすぎてました。
花澤　すごく楽しかったです。
望月　皆川さんのリアルオズが見れて。
皆川　鳥海さんに罰ゲームを押しつけたことですか？　私はドSじゃないんですが、良心は痛まなかった（笑）。
鳥海　僕もおいしかったです。
望月　皆さんで演じていただいた「生アフレコ」もすごく楽しかったです。（※3）
川澄　面白かったー。
望月　シナリオを書き下ろす時に、打ち合わせをしていたら、担当M氏が「石田さんに〝にゃー〟って言わせたい」と（笑）。
皆川　そこから始まったんだ（笑）。
花澤　私、シャロンであんなにしゃべったのは初めてだったかもしれません。
鳥海　楽しそうにやってたよね。
川澄　活き活きしてた。
望月　ブレイクがああなったらシャロンは叫ぶだろうなって。セリフも多かったので花澤さん絶対噛むだろうなと（笑）。
花澤　先生、ひどい！（笑）
望月　なんでセリフ噛まないんですか？
鳥海　プロだからです！
皆川　かっこいいねえ。
川澄　私だったら「まぐれです」とか言いそう（笑）。
望月　機会があれば、またイベント開催をお願いしたいです!!

想いはひとつ　2期を希望します！

鳥海　TVアニメは25話でおしまいという形になりますけど、皆様のお声があれば、現場は「いつだっていける」ぐらいなので、もしよろしければまたお会いできればと思います。会わせてください。あと、僕達がやってきた役に、会いたい。あると思います（笑）。
川澄　最後まで見届けたいですよね。本当に謎がいっぱいの作品なので、その謎を全て知りたいです。アニメは終わってしまったけど原作を読み続けて、やっぱりこれをアニメで見たいなーって思ってもらえたら嬉しいです。
花澤　本当に終わっちゃうんですね……。終わってしまっても原作も読んでほしいです。私も読みます。あ、DVDも買うべきです！
石田　えっと、皆さんと想いは同じです。ここまで演じさせていただいて、『PandoraHearts』を最後までやりきりたいなっていう想いがあります。読者の方の中に事業家の方はいらっしゃいませんでしょうか（笑）。一人一人の力は小さくても、大勢集まれば！　皆さんどうぞ手を取り合って『PandoraHearts』完結編アニメーション版を作るために、是非とも立ち上がろうじゃありませんか！
一同　（拍手！）
石田　我々が立ちあがる準備はもう出来ております。あとはスポンサーだけです……だけか（笑）!?　そういう未来を一緒に見ようじゃありませんか！
皆川　作品にもスタッフさんにも恵まれまして、すごく愛すべきアニメでした。今回は、アニメはアニメなりの終わり方をしましたが、原作は続きます！　まだまだ演じたいセリフ、そして聞きたいセリフが私もあるので、ぜひ今後とも力強いお力添え、ご声援を……今、石田党に続き、皆川党が立ちあがりましたよ。
一同　（笑）。
皆川　私達は半分腰が浮いて、立ち上がる準備は出来てるんで、この腰を立たせてください。ありがとうございました。また、お会いしましょう。
望月　夢のような時間でした。キャスト・スタッフさん、アニメをご覧になって応援して下さった皆さん、ありがとうございます。アニメになることでもうひとつの『PandoraHearts』を生み出していただいたと感じています。キャラクター達の新しい魅力を発見することもあり、新しい刺激とライバル心と、また『PandoraHearts』を描き続けていくための活力をアニメからいただいたので、これからも頑張って描いていきます。
一同　是非、2期を!!





※2「Knave of Hearts」イベントレポートマンガ（p.099参照）をチェック！　※3「Knave of Hearts限定　パンドラハーチュ!!!」（p.101参照）をチェック！

キャストメッセージサロン

『PandoraHearts』の世界を声でつむぎあげていったキャスト陣。彼らをサロンにお招きし、メッセージをいただきました！

- A『PandoraHearts』に出演しての感想
- B ご自身が演じたキャラクターの印象
- C ご自身が演じたキャラクターの好きなセリフ・シーン
- D ご自身が演じたキャラクター以外の好きなシーン
- E『PandoraHearts』で謎に思ったシーン・キャラクターと、その謎に対する予想
- F『PandoraHearts』のキャラクターで、主人・従者にするなら誰？
- G ご自身が演じたキャラクターに対して、一言
- H ファンへのメッセージ



ヴィンセント役
福山 潤
Fukuyama Jun

ぷろだくしょんバオバブ所属。11月26日生まれ。大阪府出身。主な出演作品は、『コードギアス　反逆のルルーシュ』ルルーシュ役、『狼と香辛料』ロレンス役など。

A 謎の多いストーリーと魅力的なキャラクターがたくさんいる作品ですから、出演が決まった時はドキドキしていました。

B とにかく兄さん大好きなナチュラルボーン嫌な奴(笑)。誰からも好かれていなさそうなのに、それをニヤニヤしながら意にも介していないような、得体の知れない人物ですネ。

C ことあるごとに、エコーに後ろから抱きつくところ。実はエコーは彼のことを「ウザイ」と思っているらしいから(笑)。可哀相なヴィンセント……。

D チェシャ猫のシーン。
彼のエピソードは本当に切ないです……。

E 謎：ジャック。
だから！　おまえは！　一体何がしたいんだぁぁ〜!!

F 主人：レイヴン。ヘタレですから。御しやすそう。
従者：ブレイク。上からなら楽しいかも。

G 君はそれでイイヨ!!　そのまま行こう!!　他なんかどうでもいいさ！　君の個性を前に出そう!!

H 皆さんが楽しめるよう
精一杯頑張りました!!



エコー/ツヴァイ/ダイナ役
広橋 涼
Hirohashi Ryou

青二プロダクション所属。8月5日生まれ。新潟県出身。主な出演作品は、『CLANNAD-クラナド-』藤林杏役、『バンブーブレード-BAMBOO BLADE-』川添珠姫役など。

A いちファンとして毎回台本を楽しく読んでいました。原作が完結したら、またアニメ化してほしいですね。

B 3役演じましたが、振り幅が全く違って面白かったです。ツヴァイの役は新鮮で悩んだのですが、エロいやらしい感じを目指しました。

C 第17話「懐旧の旋律」。エコーにヴィンセントが解毒薬を顔にたらすシーン。可愛いエコーに何するんだー!!　という気持ちと、ヴィンスの非道っぷりに、モヤッっとドキドキ……。

D 第3話「迷い子と黒うさぎ」の、大好きなマッドベイビーの登場シーン。きも可愛い!!　アニメで動くと更に気持ち悪くて可愛かったです。シャロンちゃんからマッドベイビーに変わるシーンは最高ですね！

E 謎：10年後のダイナはどうなったんでしょう？
予想：やっぱりお亡くなりに…。でも、にゃんこって10年以上生きるから、オズを探す旅に出たのかも!!

F 主人：エイダ。彼女のためなら働けます。素直で可愛い子ですから。
従者：ヴィンセント。立場を逆転してみたいなぁと。返り討ちにあいそうですけども。

G エコーへ：君は頑張っているよ。いいようにされてさぁ、私は切ないですよ。早く幸せになってね。　ツヴァイへ：どこにいっちゃったの？　あんまり人の嫌がることはしちゃだめよ。　ダイナへ：どこにいっちゃったの？　表情盛りだくさんで愛しいわ。

H 皆さんの応援があれば、きっと他の謎も解明されることでしょう。これからも、漫画にアニメに『PandoraHearts』をよろしくお願いいたします。続きを作ってほしいよね!!



ジャック役
小野大輔
Ono Daisuke

マウスプロモーション所属。5月4日生まれ。高知県出身。主な出演作品は、『黒執事』セバスチャン・ミカエリス役、『涼宮ハルヒの憂鬱』古泉一樹役、『みなみけ』保坂役など。

A 原作を読んでみて、一気に引き込まれた作品でした。謎が謎を呼ぶ展開で、まんまと望月先生の策略にはまった気がしました。とにかく目が離せません。

B 謎の多い作品の中で、ジャックはことさら謎の多いキャラクターだったので、非常に役作りに悩みました。とにかくわからない部分の多い役ですが、その部分も楽しみながら演じました。

C 第16話「英雄と少年」のオズとシンクロして、口上をするシーン。ジャックの想いが初めて表に出るシーンなので、気合いが入りました。

D 第6話「食い違った現在地」の、レイヴン＝ギルだと判明するシーン。僕自身、原作を読んでいてAHA体験をしたから。

E 謎：成長したエイダは、なぜあんなに巨乳なのか？
予想：Gはあると思います。Gファンタジーだけに。

F 主人：ロッティ。豊口めぐみさんだから！
従者：ファング。近藤孝行君だから！

G 憎いねー！
いろんな意味で！　でも好きだよ！

H 謎が多くてわからない部分も多いですが、とにかく丁寧に演じました。皆様に極上のAHA体験をお届けしますよ！

以下の質問についてお聞きしました。

A 『PandoraHearts』に出演しての感想
B ご自身が演じたキャラクターの印象
C ご自身が演じたキャラクターの好きなセリフ・シーン
D 『PandoraHearts』で謎に思ったシーン・キャラクターと、その謎に対する予想
E 『PandoraHearts』のキャラクターで、主人・従者にするなら誰？



チェシャ猫役
山口勝平
Yamaguchi Kappei

悟空所属。5月23日生まれ。福岡県出身。主な出演作品は、『犬夜叉』犬夜叉役、『ONE OUTS -ワンナウツ-』出口智志役、『ネオ アンジェリーク Abyss』ルネ役など。

A 謎に満ちた作品で、自分の出番のところだけでは、ほんとに全体の一部を垣間見ただけという感じではあったのですが、演じている間は、いろいろと考えて、楽しく演らせていただきました。

B 「チェシャはアリスが好き」この一言で全てを演じきれるキャラでした。一途に最後までアリスのことを想っていたチェシャの運命はかわいそうなモノでしたが、できることならもっと笑っている彼も見てみたかったですね。

C 第15話「誰がための言葉」、チェシャが消滅する場面。怪物のようになってまでアリスを想うチェシャがなんだか切なくて愛しかったです。でも、彼にとってそれはそれで幸せなことだったのかも……ラストのセリフに少しの笑みと満足感を感じてもらえたら嬉しいですね。

D 謎：全部。
なので、皆さんの予想を聞いてみたいです。

E 主人：？
従者：？
どのキャラクターもボクの手に負えそうにないので……。



ギルバート（少年時）役
坂本梓馬
Sakamoto Azuma

元氣プロジェクト所属。10月9日生まれ。福島県出身。主な出演作品は、『ラブゲッ CHU～ミラクル声優白書～』小野寺翼役、『CLANNAD～AFTER STORY～』勇役など。

A 胸が締め付けられる言葉が多く、セリフの途中で何度も涙をこらえました。ギルを演じていくうちにどこか自分と似ているところがあると感じ、とっても愛しく思えました。記憶に残る素敵な作品です。

B 気が弱そうな印象でしたが、自分の意志をしっかり持っているしオズへの忠誠心は誰にも負けない強いものがあると思います。外見がとっても可愛らしいので守ってあげたい気持ちになっちゃいました。ワカメ……上等ッ‼

C 第6話「食い違った現在地」、「ボクはずっと貴方の従者でいたい」。この言葉の中にオズに対する気持ちが全て詰まっていると思います。とても印象的なセリフでした。

D 謎：シャロンちゃんは1日に何回お茶会を開いているのか(笑)。
予想：シャロンちゃんの場面では、必ずといっていい程お茶を飲んでいるので、予想では食後とおやつの時間を合わせて4回くらいでしょうか??

E 主人：オズ坊ちゃん。私は猫が大好きなので毎日一緒に冒険の旅へ‼ (従者失格)
従者：ブレイクさん。落ち込んでいる時に手品で励ましてくれそう。一緒にケーキバイキングに行きたい‼ あと、気まぐれな性格が自分と似ていて気が合いそうなので(笑)。



うさぎ役
柚木涼香
Yuzuki Ryouka

81プロデュース所属。1月10日生まれ。愛知県出身。主な出演作品は、『武装錬金』津村斗貴子役、『プリンセスラバー！』シャルロット＝ヘイゼルリンク役など。

A うさぎは単発的な登場でしたが、現場のスタッフ・レギュラーキャストの皆様が温かく迎えてくださり、リラックスしたムードの中で収録できました。

B あら！　なんて愛らしいうさぎちゃん♪　と、配役された時はウキウキしましたが、後半はすごいことになっていましたね（笑）。

C 第7話「深淵からの呼び声」の「どうして？　どうして？　どうして？」というセリフ。それまでは可愛らしかったのに、ここで表情が豹変します。ゾッとする場面でした。

D 謎：アリス。
予想：凶暴に見えますが……この子は本当はツンなのかデレなのか？　彼女の本音や本心を聞いてみたいですね～。

E 主人：オズ。可愛い！　守ってあげたい。
従者：レイヴン。イケメンを連れて歩く(笑)。



エリオット役
野島裕史
Nojima Hirofumi

シグマ・セブン所属。4月16日生まれ。東京都出身。主な出演作品は、『OVERMANキングゲイナー』ゲイナー・サンガ役、『イナズマイレブン』豪炎寺修也役など。

A 後半からの登場でしたが、仲の良いスタッフやキャストが多かったので、リラックスして楽しく収録に臨めました。

B 僕は大人しい役をもらうことが多いので、エリオットという気性の激しい役をいただいた時は驚きました。監督としても、かなりのチャレンジだったのでは!?(笑)　でも、とても良い経験になり、新たな引き出しを作れたと思います。

C 第18話「とある従者の死について」、エリオットがオズに詰め寄るシーン。中でも「自分も他人も傷つけながらこれからも生きていくのか!!」というセリフ。好きなセリフなだけに、このセリフが出るテンションへ向かう演技プランにとても苦労しました。ただ怒鳴る訳ではなくオズを諭したいという気持ちを込めました。

D 謎：僕にとって、今現在この文章を書いてる段階では謎だらけです!!
予想：この文字が活字となって皆様のお目にかかる頃には、スッキリしていると思います!!

E 主人：オズ。なんだかんだで一番マトモそう……。
従者：リーオ。なんだかんだで、やる時はちゃんとやる。



リーオ役
渡辺明乃
Watanabe Akeno

大沢事務所所属。11月18日生まれ。千葉県出身。主な出演作品は、『To LOVEる-とらぶる-』結城リト役、『ソウルイーター』リズ・トンプソン役、『隠の王』サラバ役など。

A やったー！　やったー！　です。仲良しの役者さんも沢山いるし!!　リーオのような、ほわわんメガネ君は演じてみたかった役だったので嬉しいですっ!!

B わんこ系メガネ君。いや、にゃんこ的要素もあるな……。ぽわわんとしてますけど、やる時はやるんですっ！　……多分……ね(汗)。

C 第18話「とある従者の死について」、エリオットとオズが言い合っているのを止めるシーン。「はーい！　ケンカしなーい」が自然に出ました。ひろ兄ちゃんとじゅん姉ちゃんに感謝♡

D 謎：エミリー……？
予想：石田さんが演じてる……。同時にブレイクも……エミリーは女の子……あれはブレイクなんですか？　エミリーは、何なんですかっっっ!?　毒なんてブレイクの時から吐いてるのに……!!

E 主人：エリオットかギル。エリオットは仕えたいですね。真っすぐな少年。ギルは……支えたいです、よしよししたい。
従者：ギルかリーオ。リーオいいですよね？　ちゃんと怒ってくれるし！　ギルは……わんこ的な魅力…♡



ルーファス=バルマ役
内田夕夜
Uchida Yuuya

劇団俳優座所属。12月3日生まれ。埼玉県出身。主な出演作品は、『ソウルイーター』フランケン・シュタイン博士役、『金色のコルダ～secondo passo～』吉羅暁彦役など。

A 初めてスタジオに入った時、メインキャラクターを演じている方々が楽しそうにこの先の展開を予想しあっていて、ストーリーへの興味津々感が印象的でした。

B 予言者。経験や情報を集め、未来を予想・予言する。未来の時間の方に興味があり、現在の時間や現実の人間は未来に対する情報に過ぎないと思う節がある。

C 第21話「純白のくろ」での「我が心を込めて造った幻影が台なしじゃよ」というセリフ。初登場シーンのセリフだし、幻を造ることに心を込めるというのがルーファス=バルマの一面をよく表していると思うから。

D 謎：アリスとは何か?
予想：アヴィスの意志と双生児であるとされているが、光と影、精神と肉体といったような本来ひとつであるものなのではないか。

E 主人：なし。誰にも仕えたくないから。
従者：なし。誰も仕えさせたくないから。



レイム役
諏訪部順一
Suwabe Junichi

東京俳優生活協同組合所属。3月29日生まれ。東京都出身。主な出演作品は、『テニスの王子様』跡部景吾役、『黒執事』葬儀屋役、『花咲ける青少年』曹望青役など。

A 多くの謎を秘めた魅力的な作品なので、原作を読み始めたらグイグイ引き込まれてしまいました。『PandoraHearts』の一員になれて、本当に嬉しかったです。

B 本編に登場するキャラクターの中で、最も普通の人。何か企んでいるわけでもなく、大きな力を秘めているわけでもなく(笑)。

C 全てのセリフ、全ての登場シーンがお気に入りです。レイムのようなテイストのキャラクターを演じる機会は、これまでアニメではあまりなかったので、とても楽しかったです。

D この作品でそんなこと言いだしたらキリがないです。あれもこれも謎ばかりで(笑)。

E 主人とか従者というような関係を個人的には作りたいと思わないので、仕えたいキャラクターも、従えたいキャラクターもいません。対等の立場の友人なら、やはりレイムがいいですね。



ロッティ役
豊口めぐみ
Toyoguchi Megumi

81プロデュース所属。1月2日生まれ。東京都出身。主な出演作品は、『クロスゲーム』月島一葉役、『聖剣の刀鍛冶』アリア役、『マクロスF』クラン・クラン役など。

A 光栄です。ロッティという役をやらせていただいていますが、魅力的なキャラクターでとても楽しいです。

B 目的のためなら一直線!!

C ロッティの初めてのシーンでもある、第18話「とある従者の死について」のオズ君との出会い。とにかくしゃべりまくりで大変でしたが(笑)、あれだけしゃべってくれるとキャラクターも掴みやすいです。可愛かったり恐かったりで、感情の動きが激しかったです。

D 謎：ギルバートさんは、なぜあんなにヘタレさんなのでしょう?
予想：せっかくかっこいいのにねぇ。あれはフェイクですよ、きっと！　実はすごいんだ！　きっと！

E 主人：グレン様。もちろん私(ロッティ)の主だからです。
従者：リーオ。冷静にいろいろ判断してくれる。



ダグ役
白熊寛嗣
Shirokuma Hiroshi

ぷろだくしょんバオバブ所属。8月4日生まれ。神奈川県出身。主な出演作品は、『うたわれるもの』ムント役、『BLEACH』チーノン・ポウ役、『東のエデン』近藤勇誠役など。

A ダグはとても無口な役なので、一見作品への関わりは薄いように思われるかもしれませんが、「謎」がテーマとなるこの作品で、謎めいた役を演じることができ、光栄に思います。

B 本当に無口で、口を開いても必要最低限の言葉しか発さない。そんなダグは、日常生活での自分そのもので、とても演じやすい役でした。一人の時は、小鳥に餌をあげたり、花に水をやったりして過ごしていると信じています。

C 第19話「涙の池」で、ロッティさんを守るシーン。多くを語らず、やるべきことをしっかりとこなす。男の憧れです。

D 謎：第18話「とある従者の死について」に登場したラトウィッジ校のBBQ(バーベキュー)部員の存在。
予想：見当もつきません。予想を上回る存在感でした。

E 主人：グレン様。ダグ役をいただいた者としての忠誠心です。
従者：ダグ。マイホームの玄関先に座っててもらいましょう。安心です。



グレン役
谷山紀章
Taniyama Kishou

賢プロダクション所属。8月11日生まれ。山口県出身。主な出演作品は、『おおきく振りかぶって』花井梓役、『鋼殻のレギオス』シャーニッド・エリプトン役など。

A 回想シーンのみとはいえ、重要な役どころでしたので、緊張しました。

B 顔がなかなか出てこない(笑)。

C 全部です。
出番が少ないからです。

D 謎：グレンさんは謎ですねぇ……。
予想：グレンさんはA型なのではないでしょうか。

E 主人：グレンさん。基本的に優しげ。
従者：全員でも構わんぜ。子分は多ければ多い程……。



ファング役
近藤孝行
Kondou Takayuki

AIR AGENCY所属。6月5日生まれ。鳥取県出身。主な出演作品は、『テニスの王子様』大石秀一郎役、『のだめカンタービレ』大河内守役、『武装錬金』六舛孝二役など。

A 『PandoraHearts』という素晴らしい作品に関われたことを非常に嬉しく思っております。この先の展開が非常に楽しみですね。

B まず、細目だと思いました(笑)。また、柔らかい物腰や口調に反して大剣を振るうという、個人的に非常に好きなタイプのキャラクターですね。顔のタトゥー(?)も気になります。

C 第19話「涙の池」のエリオットと剣を交えるシーン。マントから覗く大剣に痺れました!!

D 謎：バスカヴィルの存在。あとダグ。
予想：この先の動向も予想がつきません。

E 主人：アリスですかね。お肉をあげとけば機嫌良さそうですし。見た目も可愛いし。
従者：ファングですね。穏やかそうだし。強いし。

A 『PandoraHearts』に出演しての感想
B ご自身が演じたキャラクターの印象
C ご自身が演じたキャラクターの好きなセリフ・シーン
D 『PandoraHearts』で謎に思ったシーン・キャラクターと、その謎に対する予想
E 『PandoraHearts』のキャラクターで、主人・従者にするなら誰？

Cast Message Salon



バスカヴィル・リーダー/ザイ=ベザリウス

大川透

Ookawa Tooru

マウスプロモーション所属。2月28日生まれ。鹿児島県出身。主な出演作品は、『ひぐらしのなく頃に』富竹ジロウ役、『ネオ アンジェリーク』ニクス役など。

A 原作を読みましたが、ドキドキする素敵な作品に出演できてとても楽しかったです。

B ずーっと謎めいた役でしたね。先の展開が読めなかったので、自分の役がどうなるのかも読めませんでした。

C 第1話「罪なき平穏」の冒頭「お前の罪…それはお前の存在そのものだ」。これがこの作品を象徴するセリフで、自分の役を表しているセリフでもあるから。

D 謎：なんといっても自分の役ですよ。
予想：ま、それは見てもらえばわかることなので……。

E 主人：シャロン。
従者：シャロン。ひとくせふたくせもある人物ばかりで、主人にも従者にもしたい人はいませんが(恐くて)、一応見た目が可愛いという理由で、シャロンにしときますかね。



オスカー役

梅津秀行

Umezu Hideyuki

81プロデュース所属。7月24日生まれ。愛知県出身。主な出演作品は、「機動戦士ガンダム00」イアン・ヴァスティ役、「鋼の錬金術師 FULLMETAL ALCHEMIST」バリー・ザ・チョッパー／ナンバー66役など。

A なんとも不可思議な世界に誘われ、自分じゃない自分に出会い、至福の時を過ごしました。楽しゅうございました。

B ダンディーな面も見せつつ、自分自身も写し出す、オスカー叔父さま♡　素敵だと思います！　(自分で言うか！)

C なんと言っても！　第17話「懐旧の旋律」の学園潜入！　アハハハハ♡

D 謎：アリス……の世界。
予想：予想……というのではありませんが、世に知られる『不思議の国のアリス』から、『PandoraHearts』という世界を生み出す望月先生に……敬礼！

E 主人：アリス。可愛いねえぇぇ！(……ロリかおじさんは！)
従者：シャロン。……やっぱりロリだぁ～～～！（笑）



エイダ役

福原香織

Fukuhara Kaori

エイベックス・プランニング&デベロップメント所属。8月11日生まれ。千葉県出身。主な出演作品は、「らき☆すた」柊つかさ役、「咲-Saki-」天江衣役など。

A 毎回楽しく演らせていただいたのですが、スタッフさんが美味しい物を差し入れして下さることが多く、それも楽しみのひとつでした。

B 素直に「可愛い!」と思ったので、可愛く演じることを常に心掛けました。個人的には、お嬢様で金髪ロングなところが萌えポイントです。久々に登場したら、身長がかなり伸びて胸も大きくなって更に萌える女の子に成長していました(笑)。

C 第17話「懐旧の旋律」、「会いたかった…、会いたかったよ、お兄ちゃあん…っ」というセリフ。兄妹再会に感動。オズよりも年上になってしまいましたが、やっぱりエイダにとってオズは"お兄ちゃん"なんですよね。心温まる大好きなシーンです。

D 謎：エミリーの全てが謎です。
予想：きっと、お風呂も就寝時もブレイクと一緒なんでしょうね。エミリーは、とても頑丈な素材でできていて、防水・防炎加工も施してあるので、多少の無茶も大丈夫な仕組みになっているんです。……適当なこと言ってすみません(笑)。

E 主人：誰だろう？　みんな個性が強すぎて、尽くしてあげられる自信がありません(笑)。
従者：ギル(小)。家事とか全部やってくれそうだからです♪



ヴィンセント（幼少時）役

大浦冬華

Ooura Fuyuka

アクロスエンタテインメント所属。1月13日生まれ。北海道出身。主な出演作品は、「To LOVEる-とらぶる-」レン・エルシ・ジュエリア/ルン役、「バトルスピリッツ少年激覇ダン」馬神弾役

A 登場人物のそれぞれの目的が複雑に絡みあっていて、初めは理解できないことばかりでした(笑)。でも、目的が明らかになるたびに、それぞれの人間臭さに共感しました。いろいろなことを考えさせられる素敵な作品に関われて、幸せです。

B ニコニコ笑いながら、平気で残酷なことができる悪魔みたいなコ。でも、きっと元々は、誰よりも純粋で、心優しい天使みたいなコだからこその破綻なんだと思います。

C 第14話「紅き隻眼の悪魔」、「僕はただ…ただ…ギルのために…!!」。このセリフに、彼の行動の全ての根拠があるような気がします。ギルの中にではなく、自分自身の中にある判断基準で選択できることがきっと健康的なんだろうなぁ……。

D 謎：ヴィンセントは、サブリエの悲劇に深く関係しているようですが……一体何をしたのでしょう?
予想：たぶんギル絡みで、誰かに利用されたんですよねぇ…う～ん……わかりませんッ!!

E 主人：オズ。主従関係ではなく、ひとりの人間として大切に接してくれそう。
従者：ギルバート。何をしても結局は最後に許してくれそう?

皆様、ありがとうございました!!

望月淳セレクション ベストシーンTOP10

スタッフ達の精励により作り上げられたアニメ『PandoraHearts』。原作者・望月淳が選んだベストシーンをコメントと共に掲載する。





▲▶オズが出会った花売りの少女。刻印の針が一周した彼女は、オズ達の前で、悲鳴とともにアヴィスへと引きずり込まれてしまった。

10位

第5話「時計回りの悪夢」

シーン：花売りの少女がアヴィスへと引きずり込まれるところ

望月'sコメント

原作よりも花売りの少女の描写を増やしていただけたので、彼女がアヴィスへと引きずり込まれるシーンでは胸が締め付けられる感じでした。少女役を演じる名塚さんの叫び声もすごかったです……。それから、花売りの少女を触る男の手の動きが（良い意味で）気持ち悪くて忘れられません……！あ、この回がギルがただの格好いい人でいられる最後の話でしょうか？(笑)

Pick up!



▶花売りの少女の可憐な外見に目を留め、花を全て買いとった裕福な男。望月先生も思わず気になってしまった、少女を触る手の動きも見どころ!?





▶オズは少女を助けようとするが、間に合わず…。

Story

違法契約者を捕まえるためにノーザンブリアの街を訪れたオズ達。オズは、そこで花売りの少女と出会い、つかの間の交流を持つのだが、実は彼女こそが調査中の違法契約者だった。彼女とそのチェインに襲われたオズとアリスは、違法契約者の末路を知り、衝撃を受ける……。



▲全ての始まりとなった成人の儀の館。しかし、ここに来ても新たな成果は得られなかった。

Story

アリスの記憶を探すものの成果を得られずにいたオズ達。彼らは、その手がかりを求め、再び成人の儀を行った館を訪れる。そこで契約者を持たないチェイン達に襲われ、撃退するも、館から出たオズ達の前には、炎に包まれた首都レベイユの光景が広がっていた。

9位

第23話「軋む世界」

シーン：ギルがオズに上着を被せてくれるところ

望月'sコメント

アニメオリジナルのシーンですが、成人の儀で果たせなかったことを10年後の今……という流れが「あ、うまいな、いいな!」と、原作としてやられたりな気分になりました。

Key Word

契約者

チェインと契約した人間のこと。契約には、パンドラが考案した正規の契約と、それ以外の違法契約がある。

違法契約は、チェインの血を取り込むことで完了し、契約者の胸には時計のような形の刻印が現れる。時間が経つにつれ刻印の針は進み、それが一周すると、契約者はアヴィスの最下層へと引きずり込まれてしまう。また、刻印の針が進むほど、契約者とチェインのつながりが強くなり、チェインが受けたダメージが契約者に伝わるようにもなる。



▲稀に、シャロンやブレイクのように契約の影響により、体の成長・老化が止まる者も存在する。

チェイン

アヴィスで生み出される、特殊な能力を持った異形の生物の総称。チェインは、現実の世界では存在が不安定になり、自身の存在を確固たるものにするために、人間に「過去を変えたくないか」と契約を持ちかける。チェインと契約を結んだ人間は、そのチェインを所有し、特殊能力を使わせることができる。また、同じチェインでも、ビーラビット（アリス）は人間の姿を保つことができる・確立された人格を持つなど、特別な例と言える。

もしかして…ここ墓地でしょうか…

8位
第1話「罪無き平穏」
シーン：オズとギルが墓を見つけるところ




▲▶聞こえてきたオルゴールの音を追った先で、オズは何者かの墓と懐中時計を見つける。

望月'sコメント
オルゴールのメロディと共にとても楽しみにしていたシーンだったので、第1話で観た時は感動しました。音と色彩がつくと、こんなにも綺麗になるんだなあ……と、なんだか少し悔しくもなりましたね。




▲懐中時計を手にしたオズは、見覚えの無い場所で謎の少女に殺されかけるという白昼夢を見る。

Story
成人の儀を行うため、成人の儀の屋敷へと訪れていたオズ。彼はギルとエイダとともに館を探検して遊ぶ中庭で、古びた墓と懐中時計を見つける。その懐中時計が気にかかりながらもオズは成人の儀の準備を進めるのだが、一方で、その様子を影から伺う存在があった。不穏な空気が漂う中、オズは成人の儀が始まるのを待つのだった。

6位
最終話「否定の彼方へ」
シーン：オズがザイに自分の決意を述べる時

望月'sコメント
オズが原作よりも一足早くひとつの答えを選び取ったシーンなので、やはり特別かなと。原作のオズはアニメ版のオズよりも捻くれた感じが強めなので、彼にも早くこんな風にしっかりと父親と対峙出来るようになってほしいです。

Story
オスカーに頼まれベザリウス家に戻ったオズは、自分をアヴィスへ堕とした人物が自身の父親・ザイだったことを知り、ショックを受ける。悩んだ末、父親に会うためにサブリエへと向かうオズ。彼は、そこで対峙した父親に、自分の存在は自分自身が肯定すると宣言する。

7位
第10話「重なる影」
シーン：ヴィンセントがオズ達の前に姿を現したところ

Story
違法契約者だと発覚したフィリップの父親を説得するオズ。だが、フィリップの父は、ヴィンセントに殺されてしまう。救えなかったことに落ち込むオズだったが、アリスとの会話を通じ、自分とフィリップの孤独を重ねていることに気付く。



▲息子の幸せのために過去を変えようとする父親に、一緒にいるだけでいいと訴えるオズ。



▲自分と同じ思いをして欲しくない。フィリップの寂しさを知り、オズは悲しみを覚える。

望月'sコメント
青系でまとめられた色彩やキャラの表情、そのシーン全体の雰囲気がとても好きです。そこで流れる「Foretaste」という曲が本当にそのシーンにぴったりで、それ以降この曲を聴くと「あ、ヴィンセントの登場曲だ」と思ってしまいます。アリスとオズが背中合わせで話すシーンもとても綺麗でした。

▶▼フィリップの父親を撃ち、姿を見せたヴィンセント。



成人の儀
貴族が15歳の誕生日に行う儀式。専用の屋敷で行われ、他家の貴族達も集まり、盛大に開かれる。儀式は、礼拝堂にある、静寂の時計台の前で誓いの言葉を述べた後、ローブをかけてもらうことで完了する。

アヴィス
「一度入ると二度と出てこられない闇の監獄」と言われる正体不明の異空間。迷信の文句としても使われ、誰もが知っている存在だが、その実態はあまり知られていない。
チェインを生み出している空間でもあるアヴィスには、無数のチェインが生息し、その最下層には、アヴィスの核となる「アヴィスの意志」が存在している。

四大公爵家
ベザリウス、ナイトレイ、レインズワース、バルマの4つの公爵家を指す。サブリエの悲劇の際、その被害が国全体へ及ぶことを防ぎ、バスカヴィル家が所有していたアヴィスへ繋がる扉と特別なチェインの5つのうち、4つを手に入れた。それ以後、彼らは強大な権力を持つ。
ベザリウス家は、元々三流貴族だったが、サブリエの悲劇の際に、ジャックの活躍により出世した。一方、ナイトレイ家は、サブリエの悲劇時に裏切りの疑惑をかけられたためか、暗殺など裏社会での仕事を任されることが多い。そのことから「光と闇のような関係」と例えられ、両家の仲は悪い。



5位

第18話「とある従者の死について」

シーン：オズとエリオットの出会い

◀▼エリオットが『聖騎士物語』のファンだと知り、はしゃぐオズだったが、エリオットはオズが好きだと言うキャラクター・エドガーを全否定…。



望月'sコメント

エリオットと喧嘩をするオズが年相応の反応をしていて微笑ましかったです。壁を引っかいている猫の動きも滑らかで可愛いかったですね。そんな猫に話しかけるエリオットの声が、やたら優しかったのも印象的でした。

悪いがな…俺はあの エドガーとかいうクズが大嫌いだ…!!

▶オズは、エイダを人質に捕られてしまう。





Story

妹・エイダと会うためにラトウィッジ校に潜入したオズは、彼の中に眠るジャックを狙うバスカヴィルの民に捕らえられてしまう。ナイトレイ家のエリオットと従者リーオの助けにより窮地を脱するが、自己犠牲的な態度をエリオットに咎められ、オズは怒りを露わにしてしまう……。

◀▼10年前に消えた兄との再会に涙しながら喜ぶエイダと、成長しても昔と変わらずに接してくる妹を嬉しく思うオズ。





会いたかった…。 会いたかったよ…、 お兄ちゃあぁん!

4位

第17話「懐旧の旋律」

シーン：オズとエイダの再会

望月'sコメント

エイダ原作より胸おっきいですね！（第一声がそれ）オズとエイダが戸惑いながらも、お互い少しずつ距離を縮めていくシーンが印象的でした。あと、この回はエイダの他にもツインテールアリス、弱ったエコー、涙ぐむシャロンなど、女の子が皆可愛くてうはうはしながら見ておりました。

▶エコーは、主・ヴィンセントの意に逆らい、シャロンを助ける。





◀アリスは、嫉妬心に駆られ、つい兄妹の再会を邪魔してしまう。

Story

ヴィンセントに誘拐されたシャロンを助けるため、ブレイクはヴィンセントの要求通りチェシャ猫から手に入れた"アリスの記憶"を消滅させる。一方、オスカーの提案により、エイダの通うラトウィッジ校を訪れたオズは、成長した妹と再会を果たす。

Pick up!



◀常に無表情のエコー。弱った姿を見せる機会もあまりない。

▶ブレイクの足を引っ張ってしまったシャロンの悔し涙。



Key Word

ラトウィッジ校

国内でトップ3に入る全寮制の超エリート学校。エイダやエリオット、リーオなど、良家の子女が多く通う。昔は要塞・牢獄として使われていたらしく、隠し通路などが数多く存在する。



▲部活動には、バーベキュー部などがある様子。委員会には風紀委員会などがあり、エイダが所属している。

聖騎士物語

オズとエリオットが愛読する小説。ラトウィッジ校の図書室にも置いてあった。登場人物には、主人公・エドウィンとその従者・エドガーらがいる。

パンドラ

アヴィスに関する研究や、違法契約者の取り締り、アヴィスに関連する事件の解決を担う組織。四大公爵家を中心として活動し、メンバーは主に貴族とその従者達で構成されている。

サブリエの悲劇のような事件を再び起こさせないために、アヴィスの意志を手に入れようとしている。四大公爵家が発足させた組織だが、各家それぞれが大きな力（アヴィスへの扉と特別なチェイン）を持つため、互いを監視するための意味合いもある。表向きは国家直属の治安維持機関となっている。



む、迎えに来るのが遅いっ、この使えない下僕め…！

3位
第15話「誰がための言葉」
シーン：オズがアリスを助け出したところ

望月'sコメント

「迎えにくるのが遅い！」と言ってオズに抱きつくアリスが可愛かったです。その後の鼻水も原作通りにちゃんとやってくださっていて、うれしかったです。この回はギルが珍しくちゃんと役に立っていたり、ブレイクがどこをどう見ても悪役&チェシャが可哀相だったりと、それぞれのキャラがいろんな見せ場を持っていたので、よく印象に残っています。



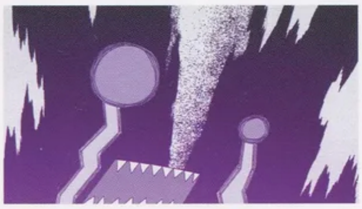
▲▶「アリスは、アリスのままでいいんだよ」というオズの言葉に目を覚ましたアリスは、悪態をつきながらも、助けに来たオズの胸に飛び込む。

Story

"アリスの死"を目撃したオズは、ビーラビットの力を暴走させる。だが、ギルの言葉によって正気に返り、チェシャ猫の空間に取り込まれかけていたアリスの救出に成功する。そして、崩れゆく空間の中で消滅していくチェシャ猫のアリスへの想いを耳にするのだった。



▲オズは、アリスを助けるために、彼女の記憶の中――サブリエの悲劇のさなかをさまようことに。



▶人間の姿を失ってまでも、アリスのために戦っていたチェシャ猫。最期はブレイクに倒されてしまった。

Pick up!



◀いつもヘタレなギルが役に立った貴重（!?）な場面にも注目。



▶終始、行動・表情が悪役のようだったチェシャ猫と戦うブレイク。

2位
第8話「隠者の問い掛け」
シーン：花を食べているアリス

望月'sコメント

もう可愛くて可愛くて何回もそのシーンだけを繰り返して見たくらい、ここのアリスが大好きです。ブレイクに向かってぴょんぴょん跳ねているアリスとか、ホウキとちり取りを持っているギルとか、ブレイクの「薄気味悪いガキだな」などなど……この話も好きなシーンが多すぎて困ります。



▶オズとギルが話している後ろで、置いてあったバラの花を食べてみたアリス。しかし、味が口に合わなかったのか、まずそうに吐き出す。

Story

オズは、ブレイクから自身がアヴィスの意志を手に入れる鍵かもしれないと聞かされる。その話を明るく受け入れるオズだが、ブレイクはその反応に対して、歪んでいると指摘するのだった。その後、街へ出たもののギルやアリスとはぐれたオズは、スラム街で少年フィリップと出会い、彼の父親への想いを知ることに。



◀オズの胸の刻印の針は、ついに非情な時を刻む。

アリスの記憶

チェシャ猫が守っていた、アリスが自ら捨てたという記憶。世界の各地に散らばっているという。そこにサブリエの悲劇の真相があるはずだが……。

チェシャ猫の住み処

現実の世界でもアヴィスでもない、アリスの記憶によって作られた異空間。チェシャ猫は、ここでアリスが最も消し去りたがっていた記憶を守っていた。

サブリエの悲劇

100年前、かつての首都・サブリエで、バスカヴィルの民が大量虐殺を行った後、街全体がアヴィスへと堕とされた事件。首謀者は、バスカヴィル家の当主、グレン=バスカヴィルとされているが、その目的は不明。事件の全貌も謎に包まれている。ジャックはこの事件での活躍により、「英雄」と呼ばれるようになった。

オズがチェシャ猫の住み処で見たアリスの記憶では、ヴィンセントが関わっている様子が見られた。

ビーラビットの封印

オズが契約するチェイン・ビーラビットの、契約者の体を蝕むほどの強大な力を制御している封印。ギルのチェイン・レイヴンで制御しており、ビーラビットの力の制御を解放するには、オズとギルが一緒にいなければならない。だが、「オズにはビーラビットを治める資格がある」というジャックの言葉通り、オズがビーラビットの力を止めることも。

1位　第20話「うつりゆく音」　シーン：もう全部！

Story

ラトウィッジ校から戻ったオズ達は、気分を沈めさせた様子を見せる。だが、そこへ現れたオスカーが持ち込んだ酒により、その場は混沌とした空気ができあがる……。そんな中、ギルに、これからは寄りかからずに済むように変わると伝えるオズ。オズは、ラトウィッジ校でのエリオットの言葉を受けて、前に進んでいくことを決心したのだった。



▲ラトウィッジ校で、エリオットに話を聞いてもらえずに去られてしまったことが悔しいオズ。



▲自分の弱さに気付いたオズは、まずは自分が知ろうとしなかったことを知る所から始めると宣言。



▲一方、エリオットは、死んだ人間達の血だまりに佇む悪夢に悩まされていた。

望月'sコメント

スタッフの皆さんの本気が素晴らしかったです……！　全てのシーンがお気に入りですが、特にアリスに詰め寄っているシャロンのお尻の動きが滑らかすぎて思わず吹き出しました。あとはバックに漫画のようなスピード線（効果線）を持ってきたり、ギルの涙が手前のカメラのレンズ（でいいのかな）に落ちたように見えるなど、細かい演出が凝っていて楽しかったです。ギル役の鳥海さんが「20話はギルの最大の見せ場だ」と監督に言われたと仰っていましたが、まさにその通りでした。酔っ払っているギルに鳥海さんの声が加わるとすごい破壊力ですね。

素敵ですわ、アリスさん！
乙女ですわ！
プリティーですわ！
まさに胸キュンですわ！



▼▶「あいつは私のものなのに、どうして違う奴のコトばかり考えているんだ？」というアリスの言葉に、シャロンの乙女スイッチがON！



▼この話数では、背景に効果線や文字が入るなどの、漫画的な演出が多数見られた。



お願いですから、もっと自分を大事にして下さい…





▲オズに心中を告げるギル。絡んだり泣いたり過去と現在を混同したりと、見事な酔っ払いぶり……。

望月'sメッセージ

加戸監督やシリーズ構成の関島さんからは「アニメでは伏線は無理に回収しようとはせずに、オズをひとつ成長させることでアニメでの終着点を作ります」とお聞きしていました。「一体どうなるんだろう…?」と楽しみにしていたのですが、実際シナリオをいただいて「なるほどな」………と。以前監督が「アニメではラストでオズがちゃんと主人公になるようにしたい」と仰っていた意味が分かりました。アニメ版のオズには原作より一歩先を行かれてしまった形になるので、原作オズにはこれから沢山の試練を乗り越えていただき、アニメのオズを追い越せるように頑張って欲しいと思います。

番外編　ここにも注目!!

ランクインはしなかったものの、望月先生がオススメする場面を紹介♪

第10話

▶オズ達をレインズワース邸に送ったヴィンセントとエコー。そこから帰る途中、エコーは、先ほどまで雨に打たれていたためか、くしゃみをするのだ。一瞬なので見逃すな！



第18話



◀ラトウィッジ校で、不審者として追われる中、無計画に飛び出そうとするアリス。それをギルに止められるのだが、その時の、ギルと目が合い赤くなってそっぽを向くアリスに注目だ。

望月'sコメント

全てが可愛いです……！　………可愛い可愛いしか言っていなくて本当にすみません。

- 第8話の馬車から降りる際に見えるシャロンの美脚
- 第10話で原作通り「へぶちっ」と、くしゃみをするエコー
- 第18話で左右確認をするギル
- 同じく第18話で近い距離のギルに照れるアリス

PRECIOUS BOX

アニメスタッフが構築する『PandoraHearts』。
彼らが明かす、アニメ制作の裏話やキャラクター線画などをご紹介。
普段は見ることのできない、たくさんの貴重な宝物をプレゼント！



監督

加戸誉夫

Kato Takao

フリー。監督、演出家。本作では監督を担当。主な参加作品は『ゾイド -ZOIDS-』、『ロックマンエグゼ』シリーズ、『武装錬金』、『OverDrive』（全て監督）など。

散りばめられたキャラクターの想いと自分の想いがシンクロできる作品

ジェネレーションギャップ そして新たな挑戦へ

――加戸監督がこれまでに参加された作品は、いわゆる男の子向けの作品が多かったと思いますが『PandoraHearts』に監督として携わることになった経緯をお教えください。

1年くらい前でしょうか、XEBECのプロデューサー・千野（孝敏）さんからお話をいただいたことがきっかけで、本作に携わることになりました。ただ、最初に原作を読んだ時はお仕事をお受けするかちょっと悩んだんですよ。読者層とのジェネレーションギャップがあるのではないか、と心配をしまして。

男の子向けのアニメで表現されるのは、例えるなら「僕はこうしたい」「こうありたい」というような〝ストレートな感情〟です。ただ、本作の場合はその逆で「誰かがこう思っているから僕はこうしよう」というように、自分ではなく他者の考えが先行した形――大義名分があった上での行動や会話が展開されていきますよね。原作が中高生を中心に支持を得ていることからも、最近の子供達には、「考えるよりも身体を動かそう！」といった作品よりも、〝思想〟が感じられる作品のほうが喜ばれるのでは？――と、思ったのですが、私としてはそれに対して思うところがありました。私自身が、小難しいことを考えるよりも明日のご飯の方が気になる性質なので（笑）。

ただ、『PandoraHearts』のような今まで自分が携わったことがないタイプの作品に挑戦してみたいという思いもありましたし、本作のシリーズ構成を担当している関島（眞頼）さんと一緒に仕事ができるなら、なんとかなるんじゃないかと前向きな気持ちもあり、お仕事をお引き受けすることにしました。

――本作を映像化するにあたり、どのような構想を抱かれましたか？

最初は、原作を読んだ上で自分の中で消化しにくかったところを修正していこうと考えましたが、それを行ってしまうと、この作品の良さが失われてしまいそうな気がしたんです。関島さんとシリーズ構成について話をした時にも、「分かりにくいところは、もっと視聴者に分かる形にしよう」という意見が出ました。しかし最終的には、望月先生が創り上げた本作を、アニメ化にしたことによって魅力が損なわれることがないように、まるまる映像化するにはどうすればいいのか？　ということを念頭に置いた作品作りを目指すことになりました。

――本作で加戸監督がとられた演出法についてお聞かせください。

画面上で毎回ハッタリを効かせるといいますか、キャラクターの動きから前後の細かい描写を省き、いきなり盛り上がりのあるところ見せていく、というように、毎回ハイライトシーンを作るようなイメージで画を作成しています。

――「決めカット」によって物語を見せていく、ということでしょうか？

そうですね。ただ、あまりに決めカットばかりでも、話の流れが悪くなってしまうので、使いどころがそれはそれで難しいんです。さらに、アニメーションの場合は時間軸がはっきりとしていますから、漫画のように劇中の時間を飛ばせるものではないんですよ。ですから、アニメでは漫画では描かれなかった箇所を補完していく作業も多くなっていきますが、あまりに補完しすぎると、先程言ったように『PandoraHearts』という作品の良さが失われてしまうんですよね。

意外な印象を見せたキャラクター

――オズやアリスといった登場キャラクター達を、アニメではどのように描いていこうと思われましたか？

本作の場合は、原作からそれぞれのキャラクターについて分析し、時に補完していく形でキャラクターを掘り下げていきました。なので僕やアニメ制作スタッフが、「オズはこういうキャラクターがいいのでは？」と提示していくことはありません。ただ、分析していく過程で、最初に感じたものと全く違った印象を受けたキャラクターも多かったのは意外でした。例えばギルバートの場合、もう少し周りの人のことを気にかけているかと思いきや、実はそうでもない。結論付けて言うと、作中のキャラクターのほぼ全員が自分の願い、欲望のために行動している、と僕は感じました。

――作業の中で楽しかったことについてお聞かせください。

僕自身は、制作作業の中でカッティング※が一番好きなんですが、本作の場合ならダビングです。今回の音楽をお願いした梶浦由記さんが、とても良い音楽を作ってくれたことが、その大きな要因ですね。具体的な作業としては、音楽と映像のバランスをとったり、音響監督の高寺さんと一緒に場面に合う選曲を考えたりすることが面白く、特に上手く映像と音楽がハマり、狙った通りの映像に仕上がったときは最高な気分ですね。本当に良い音楽が上がってくると、それだけで大変助かるんです（笑）。

女性の感性が活きる制作現場

——小林千鶴さんは、本作で初めてキャラクターデザインを担当されていますが、小林さんを選ばれた理由とは？

　女性の感性を本作の中に取り入れたかったことと、前々から小林さんをメインスタッフに持っていきたいという考えが僕の中にあったからですね。彼女の絵は、見る人に、特にアニメーターに対するアピール力がとても大きい。本作の仕事でも、まさかこんなにも活き活きとした絵が上がってくるとは正直、思っていませんでした。

——作業の中で〝女性の感性〟を感じたエピソードはありますか？

　DVD特典映像の演出を担当されている孫承希さんが、第8話のシャロンが馬車から降りるシーンで足下にこだわりを見せていたんです。その時には「ハイヒールを履いたことがないでしょう!? これだと、絶対に降りられません！」というような注意を受けました。そりゃ、男にわかれという方が無理がある……と、その時は思いましたよ（笑）。他にも、ある女性キャラの心理について女性スタッフに質問したら「絶対にそんなことで好きになったりしません！」と駄目出しをされたこともありました。何か意見を求めたり、聞いたりする場合に男性スタッフは「そういうものなんですか？」というように割と同意してくれるんですが、女性からは全否定されたり、怒られてばかりの監督なんです（笑）。

——（笑）。ちなみに先程話題に上った場面は、第19話でのロッティとジャックの場面についてでしょうか？

　そうです！　ロッティはジャックにも興味があるのかな、と思い聞いてみたのですが「ロッティはジャックなんかに興味ないと思います！」と、きっぱり（笑）。でも「きっとグレン様一筋だからこそ、ジャックが気に掛かり、自分の好きな人と仲が良さそうに話していることが、腹立たしいんですよ」と言われた時には、なるほど、と思い、アニメではその意見を参考にさせてもらいました。

——では最後になりますが、ファンの方に向けてメッセージをお願いします。

　一見すると、謎の多い不思議な話だと思われるかもしれませんが、劇中では登場人物それぞれの欲求や悩み、楽しさといった様々な想いが散りばめられています。そして、「今、私はこんなことを思っている」と今の自分と照らし合わせることで、キャラ達が抱える想いと、自分の想いをシンクロさせることができる作品なのではないか、と思っています。そういうところにも注目して観てもらえればいいなと思います。

※カッティング／映像編集作業。上がってきたカットを繋ぐ、または短くカットする作業を指す。

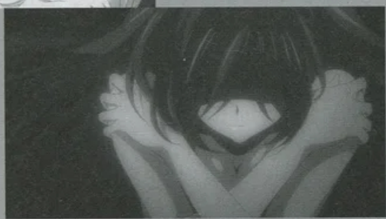
OP(オープニング)とED(エンディング)について教えてください！



第2クールED
以前、小林さんが水彩で絵を描いてるのを見て、ED絵コンテ担当の山岡さんと「コレならイケる！」と確信したんですよ。最近では複雑な作りのEDも多いですが、絵の持つ力を見せることで一石投じられたならと（加戸）

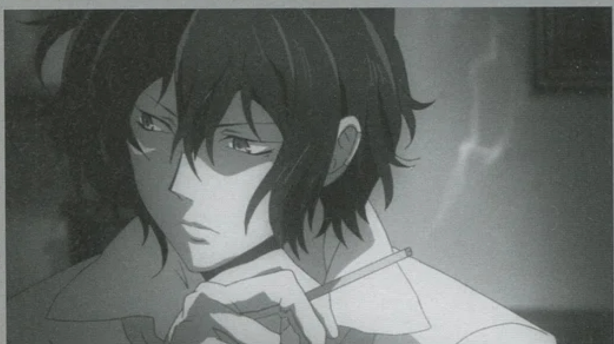


OP
オズが、これから出会うキャラ達を背景にして歩いていくカットを入れたかったんです。ギルが「ビーラビット」を解放するカットは、女性視聴者に喜んでもらうためのサービスです（笑）（加戸）

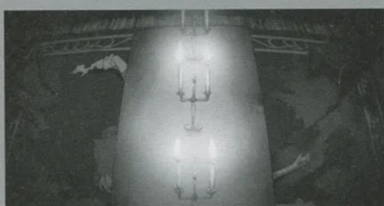


第1クールED
アリスが裸にブーツであることに、女性スタッフから引かれました（笑）。あれは、男性が観た時に興味を持ってもらえたらいいな、という意図です（加戸）

他にもこんな演出法があります！



演出の上坪亮樹さんの提案で、劇中の煙草の煙は一部を除き、実写を使用しています。“各話ごとの監督”ともいえる演出家の皆さんから、様々なアイデアが上がってくるので、上手く嵌りそうなアイデアはどんどん採用していきます（加戸）



蝋燭は、炎が燃えているように見えるエフェクトを毎回撮影担当の方に入れていただいています。なので、絵として描いているのは、実は土台となる蝋燭だけなんです（加戸）

キャラクターデザイン

小林千鶴

Kobayashi Chizuru

XEBEC所属。アニメーター。本作では、初のキャラクターデザインを担当。メインキャラクターを中心にデザインした。主な作品は、「OverDrive」、「ヒロイックエイジ」（原画）など。

「ギルをかっこよく！」と強調されていて印象的でした（笑）

再構築されるキャラクター達

――本作では山岡信一さんとお二人でキャラクターデザインをご担当されていますが、どのように分担したのでしょう？

私が主にメインや若いキャラクター達を、山岡さんには敵キャラクターやチェインなどを担当してもらいました。

――キャラクターをデザインする際、原作の雰囲気を表現する上で特に気をつけたことはありましたか？

キャラクターのシルエットです。原作のキャラクター達は、服や髪の毛が空気を含んだように、ふわっと膨らんでいることが多いんですよね。そのフォルムを再現したかったので、設定画も重力に逆らった感じで描いています。それから、他作品ではあまり使用されていませんが、この作品はダークファンタジーということもあり、彩色の際にBL影（黒色の影）を多用してもらっていますね。

――加戸監督からのオーダーはどんなものだったのでしょうか？

加戸監督からは、「この作品は止め絵で見せる作品だから、線をできるだけ多くしてほしい」というオーダーがあったんです。初めは、線を省略したシンプルなデザインでキャラクターを描いていたのですが、その要望により、描き込みの多いデザインとなりました。ただ、止め絵で見せるとはいえ、アニメなので動かないことはないですから、線を増やすとなると後々大変な作業になるだろうな、と予感はしていました（笑）。

――キャラクターを描く際、原作の望月先生からはどんな要望がありましたか？

ラフを提出した後に、望月先生からキャラクターごとの描き方についての厚い資料をいただいたのですが（P.89-94参照）、そこに「ギルをかっこよく！」と、すごく大きく強調して書かれていたことが一番印象に残っています（笑）。あとは、「女の子の足にはそれぞれ個人差がある」「エイダをムチッとさせてください」「胸を大きくしてほしい」など、〝女性向け作品〟には珍しいような指示もいくつかいただきましたね（笑）。

幼少時のヴィンセントに関しても眉の傾き加減にこだわりがあるようで、「元気すぎないで、目と眉が平行になるように」と、細かい指示がありました。

――オズに関してはどのような要望がありましたか？

オズは、ぱっと見は元気な主人公というイメージですが、少し腹黒いところや暗い部分がありますよね。そこのポイントがラフで出せていたのか、すんなりチェックに通りました。ただ私自身としては、初めの頃は、オズが何を考えているのか把握しにくく、キャラクターが掴めなかったんです。特に序盤は作り笑顔だったり、大人っぽい表情をしていたりと、難しかったですね。現在はもう相当な数を描いてきたので、かなり描き慣れましたが（笑）。

キャラクターデザイン 作業の苦楽

――作業する上で苦労された点や面白かった点はありますか？

これまでのお仕事では、男性向けの作品が多く、かっこいい男性キャラクターを描く機会があまりなかったんです。なので、今作品は新鮮でした。ですが、その分「かっこよく描かなければ！」というプレッシャーがあり、気が抜けないんですよね。しかも『PandoraHearts』は、原作のキャラクター達がとにかく綺麗で。最初の頃は、うまく描けず、ひたすら原作を見ながらの手探り作業になり、苦労しました。それとは反対に、女の子のキャラクターは、過去に携わってきた作品の中でたくさん描いていたので、楽しく描けましたね。

――ドレスなど、装飾が細かい衣装のキャラクターが多いですが、そちらはいかがでしたか？

アヴィスの意志や過去のアリスの衣装は、フリルやレースが細かく、線の量的には作中でもトップクラスの多さです。今より線を多少省略して描いていたのですが、いつの間にか線が増えに増えていき、大変でしたね。

100年前のロッティのドレスや髪飾りも、バラがモチーフとなっている装飾がたくさん付いているので難しかったです。バラはロッティの服以外にも、劇中の随所に登場することもあり、ものすごくいっぱい描きました。そのおかげで、迷いなく描けるように（笑）。

ちなみに、衣装に関連するお話ですが、第12話「鏡の国」で、シャロンの足がドレスの裾から見えるシーンがありましたよね。この話数を作っている最中、流石に下着は穿いているだろうという話になり、急遽下着の設定を作りました。それに関しては、原作には登場していなかったので、昔のイギリスのコルセットを参考にしています。

――制作現場での面白い事件やエピソードがありましたら教えてください。

なぜか、スタッフ達がエミリーのことを「エリザベス」など、違う名前で呼んでいたんですよ。皆さん自分で好きな名

前を付けていたようで、それが面白かったです。聞いた時は誰のことを言っているのか、わからなかったのですが、一瞬間を置いてから「ああ、ブレイクの肩に乗っているエミリー人形のことか！」と、理解するという……そんなやりとりが、度々ありました（笑）。

『PandoraHearts』で得たもの

――全25話の中で印象に残っている話数を教えてください。

第13話「歪んだ記憶の住人」は、見ていてすごく楽しかったです。いつもとは一味違う耽美な雰囲気になっていましたし、画面のレイアウトや動きも良く、演出もしっかりとされていたので、いい話数になったと思います。

あと、私が作画監督をした話数になりますが、第18話「とある従者の死について」でしょうか。この話数は、エリオットやリーオなど、まだ描き慣れていない新キャラクターがたくさん登場して大変でした。しかし、時間がないなりにも、上手くまとめられたという意味で満足しています。ちなみに、ラトウィッジ校の制服のデザインは真っ白なため、あまり線を減らすと間が持たなくなってしまうので、作画の際は気を遣いましたね。

――版権イラストの中で、印象に残っているものはどれでしょうか？

トランプが飛んでいるイラスト（P.10参照）は、このイラストでやっとオズのイメージが掴めたこともあって、一番印象に残っています。また、ヴィンセントを初めて版権イラストで描いたり、背景のモチーフを好き勝手に描いたりもできて非常に楽しかった思い出があります。

大変だったのは、幼少のオズとギルのイラスト（P.21参照）。これを描いたのが、まだ二人の幼い頃の絵を描き慣れていない時期だったので、どう描こうかと苦心しました。しかし、小さい頃の絵というオーダーは、他の版権イラストではあまりないものでしたので、今思うと面白かったと思いますね。

他には、私が担当したイラストではありませんが、オズが椅子に座っているイラスト（P.20参照）が好きです。こちらは、椅子の質感や背景を貼り込んでいて、雰囲気がすごく素敵だと思います。

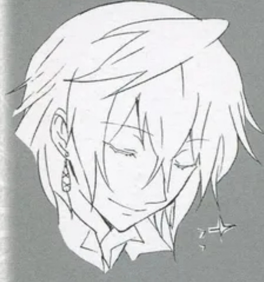
――本作に携われたご感想や、ご自身の中での変化を教えていただきたいです。

『PandoraHearts』という、女性向け作品という新たなジャンルに挑戦できて、とても面白かったです。私自身、表現力が広がりました！

――最後に、『PandoraHearts』ファンに向けて、メッセージをお願いします。

アニメは、原作とはまた少し違った雰囲気になったかと思いますので、漫画と見比べながら両方楽しんでください。また、DVDは、ジャケットイラストが毎回描き下ろしですし、特典映像のアニメでは監督ノータッチで、毎巻好き勝手に面白いことが行われています。是非、お楽しみください！

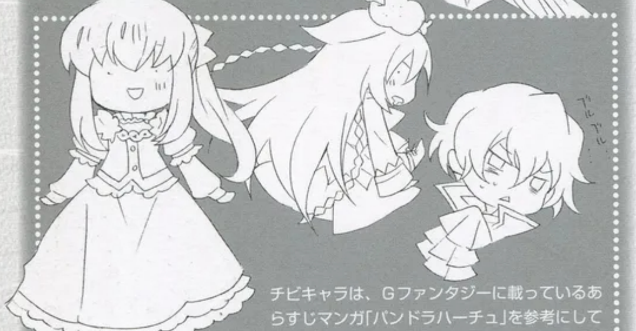
キャラクターデザインについてもっと聞かせてください！



ジャックは、キラキラした王子様のようなイメージです。ベースはオズのシルエットで、そこに爽やかさを追加して描いていますね。服の細かい装飾が大変だとは思いつつも、あまり出番がないので、あえてたくさん描き込みました(笑)(小林)



過去のブレイクは、現在と比べて人間味を持たせて描いています。驚いた表情や怒った顔もしますし、普通の人っぽいですね(小林)



チビキャラは、Gファンタジーに載っているあらすじマンガ「パンドラハーチュ」を参考にしています。描いていてすごく楽しいです (小林)

とっておきのイラストを見せてください！



キャラクターデザイン

山岡信一

Yamaoka Shinichi

XEBECに所属。本作では、チェインやサブキャラクターのデザインを担当。これまでの主な参加作品は、『蒼穹のファフナー』（助監督）、『D・N・ANGEL』（キャラクターデザイン）など。

キャラデザ作業分担の作用

——今回、小林千鶴さんとお二人でキャラクターデザインをご担当されましたが、共同での作業はいかがでしたか？

私はチェインやバスカヴィルの民などのデザインを担当しました。おじさんや動物を描くのが好きな私にとって若くてキラキラしたキャラクターを描くのは大変です。なので、小林さんに若い子達を担当してもらえて助かりました。ただ、私はあまり描き込むタイプではないのですが、今作では止め絵を綺麗に見せたいという監督の意向もあって、小林さんはデザインを細かい部分まで描き込んでいたんです。そのため、私も細部まで描き込むようにして頑張りました。

——キャラクターデザイン作業をする中で、印象的だった出来事がありましたらお教えください。

スタッフ達と設定色見本のチェックをしている際に、小林さん担当のキャラクターのチェックでは真面目な意見が飛び交うのに、私が担当したキャラクターのチェック時は、なぜか時々冗談が飛び交っていたことですね。『ハグキをもっと、ピンクにしよう』とか『もっと変な色で』という指定があったりと、大丈夫かな…と思うこともしばしばでした（笑）。

——『PandoraHearts』の世界観を構築する上で、気を配られたことがありましたらお聞かせください。

ヴィクトリア朝のデザインを参考にするということで、資料をたくさん集めましたが、そのままだとファンタジー要素もある『PandoraHearts』の世界にはハマらないんです。そこで、資料を参考にしつつも、シャープにしたり派手にしてみたりといった調整を行いました。

——特にお気に入りのキャラクターはいますか？

チェシャ猫がお気に入りです。私自身、猫好きなので（笑）。また、私が担当したキャラクターではありませんが、ブレイクの枯れた感じが好きですね。

——OPと2クール目EDのコンテもご担当されていますが、いったいどのように構成していったのでしょうか？

OPテーマの『Paralle lHearts』は、ズバリ「Pandora-!」という曲だったので、コンテのイメージ自体はスルスルと出てきたんです。しかし、カット数が多すぎてイメージが散漫になるのは避けたかったので、カットを厳選し、削って削ってシンプルに構成しています。

2クール目のEDは爽やかな曲だったということもありますし、話数が進むにつれ、本編の内容がよりハードになっていくであろうことから、本編が終わった後にホッとできるものにしたいと思いました。そこで、画面に手描きの温かさを取り入れることを思いつき、小林さんに水彩でやわらかいタッチのイラストを描いてもらいました。ちなみに、ちびっこいギルが猫に追いかけられているコミカルな画面も一瞬、脳裏をよぎりましたが、本編が台無しになりそうなので自粛しました。……それ以前にコンテチェックに通らなかったと思いますが（笑）。

——では、最後にファンへのメッセージをお願いします。

わくわくしながら観ていただけたなら幸いです！

2クール目EDは、ホッとできるものにしました

各チェインについて教えてください！

血染めの黒うさぎ ビーラビット

初めはアリスとのギャップを考え、もっとマッチョで怖いイメージで描きましたが、最後にはごつくなり過ぎず可愛くなり過ぎない現在の形に落ち着きました。

鴉 レイヴン

『得体の知れないモノ』というイメージです。同じ鳥類をモチーフとしたチェイン・グリフォンと棲み分けも考え、単純に大きな鴉を描くことは避けました。

一角獣 エクエス

サラブレッドを参考にしましたが、イメージよりも逞しくなってしまい調整をかけました。もっとスマートにしたかったんですが、それをすると貧弱になったりと、バランスが難しいキャラです。

イカレ帽子屋 マッドハッター

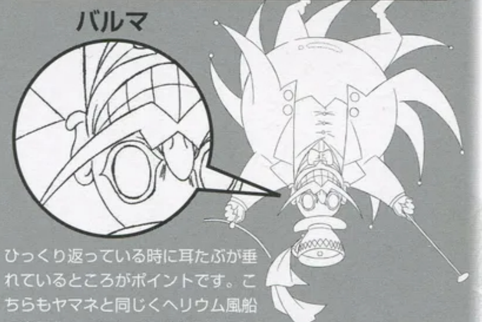
とにかく『ヤバそう』なキャラに見えるように、というオーダーです。赤い、つぶらな瞳がチャームポイントです（笑）。

眠り鼠 ヤマネ

原作のファンシーな感じをちゃんと出せればいいと思い描いています。ヘリウムガス風船にして発売してほしいです。

キャラクターについても教えてください！

バルマ



ひっくり返っている時に耳たぶが垂れているところがポイントです。こちらもヤマネと同じくヘリウム風船で商品化してほしいですね（山岡）

シリーズ構成

関島眞頼

Sekijima Mayori

脚本家。本作ではシリーズ構成を担当し、1話や25話などの脚本も執筆。これまでの主な参加作品は、『ゼーガペイン』、『獣神演武 -HERO TALES-』(共にシリーズ構成)など。

ラストはオズに自分を好きになって欲しいという想いの結晶

原作へと繋がる寄り道 オリジナルストーリー

――最初に原作を読まれた際、どのような構想をお持ちになりましたか?

原作の物語を遵守し、かつアニメならではの表情芝居やアクションでほどよくボリュームを膨らませるスタンスでいきたいと考えました。「アニメ」と「マンガ」というメディアの相違上、原作の丸写しでは良質のアニメにはなりがたく、かといってアニメ独自の表現に固執すると原作とかけ離れたものになってしまう恐れがあります。そのバランスを取りながら構成していきました。原作の複雑さについては、監督からの要望もあり、シリーズ構成や脚本でわかりやすくし過ぎないように気をつけました。本作品では、それがネタバレに繋がりかねませんので。

――加戸監督や望月先生からのオーダーで印象的だったものを教えてください。

加戸監督からのオーダーでは「オズの感情にきちんと理由と必然性を持たせてください」というものでしょうか。また、望月先生からは「原作ではページ数の関係上アクションシーンが少なかったので、アニメで見てみたいです」というご要望をいただきました。

――アニメオリジナルストーリーとなったラスト3話の流れは、どのように決まったのでしょうか?

アニメでは、原作が数年かけて紡いできた内容を半年間で一気に提供するため、視聴者の心に謎や疑問などが鮮明に残りやすくなります。そこで、ラスト3話を使ってその疑問の中のひとつに答えを与えるべきだと考えました。ただ、アニメの放送が終わっても原作の連載は続くので、ネタバレとなる話はNGです。しかし、原作の流れをまったく無視した終わり方にもしたくなかったので、ラストの展開はアニメなりに物語を着地させながらも、引き続き原作と矛盾なく楽しめる形を模索した結果です。その上で『オズ君が自分を好きになれたらいいなあ』というスタッフ達の想いが結晶化したもの、とお考えください。

――第25話「否定の彼方へ」で、「一人の人間を否定するのは、決して楽しい事ではないな……」というオズの父親・ザイのセリフがありましたが、ザイはどのような心境だったとお考えですか?

ザイは、オズの〝宿命〟を嫌悪するため、彼の存在すらも否定しようとしているのだと思います。しかし、もしオズが〝宿命〟を背負わずに生まれてきたとしたら、ごく普通に人の親としてオズを愛し慈しんだことでしょう。そんな彼が、ラストで自我を確立して成長をとげたオズと再会した時、息子の〝宿命〟を嫌悪しながらも、なお垣間見せた父親ゆえの感慨――と、私は考えています。

――まだ物語が続いていきそうな終わり方となった最終話でしたが、最終話後はどんな物語が展開されると思いますか?

ラストの3話だけ寄り道したものの、その後は再び原作へと合流して、原作と同じ物語をたどると思いますし、そうなるようにしたつもりです。私自身が原作のファンなので、それと異なる今後の展開は考えにくいですね。

――『PandoraHearts』に携われたことへのご感想をお聞かせ願います。

テレビの中で動くオズやアリスを見ているだけでワクワクしました。また、アニメとは総合芸術ですが、本作品では改めてそれを実感させられました。全てのスタッフ&キャストの皆さんをハグしたい気持ちでいっぱいです。

――最後にファンの方へのメッセージをお願いします。

アニメ版『PandoraHearts』を観ていただき、本当にありがとうございました。原作の連載はまだまだ続きますので、これからもオズやアリスやギルを可愛がってやってください! ああ、第2期シリーズやりたいなあ……。

メインキャラクター5人の印象は?

可愛い、いろんな意味で!

どうやら望月先生の画は、私のストライクゾーンど真ん中のようで、どのキャラクターも「可愛い」と思えてしまいました。(関島)



可愛い……たぶん。



お気に入りのキャラクターをあえて選ぶならば、主人公のオズです。主人公という鏡に映ってこそ、他のキャラクター達も輝けるのですから(関島)

美術監督

わたなべけいと

Watanabe Keito

XEBECに所属。本作では、美術監督として美術ボードや背景設定を担当。これまでの主な参加作品は、『Over Drive』『To LOVEる-とらぶる-』（共に美術監督）など。

頭の中に描いた世界を歩きイメージを膨らませまるんです

独特の世界観を表現する様々な工夫

――最初に原作を読まれた際の印象はいかがでしたか？

城や屋敷が舞台となるお話なので、手間をかけて小物・調度品・壁の飾りなどを描いて、背景を豪華にしなければ成り立たない作品だと思いました。

――『PandoraHearts』の世界観を表現する際、特に気を配られた点や工夫した点をお聞かせください。

影の中やアヴィス空間の処理を工夫して、不思議な世界観を散りばめることです。『PandoraHearts』の世界は、ヨーロッパをモチーフとしながらもアヴィスやチェインなどのファンタジー要素もありますから。その上で、ガスや蝋燭の明かりといった光源の色に中世ヨーロッパの雰囲気を出したり、調度品への描き込みで貴族の世界の豪華さを表現したりと、リアリティを出すための背景ディテールにも気を配っています。

――美術に関して、加戸監督からはどのようなオーダーがあったのでしょうか？

加戸監督からは、オズ達がいる通常の世界を描く際は、カメラの露出を常に明るい部分に合わせてほしいという要望がありました。従って、露出が合っていない部分は、色をかなり暗く落とし、明るい部分と暗い部分がはっきりと分かれた画面になっているんです。そこで、影の中に遊びを入れたのですが、この作業のおかげで美術スタッフ達は、帰る時間が毎日1時間は遅くなったかもしれません……。ちなみに、影を強調する絵作りになってはいますが、暗い絵にはならないように工夫しています。全体の印象が暗いと、画面を見ていても気分が暗くなることがありますよね。そうはしたくなかったので、影以外の部分はハッキリと色がわかるようにして、背景は暗くても画面全体の印象としてジメっとならないようにしたつもりです。また、距離感のわかりにくいアヴィス空間を、アニメでは遠近感を強調した絵作りにしたのも、加戸監督からのオーダーでした。

――現場で作業をされていて、大変だったことはありますか？

イメージ通りに表現できない時はやはり苦しいですね。当たり前の話ですが、スケジュールが短くても良い背景を仕上げなければなりません。99枚が良い背景だったとしても、1枚良くない背景があると、観ている方々の印象に後々まで残ります。だから、最後まで手を抜かずに作業しなければならないのですが、私はまだ人間ができていないので、楽をしようという誘惑に襲われることがあり――その誘惑に打ち克つことが大変でした。

――ご自身が担当された美術ボードや背景でお気に入りのものをお教えください。

全ての作品に思い入れがありますが、特に「館」関係は、『PandoraHearts』の世界観を構築する際の基本の設定でもあるので気に入っています。その中でも特に思い入れがあるのが、本作品で最初に手がけたボードの礼拝堂内ですね。また、設定を作る際、頭の中に描いた設定の世界を、私自身が歩き回ってみて、イメージを膨らませる……という形で、良い設定を作っていきます。そういう意味では、第5話「時計回りの悪夢」で登場したノーザンブリアの街も好きです。歩いていて楽しそうですからね！（笑）

――最後に、作品に携われてのご感想とファンへのメッセージをお願いします。

この作品に携わっている間は、常に緊張感、責任感、充実感を感じていましたし、作品へのこだわりが今まで以上に強くなりました。また、背景美術という地味な作業に関心を持っていただき、ファンの方々に感謝です。ファンの存在が、日本のアニメーションを育てていると思います。一人でもファンが増えるように良い作品を作りますので、これからも応援よろしくお願いします。



美術ボードを見せてください！

バスカヴィル城の中庭も好きです。やはり暗い部分が多いので、明るい背景が恋しくなるんですかね（わたなべ）



▲バスカヴィル城・中庭
▶館・礼拝堂内

プロップデザイン

影原半蔵

Kagehara Hanzou

コミック誌を中心に活躍するイラストレーター。本作では、作中でキャラクター達が使用する小道具類のデザインを担当した。今回の『PandoraHearts』が初のアニメ制作作業への参加。

原作の雰囲気を大切に多岐に渡る資料を考慮

――最初に原作を読まれた際の印象はいかがでしたか?

仕事のお話を受けた時は、漠然と女性向けの作品だと思っていたんです。しかし、いつのまにか原作を楽しんで読んでいる自分がいました(笑)。そして続きが気になり……もうただのイチ読者ですね。アリスのツンデレっぷりもいいですし、大きくなってもギルが可愛いところや、オスカー叔父さんの茶目っ気ぶりも大好きです。男性の私でも十分楽しめますから、アニメにしたら面白くなる作品なのではと思いました。

――作品の世界観を作り上げる上でも重要となるプロップデザインで、気を遣った点をお教えください。

やはり、原作ありきの作品ですので、原作の雰囲気を壊さないようにすることです。そのため、大半のプロップは原作に登場しているものに近い状態で、あまりおかしなアレンジは加わっていないはずです。ただ、原作に登場しないものや、アニメの演出上アレンジが必要なものに関しては、原作の雰囲気に近いイギリスのヴィクトリア朝前後の時代に関する資料や、アンティーク家具の本などを参考にしています。また、資料に関しては、ネットオークションに出品されているアンティーク食器の画像や、イギリス観光へ行った方が買ったアンティーク品の画像など……念のため、そんなものまで集めていました。その中から、作中に登場してもおかしくないものを選んで、デザインの材料にしています。

――制作現場でなにか面白い事件やエピソードはありましたか?

面白いといいますか、監督との打ち合わせ中に銃談議になってしまったことがあります。部屋におもちゃの銃やらライフルやらが転がっているくらい、私は武器類が好きなんです(笑)。しかし、作中で使用されることになった旧式の中折れ式リボルバーの銃に関しては、あまり詳しくなかったので、参考にモデルガンを購入しました。それを打ち合わせに持っていったところ「そうそうコレコレ」と、監督と話が盛り上がってしまい……。ちなみに、その後の打ち合わせの際には、監督も同じ銃を手に入れたとのことで、見せてもらいました(笑)。

――では、制作作業で大変だったことなどはありますか?

初めに戸惑ったことは、今までやってきた仕事とはペース配分が違う点ですね。過去にやっていたイラストの仕事は締め切りに向かって一気に作業をして、終わればそこで終了という、短距離走のような作業でした。しかし、アニメは放映が開始されるかなり前の時期から制作を開始しているんです。しかも初めはスローペースだったものが、放映が開始した途端、締め切りが明確になったので急に切迫感を覚え――実際には違いますが、気持ち的には毎週締め切りな上、それが25話(週間)も続く、マラソンのように感じました。

監督と銃談義になってしまったこともあります(笑)

――作品に携われたことへのご感想をお聞かせ願います。この作品を経て、ご自身になにか変化はありましたか?

私としては『PandoraHearts』は初めてアニメ制作に参加した作品ですので、何よりもうれしく、加戸監督の下で他のスタッフの方々と一緒にお仕事ができたことを、とても光栄に思っております。また、変化といえば、これまでテレビアニメはイチ視聴者として、作業をしながら見ることが多かったのですが、今はしっかりと細かく、小物まで見るようになりました(笑)。

――最後にファンの方へのメッセージを。

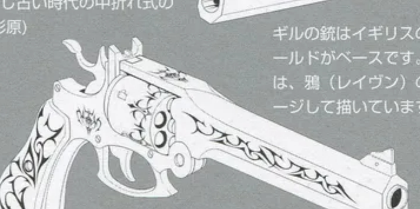
プロップデザイン担当としては、画面に一瞬しか登場しないプロップに注意していただいて、原作とは異なる点にも気付いていただけましたらうれしいです!

銃器類について教えてください!

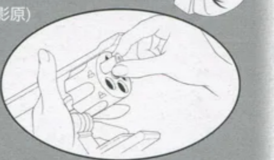
銃器類は実は原作と設定が異なります。原作に登場している物は比較的現代のリボルバーに近いですが、アニメではもう少し古い時代の中折れ式のタイプになっています(影原)



ギルの銃はイギリスのエンフィールドがベースです。銃の模様は、鴉(レイヴン)の羽をイメージして描いています(影原)



「デザートイーグルのような」というオーダーから、ヴィンセントの銃はギルの銃をベースにして、少し悪そうな感じに(笑)(影原)



音響監督

高寺たけし

Takadera Takeshi

HALF H・P STUDIO所属。音響監督、音響制作。本作では、音響監督を担当。主な参加作品は『武装錬金』、『亡念のザムド』、『クロスゲーム』(全て音響監督)など。

「音」から視聴者が疑惑を抱かないように配慮しています

音が支える「世界」の存在

――『PandoraHearts』の世界観を「音」という形で構築していく際に、どのようなところに気を配られましたか?

〝現実世界〟と〝アヴィス〟このふたつの空間が実際にあるかのような存在感を出すことです。現実空間なら、中世ヨーロッパ的な雰囲気を感じられる音にすること。そしてアヴィスなら、環境音が空間内で反響されて聴こえるようにするといった、ふたつの空間を差別化するために、様々な工夫を考えました。ただ、その違いは実際にアニメを観て、聴いて視聴者の方にそれぞれ感じてもらいたいですね。

――苦労された点はありますか?

アヴィスに現れる人形達ですが、彼らの持つ不気味さ、気持ち悪さ、といったものを表現するために、セリフをどのような方法で収録して、どう被せて、どう加工するか? と頭を悩ませました。

――加戸監督からは、どのようなオーダーやお話があったのでしょうか?

オズとギルの関係性は、劇中で揺らぐことがないしっかりとしたものにしたい、という話がありました。本作は謎と伏線が張り巡らされた作品なので、何が本当で嘘なのか、とてもわかりにくいですよね。登場人物達も、過去の記憶がなかったり、裏で暗躍していたりと、皆どこか怪しく思えてしまう。でもアニメでのオズとギルの関係については疑いのないものに、特に「音」から視聴者が疑惑を抱くことがないように配慮しています。

あと本作の音楽は梶浦由記さんがいいのでは、という要望もありました。梶浦さんはご自分の中に素晴らしい世界観を持っている方で、「梶浦節」とも呼ばれるその音楽と、本作の世界観はたしかにマッチするものでした。そして、せっかく梶浦さんにお願いするのだから、普通の劇伴なら1曲1~2分程度のものを、逆に曲数を少なくして3~4分の長い楽曲に、さらにその1曲の中に起承転結や喜怒哀楽といった展開のあるものにしてほしいと、お願いしたんです。

――アフレコ現場の様子についてお聞かせください。

キャストの皆さんも最初は探り探りで、固い雰囲気でしたね。でもオズ役の皆川純子さんが座長のようなポジションになり、そこからあの人がツッコミ役、この人がボケ役、と段々と息の合ったチームになっていったと思います。

――では、そんなアフレコ現場ならではのエピソードや、印象深い出来事がありましたら教えてください。

第8話では、シャロンがギルのマネをして「従者になりたい」と言うシーンがありましたが、実はシャロンを演じる花澤(香菜)さんになかなかOKが出せなかったんですよ……。僕がというよりギル役の鳥海(浩輔)さんのチェックが厳しくて(笑)。

それから、流石だ! と思った出来事としては、ブレイクを演じる石田(彰)さんはエミリーも兼役として演じられていますよね。「腹話術師」とその「人形」のやり取りとなると、別録りになることもあるんですが、石田さんの場合は別録りではなく、その場その場の一発勝負で収録していったんですよ。最初は別録りにするかどうか確認をしましたが「やってみます!」と心強い返事をいただきまして……。実際に一度も別録りにならず、全て一発OKだったことには、流石だなと思いました(笑)。

――では最後に、ファンの方に向けてメッセージをお願いします。

視聴者の皆さんが原作を読み、自分の中で膨らませていたイメージを、アニメを観たことで、さらに良い方向に膨らませていただけたなら、そして本作の世界をより身近に実感していただけたなら、それが一番ありがたいことです。

アフレコについてもっと聞かせてください!

コマ割でシーンごとに構成されている漫画と違い、アニメはリアルに時間が流れ、環境音やBGMが付いていますから、どうしてもシリアスからギャグへ、またはその逆への切り替えは難しいものになります。音響監督としては、そこが面白いところでもあるんですが、キャストの皆さんにとっては悩みどころでしょうね。



川澄さんは、アリスのようなツンデレなキャラを演じるのは初めてだということで、戸惑いながらも、楽しんで演じられていました(高寺)



花澤さんが女王様なシャロンを演じる時には、周りから「そんなおばさんじゃ駄目」というようなことを言われていたことも(笑)(高寺)

音楽

梶浦由記

Kajiura Yuki

作曲家、音楽プロデューサー。今作では、劇中伴奏とOPを担当。これまでの主な参加作品は、『ツバサ・クロニクル』『舞-乙HiME』『空の境界』(共に劇中伴奏)など。

多面性を持つ物語を様々に彩る楽曲

――まず、原作を読んで本作の音楽をどんな形で表現したいと考えましたか?

原作を読んだ時に、物語の背景にあるダークな世界観が、私の音楽に求められているんだろうと思ったんです。なので、アヴィスといったダークな部分に絞った、柱となる音楽をひとつ作らなければならないと思いました。ただ、登場するキャラクター達は、謎を持ちながらも比較的真っ当なんですよね。アリスにしてもチェインではありますが、普通の女の子の心も持っている。だから、ダークな世界観だけでなく、そこに存在している登場人物達の〝青春劇〟という一面も、しっかり出していきたいと考えました。

――今作の楽曲作りで楽しかったことを教えてください。

懐中時計から流れる曲『レイシー』として劇中に登場している『Melody』という曲は、作っていて特に楽しかったですね。オルゴールのように、シンプルな旋律は考えるのが面白く、いい意味で頭を悩ませました。私の好きなエリオットがピアノで弾く曲を作れる! ということではないんですよ……?(笑)

――では、逆に苦労したことは?

オズをイメージした曲を作っている時が一番悩みました。『Will』という曲なのですが、オズはなかなか複雑なキャラクターで、曲調の明るいものと暗いもの、そのどちらもピンと来なかったんです。そこで、あえて感情を偏らせずに、明るさもありながら寂しさもある――いろいろな面を併せ持っている人間くさい楽曲にしてみました。なので、他の楽曲とはニュアンスが異なり、「歌モノ」に近い感覚で作っています。

――ちなみに、他キャラクターのテーマはどんなオーダーがあったのでしょう?

アリスのテーマは「少女らしい中にも寂しさのある曲」。ギルは「跪いてオズに忠誠を誓っているイメージの曲」という、やけに明確な注文でした(笑)。

――今回、手がけられた曲の中で、思い入れが深い曲はどれですか?

『PandoraHearts』という曲です。アニメのPVを制作する際に、作品全体のテーマ曲として、他のものよりも一足先に書きました。この曲を作ったことで作品の世界観をより深く認識できた部分もあり、印象に残っています。

――OPテーマ『Paralell Hearts』のコンセプトについて、お教えください。

歌詞を完全にオズの視点で書いていています。一人で生きていくことは、実は楽なことで、拒まれるかもしれない他人と分かり合おうとするには、ぶつかる勇気が必要ですよね。『PandoraHearts』本作は、様々な人と関わったことで、そのことに気付いたオズが勇気を出して人と手を取り合い、未来に向かっていく成長物語だと感じ、そこをコンセプトにしました。特に書きたかった歌詞のフレーズは、「一人で行く筈だった未来を変える力を下さい」という部分。その〝力〟を持つことが大人になることだと思います。

OPテーマは、オズが勇気を出して未来に向かおうとする歌

――では最後に、視聴者や読者に向けてメッセージをお願いします。

曲を作りながら、どんな場面に使っていただけるのかを思い浮かべるのがすごく楽しかったです。場面を盛り上げることができる音楽であるようにと祈って作った曲達ですので、アニメと一緒にお楽しみいただければ幸いです。



JASRAC 出0910107-901

楽曲についてもっと教えてください!



ジャックもなかなか好きなキャラクターです。ジャックをイメージして作った曲は、キャラクターと音楽が融合し、彼らしい神秘的な曲に仕上がりました。それがどの曲なのかは秘密です(笑)。探してみてください(梶浦)



『PandoraHearts ORIGINAL SOUNDTRACK1』
品番:VTCL-35065
発売中
『PandoraHearts ORIGINAL SOUNDTRACK2』
品番:VTCL-60169
9月30日発売
ともに3,045円(税込)
※情報は2009年9月現在のものです

発売元:フライングドッグ　販売元:ビクターエンタテインメント

OPテーマ FictionJunction

（フィクション・ジャンクション）歌い手をフューチャーした形で活動する、梶浦由記のソロプロジェクト。今作のOPテーマで、初のオリジナルシングルを発売した。

質問事項
①ＯＰテーマ『Parallel Hearts』についてのご感想をお聞かせください。
②『Parallel Hearts』の歌詞で、好きなフレーズ部分とその理由をお聞かせください。
③ファンの皆様に一言お願いします。

WAKANA

①『PandoraHearts』で、FictionJunctionとしての初オリジナル楽曲を４人で歌うことができて、とても嬉しかったです。②「分かり合えないと分かった それだけで二人が始まって行く」。歌っていても気持ちがいい箇所ですし、歌詞も究極だな……と頷けるフレーズです。③私達FictionJunctionの初オリジナルシングルを、是非原作を読みながら、またはアニメを観ながら、聴いてください!!

KAORI

①ライブ感溢れるサウンドが、かなり気に入っています！　②「涙も痛みも全て抱きしめてあげたいけど走れば走るほど遠くなる気がして不安になる 何処まで行けばいいの…」。４人のボーカルワークの一番の聴かせ所だと思います。不安な気持ちを疾走感のあるサウンドに乗せて爆発させながらも、次のフレーズに向けて落とす。この流れがお気に入り！　③素敵な作品のＯＰを歌えて、幸せです！

YURIKO KAIDA

①最初に聴いた時は「カッコいい～」と思い、ＯＰ映像を見た時は「まさに映像と合ってる～」と思いました。歌う時は「気持ちい～い」と思いながら歌っています。②「君が笑う それだけで高く飛べる」。ファンの皆さんの笑顔が見られるだけで歌い続けられる、私の気持ちと重なるから好きです。③これからも『PandoraHearts』とFictionJunctionを、よろしくお願いします!

KEIKO

①ボーカル４人の声が競い合うかのように歌う部分と、声が溶け合うハーモニーの部分。そのふたつの面白さが、この楽曲の魅力です。②「一人で行く筈だった未来を変える力を下さい 君が笑う それだけで高く飛べる」。歌詞がとにかく好きなのと、メロディが静まってから再び始まる、この大サビの迫力が堪らなく好きです。③私もイチ視聴者として、アニメを楽しませていただいていました！



『Paralle Hearts』
1,155円（税込）
品番：VTCL-35065
発売中
※情報は2009年9月現在のものです



発売元：フライングドッグ　販売元：ビクターエンタテインメント

EDテーマ savage genius

（サヴィッジ・ジーニアス）作詞とボーカルを担当する、あおによるソロユニット。アニメソングを中心に活躍し、多くのファンから支持を得ている。

◆EDテーマ『Maze』と『私をみつけて。』について教えてください。

『Maze』：アリスになったつもりで作った曲です。この曲でアリスの心象を表現する際、ふたつの心──白アリスと黒アリスを描く必要がありました。そこで、この歌を私とは別の方と二人で歌えば、それをより表現できると思い、近江知永さんに共演をお願いしました。

『私をみつけて。』：アリス目線の歌詞です。ただ、こちらは彼女がまだ「人」だった頃──少女アリスの、大好きな「君」を想う歌です。

◆EDの映像を観た感想は？

『Maze』の映像は、とにかくかっこいい!!　特にサビでの黒アリスと白アリスのカットは、曲のコンセプトと合っているのが嬉しくてゾクっとしました。あと、裸ブーツのセクシーアリスにドキドキですね（笑）。

『私をみつけて。』は、優しい色使いで切り替わっていくキャラクター達の平和な表情が、私の思うこの曲の配色と同じで、これまたゾクッと鳥肌がたちました！

◆それぞれ、歌詞の中で気に入っているフレーズをお聞かせください。

『Maze』：「…永遠普遍の愛なんて信じられるのかしら？」。この言葉を言った時点で永遠普遍の愛に期待しているんでしょう。でも、“何か”を信じるのは勇気がいりますし、怖いことなんです……という私達自身にも通ずるものがあるフレーズです。

『私をみつけて。』：「寂しさに慣れたそんなフリをしてた いつから私は強がり?」。人は、一人で生きていると思いがちで、寂しいと言えずに強がってしまうことがあると思うんです。でも、強がること自体が“弱さ”なので、もっとナチュラルに生きていければ、みんな楽なのに……という思いを込めたフレーズです。

◆ファンへ一言お願いします。

毎週放映を楽しんで観ていました。まだまだ『PandoraHearts』を一緒に盛り上げていきましょう！





『Maze』
savage genius fest.
近江知永
1,155円（税込）
品番：VTCL-35058
発売中



『私をみつけて。』
1,155円（税込）
品番：VTCL-35068
発売中

発売元：フライングドッグ　販売元：ビクターエンタテインメント

Design of PandoraHearts Characters

—キャラクター設定—

キャラクターデザインを担当する小林氏と山岡氏、両名の手によって形造られていった本作のキャラクター達。ときにコミカルに、ときにシリアスに——様々な表情で魅せてくれたキャラクターの設定、そして本作の世界観を支えたプロップや背景美術などの設定画の数々を、制作スタッフ陣によるコメント付きで掲載していく。

オズ=ベザリウス

「最初こそ“オズ”というキャラクターを掴めていませんでした。でも、原作のオズは服装のバリエーションが豊かなキャラなので、参考にできる点が多く、それほど苦労することはなかったです（小林）」



▲表情



◀正装

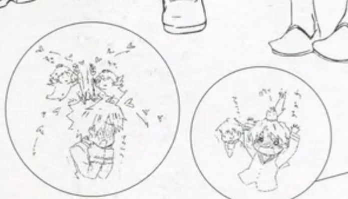
▼パジャマ



▲表情2



▶オズとアリス／ラトウィッジ校・制服

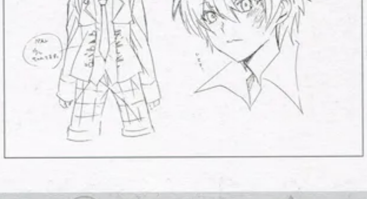




▼SDキャラクター



◀フィリップ父の銃弾でできた傷



▶チェシャに襲われた傷

ギルバート=ナイトレイ

「あまり描く機会がなかった“イケメンキャラ”なので、とても新鮮でした。ただ、あのふわふわで、ウェーブのかかったワカメ頭をアニメで表現することが難しく、最初は本当に辛かった……（笑）（小林）」



◀帽子



▲表情



◀ギルバート・14歳／表情



◀正装



◀ラトウィッジ校・制服



◀儀式の服・髪型



◀▲ギルバート・9歳／表情



▲右手の傷

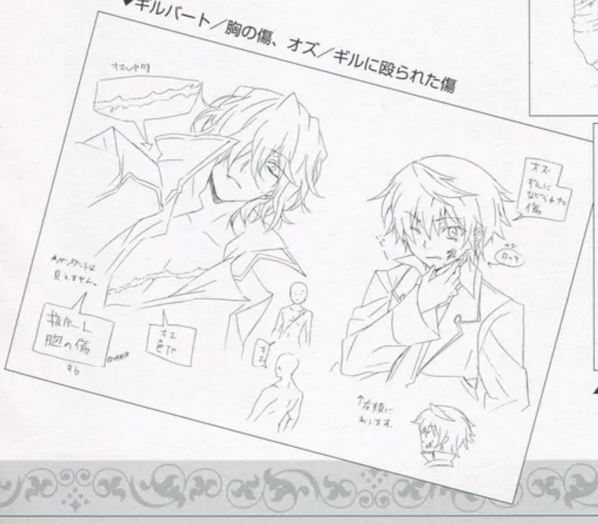


◀右手のスカーフ



◀シャツと右手の包帯

▼ギルバート／胸の傷、オズ／ギルに殴られた傷





▲チェシャ猫に襲われたギルの胸の傷



▶100年前の
ギルバート

アリス

「アリスはほとんど苦労することなく描けたキャラです。原作の彼女は感情を素直に表す活き活きとしたキャラなので、そこから表情を拾ってくることができました。それも描きやすかった理由だと思います（小林）」



◀ツインテール

▼正装

▶パジャマ

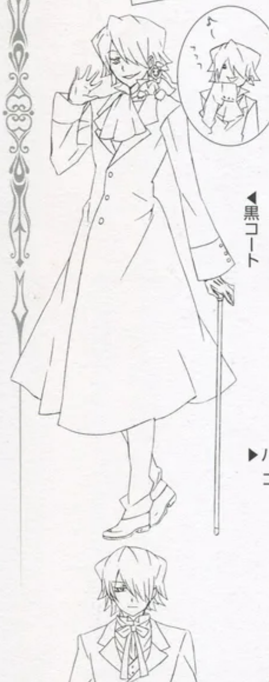
▶100年前のアリス



▲表情

ザークシーズ=ブレイク

「男性キャラの中で一番描きやすかったのがブレイクです。爽やかなキャラが多い中で、少し変な……といいますか、あまり気取ったところがないというのがその理由でしょうか（小林）」



◀黒コート





▲表情



▶パンドラ制服とコート

◀正装

◀過去のブレイク／表情



◀吐血の跡と胸の刻印



◀表情



◀ドレス

シャロン=レインズワース

「女の子は皆わりと描きやすく、シャロンも楽しく描けたキャラの一人です。でもシャロンの場合は、線が多くなりがちなドレスをいつも着ているキャラなので、衣装には苦労させられました（小林）」





◀ドレス



エコー

ヴィンセントの命令によって、ときには荒事もこなすエコー。そのため彼女の服装は、特徴的な長い袖を除けば動きやすさを重視したものに。その袖は、ヴィンセントと同じデザインとなっている。



▲表情



▲ヴィンセント・8歳／表情



◀▲表情





▲▶ヴィンセント・13歳／表情



ヴィンセント=ナイトレイ

「基本的な顔のパーツはギルと変りませんが、髪がワカメじゃないだけ、描きやすかったです。ただ、吊り目がちなギルとちがい、ヴィンセントは目つきが眠そうな感じになるよう常に意識しています（小林）」



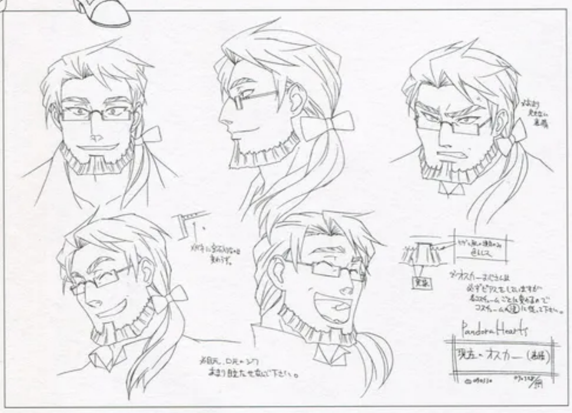
オスカー=ベザリウス

「おっさんすぎず若すぎず、ゴツくなりすぎず華奢になりすぎず、とバランスを取ることが難しいキャラでした。もっと胸元がはだけたジゴロな服装をさせてみたかったのですが機会に恵まれず……（山岡）」



▲表情

◀ラトウィッジ校・制服





エイダ=ベザリウス

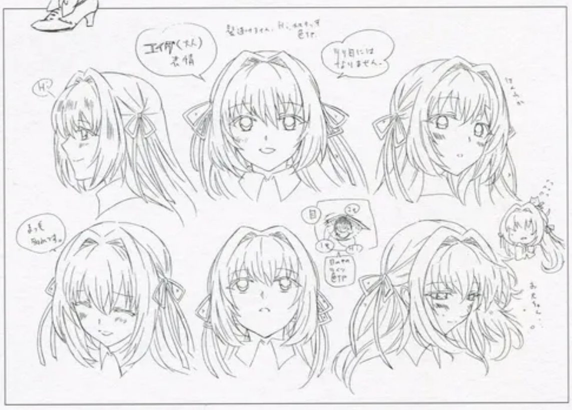
ギルと同じく、彼女も8歳から18歳──10年という決して短くない歳月を経て、成長した姿を設定画から確認できる。そして、エイダの頭上が定位置の猫ダイナのキュートな姿にも注目したい。

◀ラトウィッジ校・制服



◀ダイナ

▼表情



リーオ

エリオットに比べ、華奢な身体つきをしているリーオ。特徴的なぼさぼさ頭と分厚い丸眼鏡によって、彼の瞳や眉は完全ガードされ、彼の素顔を本編中で見ることはできない。



エリオット=ナイトレイ

燕尾服のような制服も、自然と着こなすエリオット。己の信念を曲げない芯の強さや、熱い面を持ち合わせたキャラであり、設定画の表情バリエーションからも、それを伺い知ることができる。





ジャック＝ベザリウス





グレン＝バスカヴィル

アヴィスの意志





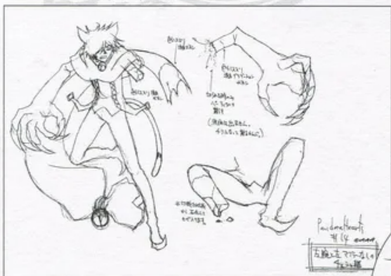
▶表情

▼表情2





チェシャ猫



▲左腕と左マフラーを失ったチャシャ猫

▼▶両目に包帯を巻いたチャシャ猫





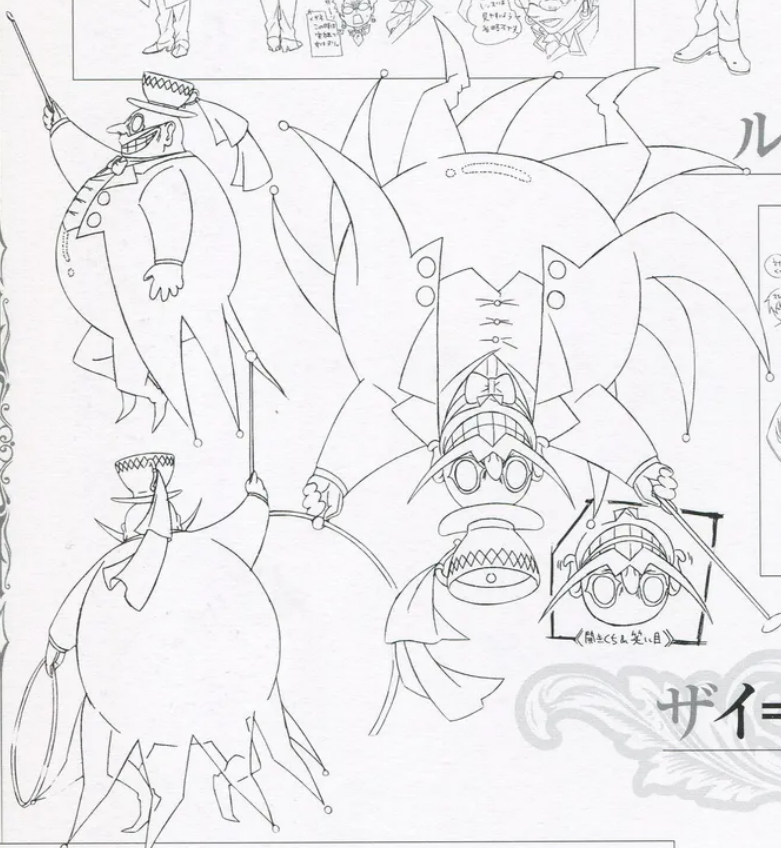
◀表情

レイム=ルネット





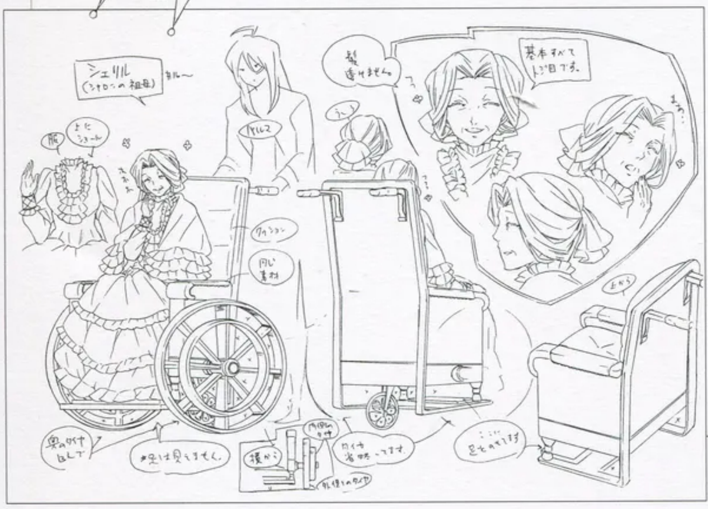
ルーファス=バルマ





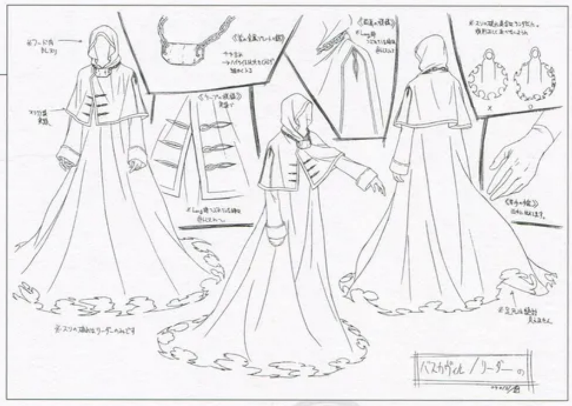
ザイ=ベザリウス





シェリル=レインズワース

バスカヴィル・リーダー



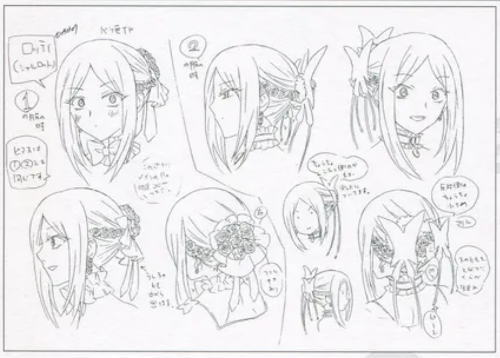


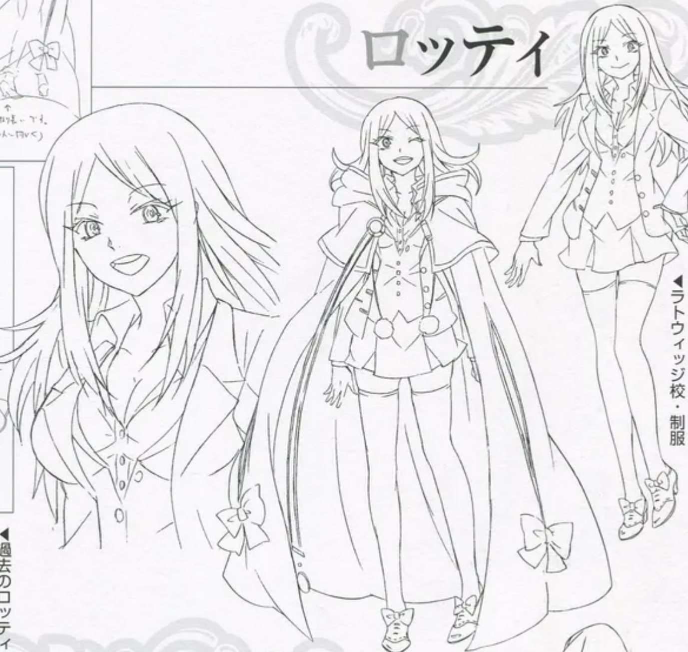
ロッティ

▶表情



◀過去のロッティ／表情





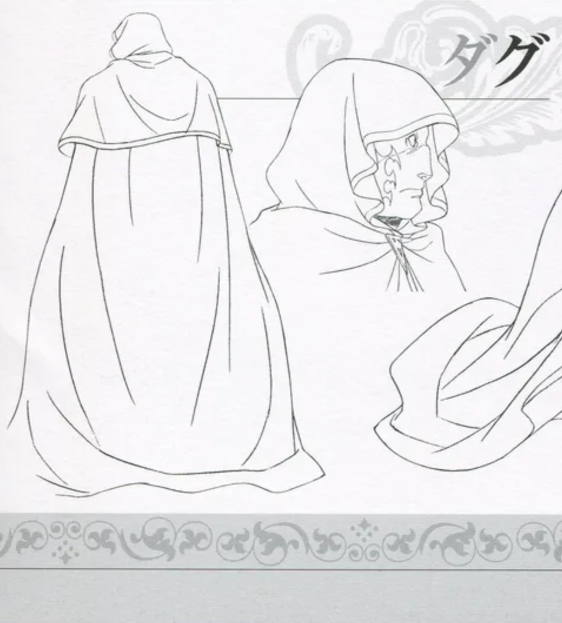
◀ラトウィッジ校・制服

ファング

ダグ

ツヴァイ





Design of Chain

—チェイン設定—

本編に登場するキャラだけではなく、チェインの設定も担当する山岡氏。ここではその設定と共に山岡氏のコメントをご紹介!



トランプ

アヴィスでオズに襲い掛かった人形が変じた姿。ハート、ダイヤ、スペード、クラブと、細部が異なる4種類のトランプが存在する。



リオン

ロッティに従う、ライオン型のチェイン。「怖くなりすぎず、可愛くなりすぎず。威厳を保ちながらも、ロッティにはごろごろと喉を鳴らすような一面を持っています(山岡)」



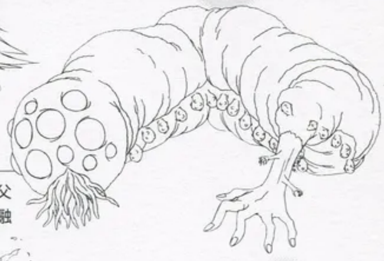
ハリネズミ

オズの持つ懐中時計の音をきっかけに、現実世界に現れたチェイン。身体を丸めての突進攻撃が強力。



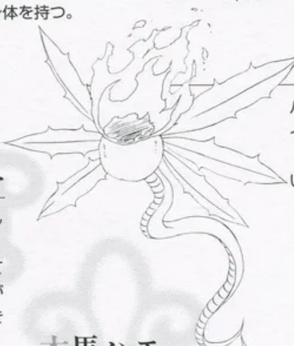
白の騎士(アルブス)

鎧を纏い、双剣を扱うチェイン。過去、ブレイクと契約し、彼をアヴィスへと導いた。「鎧半分、ロボ半分という感じです(山岡)」



蟲(グリム)

オズがレベイユで出会った少年・フィリップの父親が違法契約していたチェイン。蟲と人の手が融合したような奇怪な身体を持つ。



火トンボ

パンドラの警備隊員が契約するチェイン。常に頭部が燃え盛っている。「強いんだか、弱いんだかわからないところが素敵です(山岡)」



マッドベイビー

シャロンの姿を模して現れたチェイン。人の記憶を盗み見て弄ぶ。「ミニマムがキモかわいくて好きです(山岡)」





ミニマムマッドベイビー



木馬ハエ

パンドラの警備隊員が契約する、木馬のような身体を持つチェイン。「火トンボと同じく、微妙なザコ感がいいですね。目つきがチャームポイントです(山岡)」



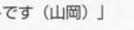
ファーン

アリスの記憶の欠片を探すオズとアリスが相対した、小鹿型のチェイン。「"悪人"風味です。リオンにならって、というわけではないですがスカーフ付きです(山岡)」



チェシャ猫

"アリス"を傷つける者達を排除するために、人の姿を放棄し、晒されたチェシャ猫の姿。「動物全般、特に猫が好きなので、チェシャ猫が寝っころがって「腹なでろー」としているところも描いてみたかったです(山岡)」



クモ型トランプ

花売りの少女が違法契約していたチェイン。アリスを喰らうことで力を得ようとした。トランプと同じく細部が異なる4種類が存在する。

Design of Prop

—劇中小道具設定—

家具や食器、武器などのプロップデザインを担当した影原氏。『PandoraHearts』の世界を彩るデザインの数々をここに披露。

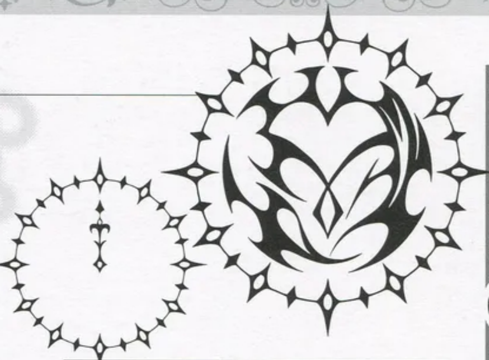
パンドラの紋章のペンダント

パンドラの構成員達が持つ「証」。「監督から"原作よりも少し複雑に"との指示があったので、アニメでは鋳造ではなくパーツを組み合わせて作っているイメージで描いています（影原）」



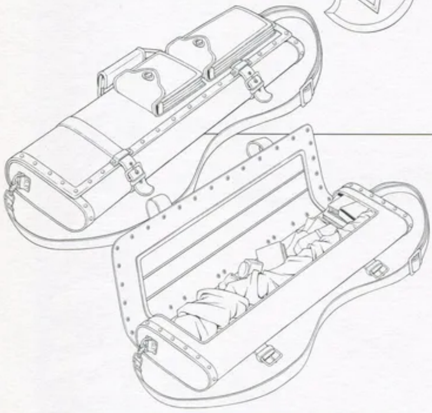
刻印

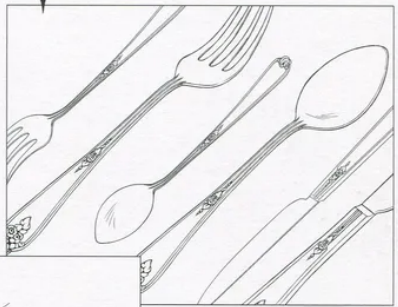
違法契約者の胸に刻まれる刻印。針が再び頂点を指した時、その契約者はアヴィスへと堕とされる。「針が一周回った状態が登場することはあまりありませんが、ＯＰの最後にチラッとは使用されています（影原）」



エリオットの鞄

エリオットが持ち歩いている鞄。剣も収納されている。「キューバックを参考に、剣を入れられるサイズであることを念頭においてデザインしています（影原）」





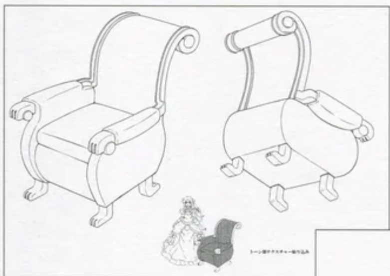
ティーセット

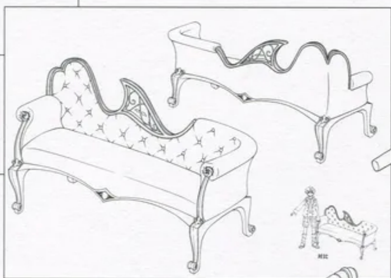
シャロンが礼拝堂に持ち込んだティーセット。「ヴィクトリア朝時代辺りのアンティーク食器を参考にしています。でも、スプーンはスプーンですよね（笑）（影原）」



シャロンの椅子(上)パンドラ本部一室のソファー(右)

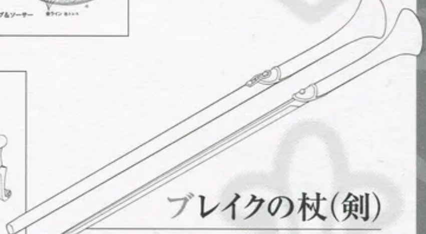
「原作ではシーンごとに様々な種類の家具が描かれていたのですが、無理に合わせたり、増やすことはせず、アニメ用として再設定化する程度に納めています（影原）」





ブレイクの杖(剣)

ブレイクが持つ杖。中には細身の剣が仕込まれており、杖の中ほどについた留め具をはずすことで、剣を取り出すことができる。

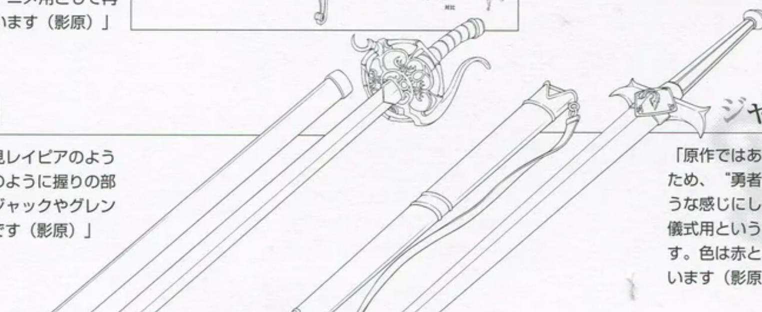


エリオットの剣

「剣の鍔部を見ると、一見レイピアのようですが、刀身はサーベルのように握りの部分が少し反っています。ジャックやグレンの剣に比べると、小振りです（影原）」

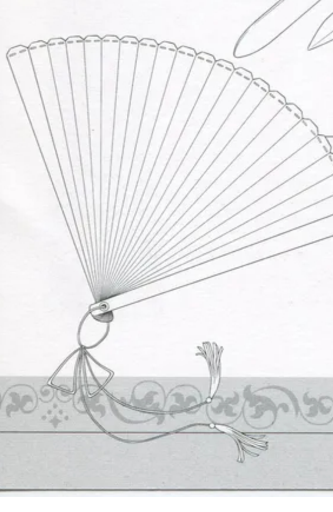
ジャックの剣

「原作ではあまり登場しないため、"勇者の剣"というような感じにしてしまいました。儀式用という面が大きい剣です。色は赤と金を基調としています（影原）」



バルマの鉄扇

「紐の周辺は中華っぽいテイストを取り入れています。扇部分はステンレスのような鏡面を持ち、親骨は銃のような質感となっています。線画ではわかりにくいですが……（影原）」



グレンの剣

「ジャックの剣とは違い、無骨で質実剛健、斬るというよりは"ぶった斬る"といった、実践向けの武器ですね。こちらは銀と黒を基調とした色になっています（影原）」



Design of Background —背景美術設定—

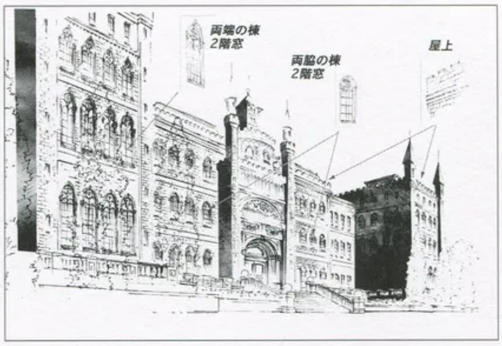
美術監督のわたなべ氏によって、アニメ用に再構築された「世界」。オズ達が歩いたその世界の一端を描いた設定画を掲載する。

館

オズの「成人の儀」が行われた館。「館や空中庭園は本作の世界観を少しずつまとめながら、試行錯誤して描いていったので、その後の作業に大きく影響を与えることになった設定です（わたなべ）」

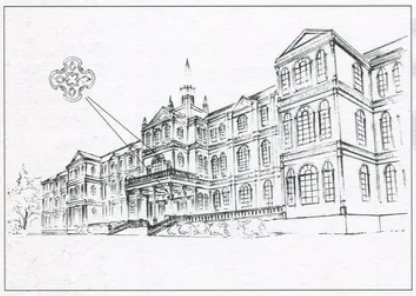


▲空中庭園



▶外観

パンドラ本部



パンドラの構成員達が集う館。「シャロン誘拐時のブレイクの部屋は、原作よりも黒バラの散らかし方を抑えています。決して手を抜いた訳ではありませんよ。ヴィンセントの部屋は、この部屋が映るシーンが基本的に夜であり、明かりがないため、設定画を見て初めて部屋の形状が分かると思います。本編では1カットしか登場しなくても……いいんです（わたなべ）」

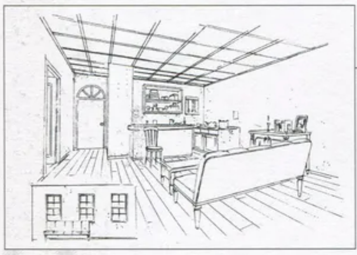
▶ブレイクの部屋





▲ヴィンセントの部屋

ギルバートのアパート

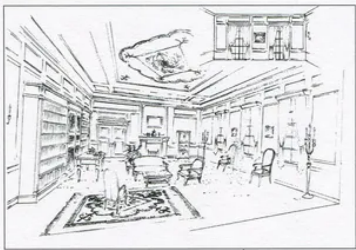


◀アパート内の一室

ナイトレイ家を出た後のギルの住み家。首都レベイユの一角にあり、アパートの3階に位置している。「生活感を出すために、背景に調理器具を描いてもらっています。また、この時代にあったオーブンに設定を途中で変更したりと、スタッフの皆さんには面倒をおかけました（わたなべ）」

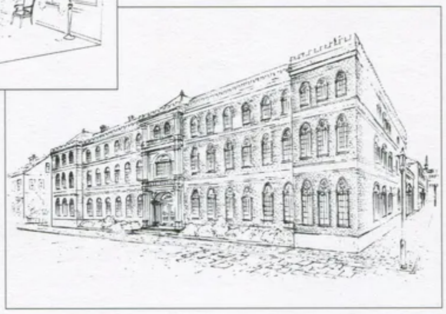
ベザリウス邸

四大公爵家・ベザリウス家の邸宅。オズの生家でもある。「窓のデザインを館と同じにすることで、ふたつの関連付けをしています。回想によく登場するオズの部屋は、その時々で暖炉の火加減や窓の外の景色を変化させています（わたなべ）」



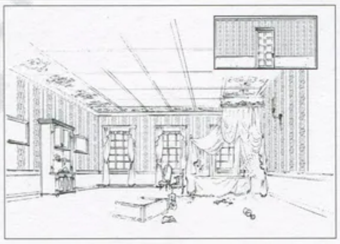
▲オズの部屋

▶外観



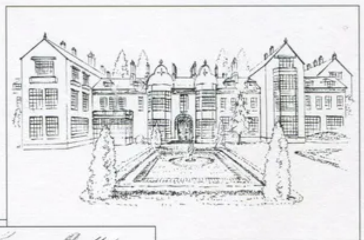
ナイトレイ家

四大公爵家・ナイトレイ家の邸宅。「原作と、イギリスに実在するとある宮殿を参考にしています。ギルやヴィンセント、エリオットと家人が多かったこともあり、原作よりも大きくするつもりでしたが、予定以上に立派に（わたなべ）」

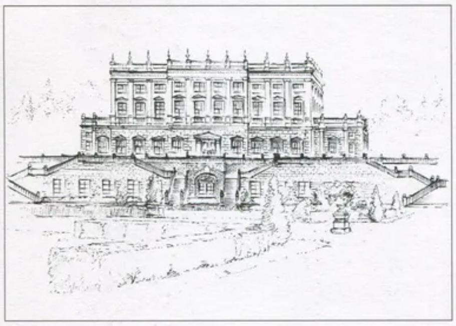


◀ヴィンセントの部屋

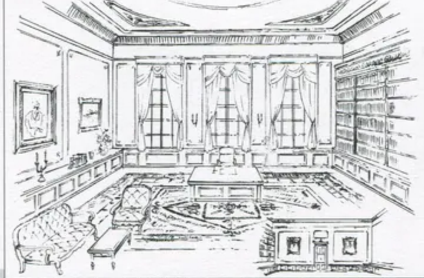
▶全景



レインズワース家屋敷

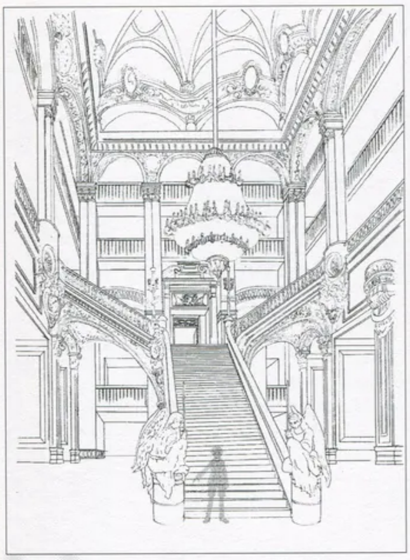


◀全景



▶執務室

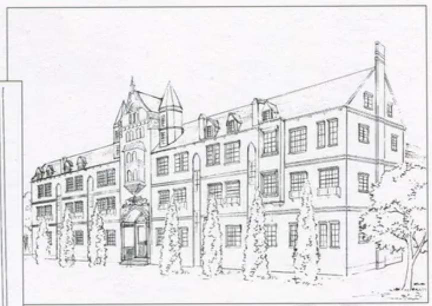
四大公爵家の一角、レインズワース家の邸宅。「原作の屋敷が大変特徴的だったので、ほぼそのまま描いています。設定では玄関ドアに向かって絨毯がありましたが、アニメの設定上ではなしに（わたなべ）」



◀玄関ホール＆階段



▼男子寮



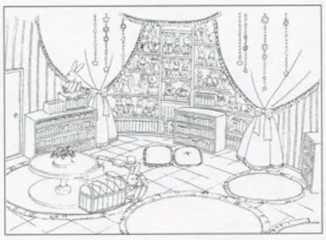
▶全景

ラトウィッジ校

貴族の子女達が通う名門校。「話の内容から、音楽室や講堂は暗さを少し抑えて、光を印象的に使うシーンを作りました。バスカヴィルの民のみが知る地下通路のシーンでは一転して、暗い画面が多くなりますね（わたなべ）」

歌劇場 オペラハウス

バルマ公爵との面会にオズ達が訪れた場所。「原作に忠実に描きましたが、装飾が難しかったですね。また画面が明るくなりすぎず、暗くなりすぎず――という点にも意識して描いています（わたなべ）」



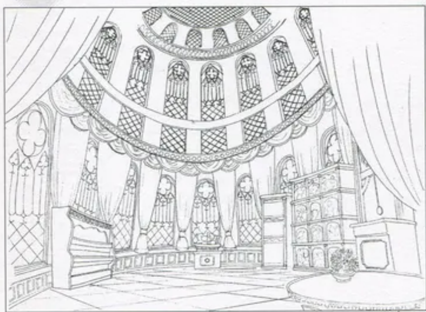
▶チェシャ猫の部屋

▶一室



チェシャ猫の空間

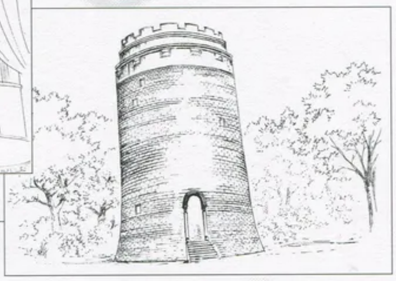
アリスとブレイクがチェシャ猫によって連れ込まれた、現実でもアヴィスでもない空間。「現実世界と対比させるため、一層明るく仕上げました。パースが狂った空間なので、わざとパースを崩して描こうとしましたが、なかなか手がいうことを聞いてくれない！（わたなべ）」



▲アリスの部屋

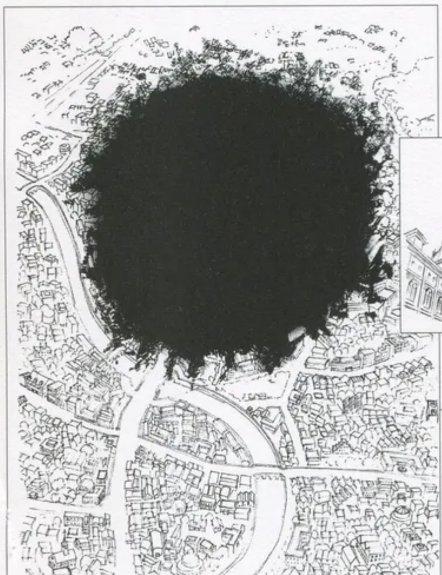
幽閉棟

バスカヴィル城の敷地内に建てられた幽閉塔。100年前、アリスが囚われていた。「アリスの部屋は幽閉塔の最上階にあります。アリスの部屋にある特徴的な窓が幽閉塔の外観からは確認できないのは、不思議でもなんでもありません。仕様です（わたなべ）」



▶外観

▼100年前のサブリエ／破壊後



廃都サブリエ

グレンによって引き起こされた未曾有の大災厄"サブリエの悲劇"――その舞台となった、かつての首都。アヴィスへと堕とされた街の跡が、100年を経た現在にも、変わらず残されている。



▲サブリエ城



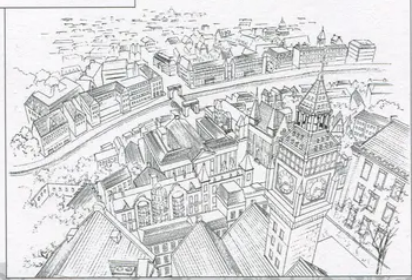
◀市街

ノーザンブリアの街／首都レベイユ

本作に登場する街の一端。ノーザンブリアの街は、違法契約者による殺人事件の犯人を捕らえるべくオズ達が立ち寄った場所。首都レベイユには、物語終盤でチェインの大群衆が襲来し、激しい戦いの舞台ともなった。



▲ノーザンブリアの街／大通り

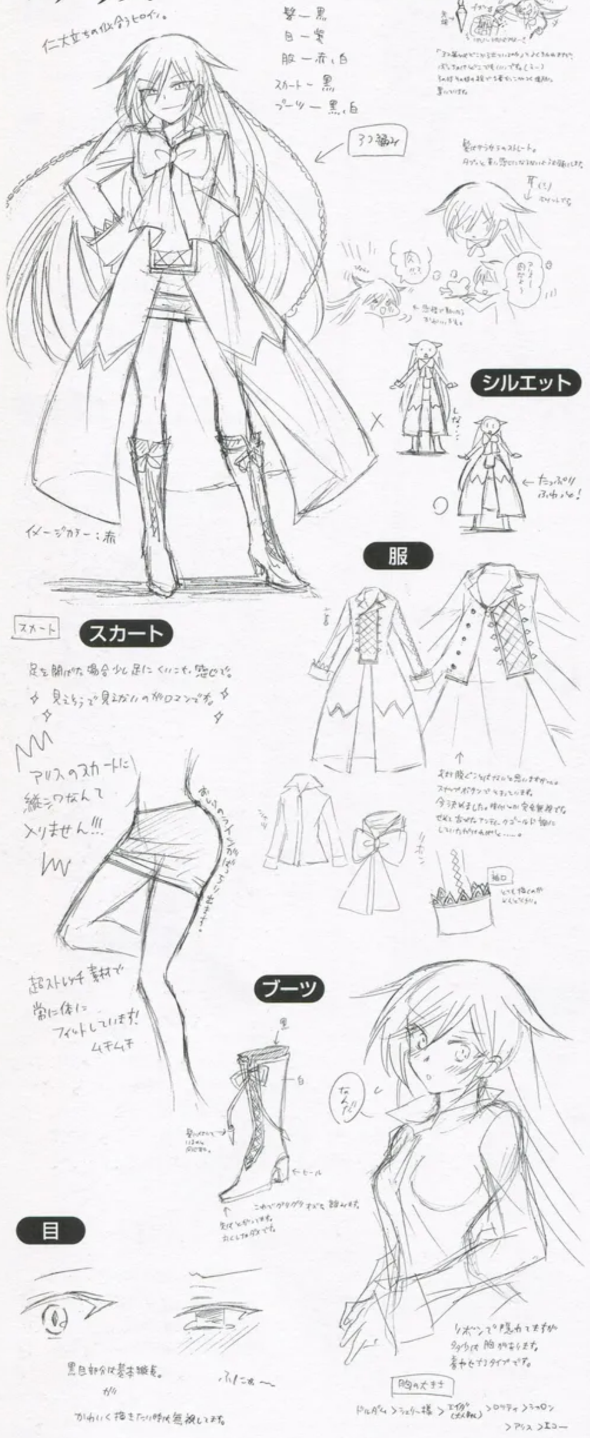


▶首都レベイユ／鐘塔

原作者　望月淳
アニメーション用設定メモ
特別公開!

ここでは『PandoraHeatrs』原作者、望月淳がアニメスタッフに贈った設定画を特別に初公開！　キャラの個性やコスチュームなど、細部に至る描き込みもファン必見のお宝デス！

✦アリス



望月メモより

> アリスは胸よりも脚です!!!　細すぎてはいけません！
> こう……弾力がありそうで健康的で
> 膝枕してほしい太腿！　仁王立ちの似合う美脚!!
> 踏まれてみたいつま先!!!
> ……というイメージでお願いします。

✦オズ=ベザリウス



✦ヴィンセント＝ナイトレイ



✦ギル＆ヴィンスの目　比較

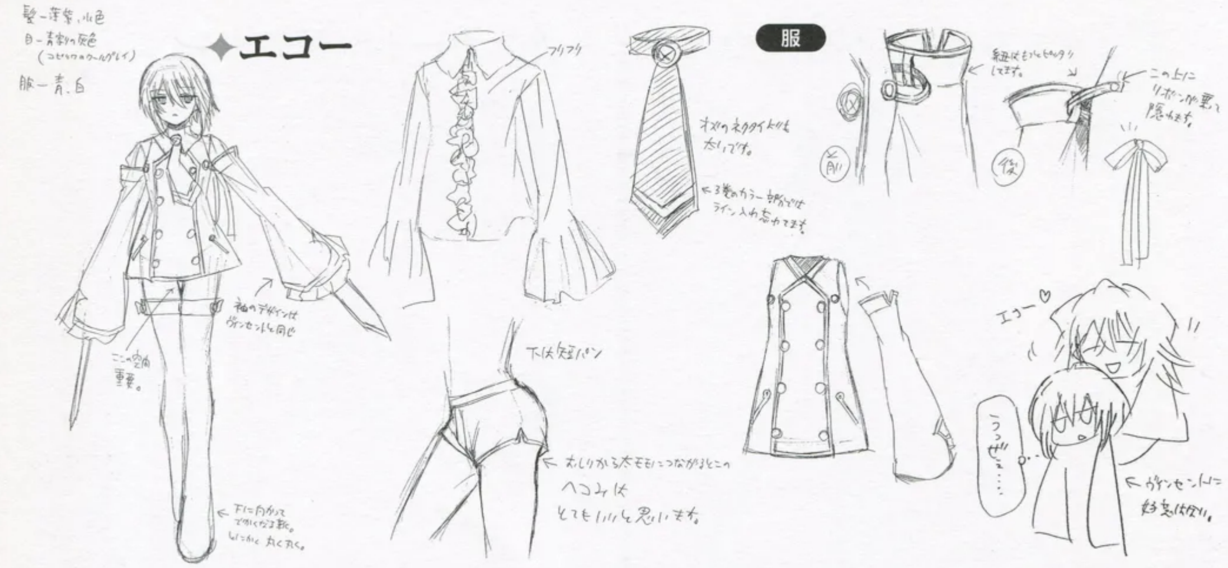


✦ギルバート＝ナイトレイ

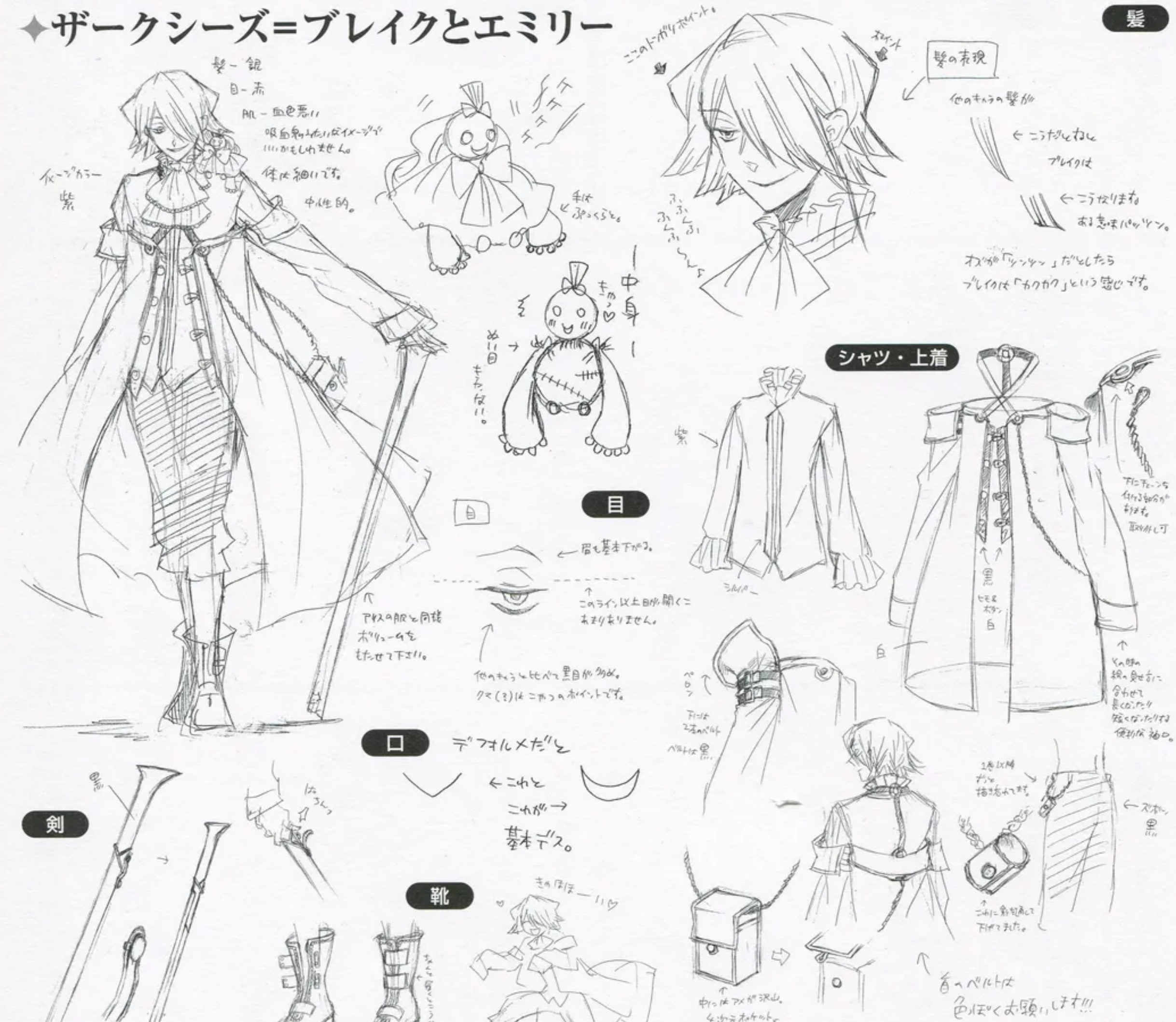


Mochizuki's Animation Memo

✦エコー



✦ザークシーズ=ブレイクとエミリー



✦エイダ＝ベザリウス



✦オスカー＝ベザリウス



✦エリオット＝ナイトレイ（6才）



✦リーオ（5才）



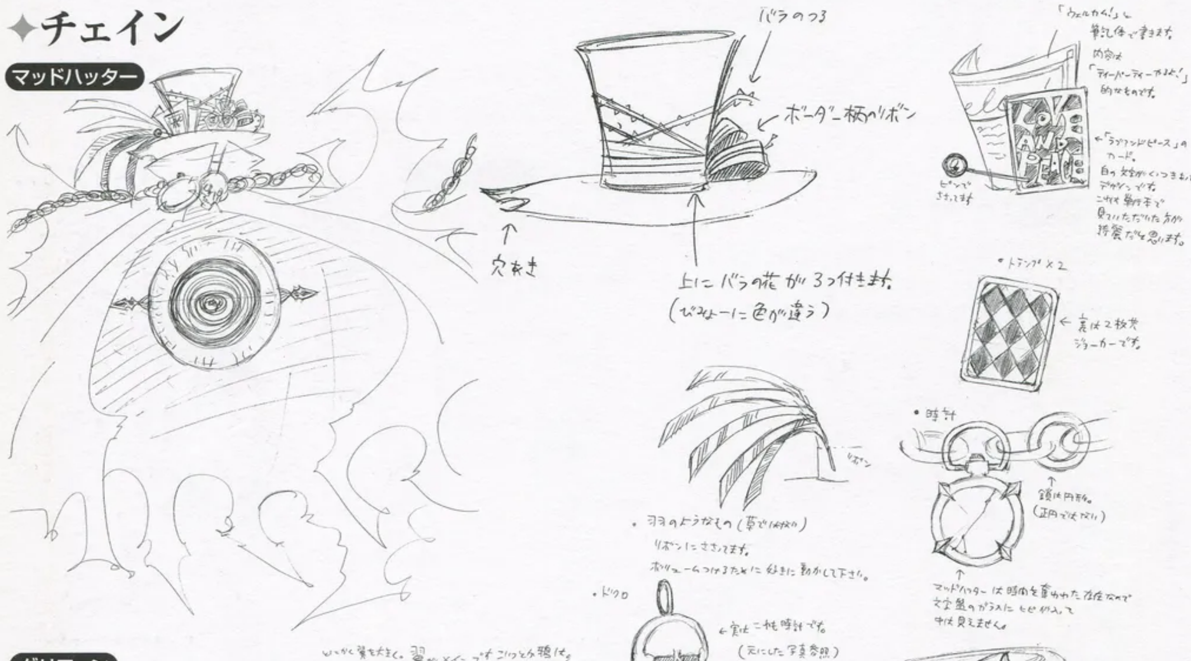
✦パンドラ制服



靴

✦チェイン

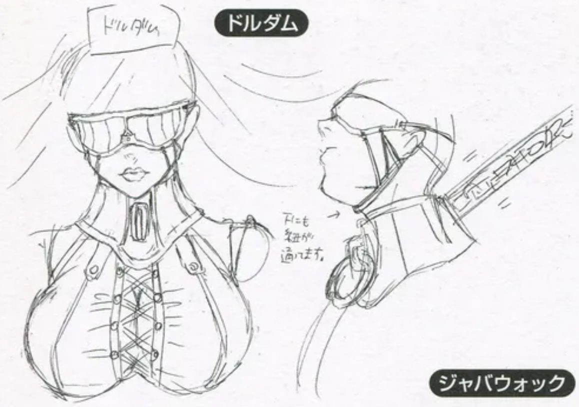
マッドハッター



グリフォン



ドルダム





ジャバウォック



[オマケ]開眼ヤマネ

ヤマネ萌え!? を公言するシリーズ構成・関島さんに向け、描かれたサービスカット。ヤマネの眼が開く時———、Pandora世界はサブリエ以上の悲劇を体験することに!??



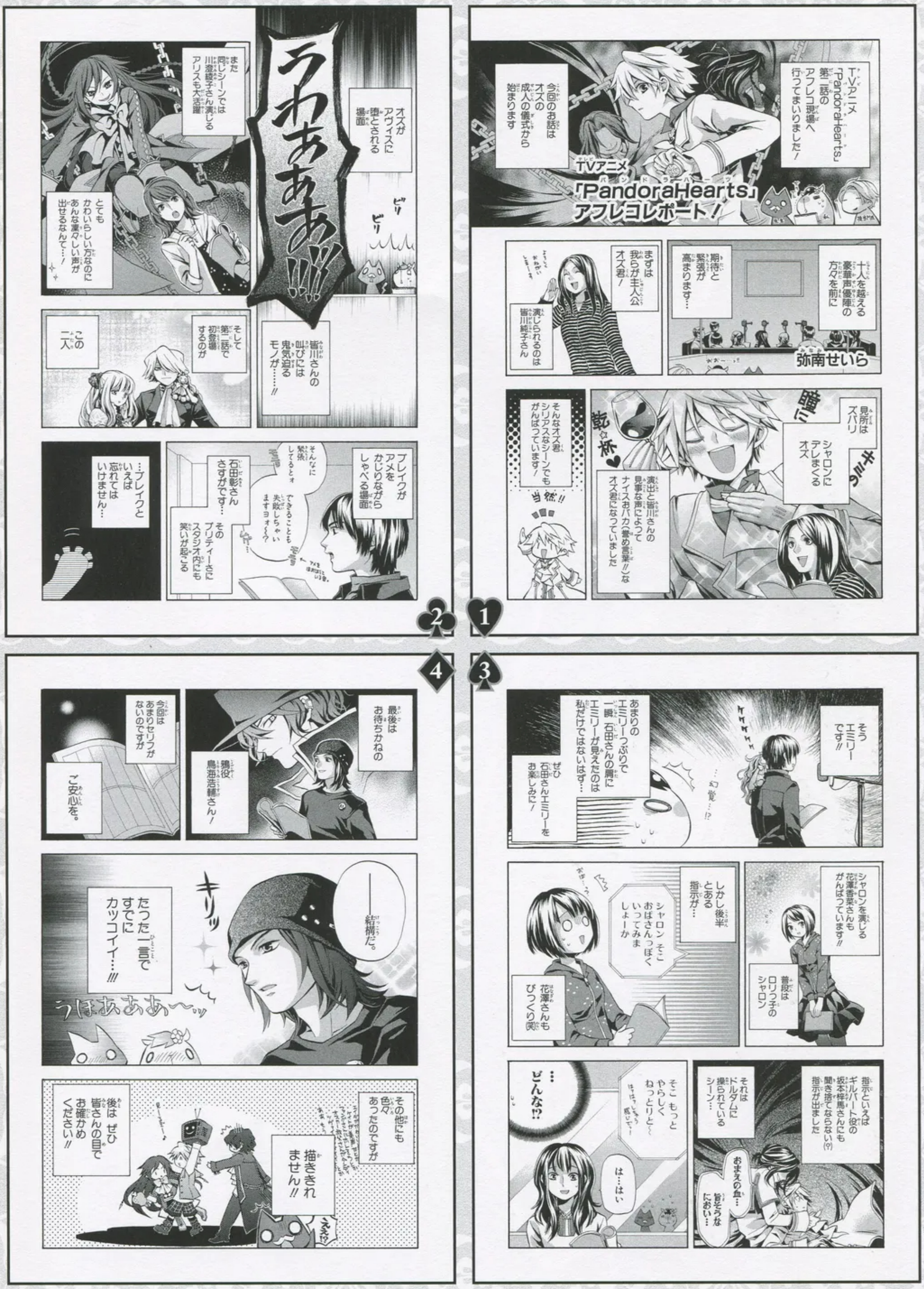
ハリネズミ



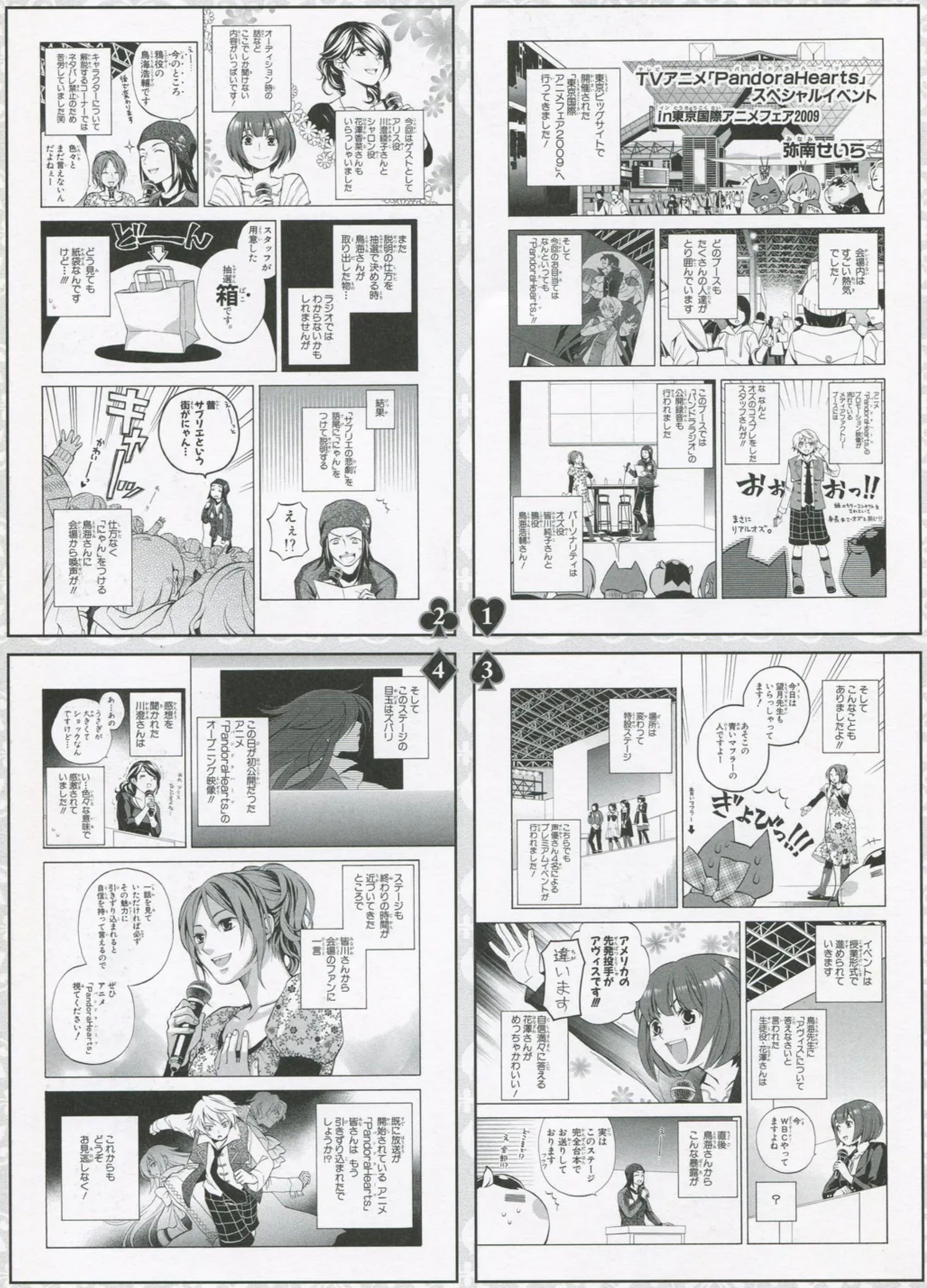
FORTUNE BOX

パンドラの箱から最後に飛び出したのは、希望。
ひとカケラの幸福をあなたに！





初出:月刊Gファンタジー2009年4月号　弥南せいら先生によるアニメ第二話、アフレコレポートコミック



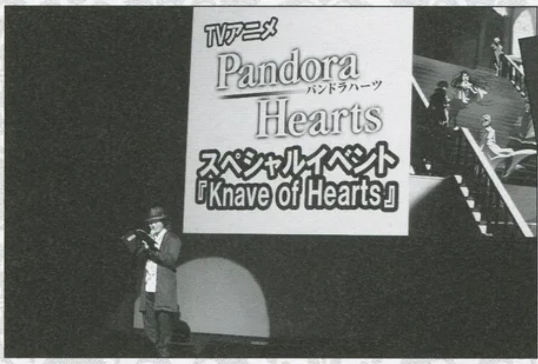
初出：月刊Gファンタジー2009年5月号　弥南せいら先生による東京国際アニメフェア2009レポートコミック

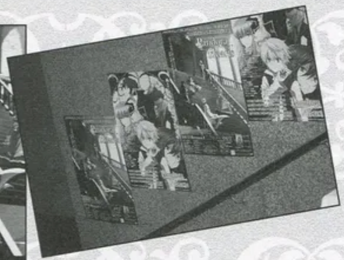


初出：月刊Gファンタジー2009年7月号　浅岡しゅく先生によるスペシャルイベント「Knave of Hearts」レポートコミック

演目

◆プレイバック　トークコーナー
◇生アフレコ　パンドラハーチュ!!!
「オズ君のなんてことない一日」
◆身近にある「謎」を写真で発表！
◇描いてみよう！　僕(私)が考えたチェイン(罰ゲームつき！)
◆スペシャルライブコーナー
OPテーマ『Parallel Hearts』
FictionJunction
EDテーマ『Maze』
savage genius feat.近江知永
◇お楽しみ抽選会
◆エンドトークコーナー







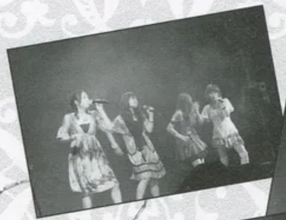
Special Event

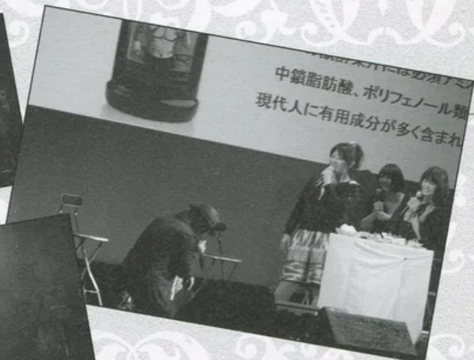
「Knave of Hearts」Memorial Album

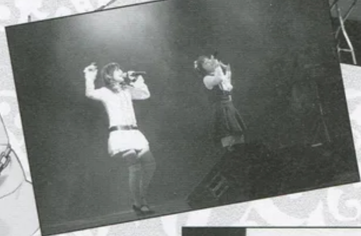
前ページで紹介しているレポートマンガにもある『PandoraHearts』としては初となる、単独イベント。それが2009年5月9日に東京九段会館で行われたスペシャルイベント「Knave of Hearts」。トークあり、アフレコあり、ミニゲームあり、ライブありと、演者の皆様とファンの皆様の想いがひとつとなり、大盛況で幕を閉じました。

今回は特別に、次ページより一番の盛り上がりを見せた“生アフレコ”を紙上再現。原作者・望月淳先生がこのイベントのためだけに描きおろした脚本と24枚にも及ぶカットを完全収録です。皆様、お楽しみください！





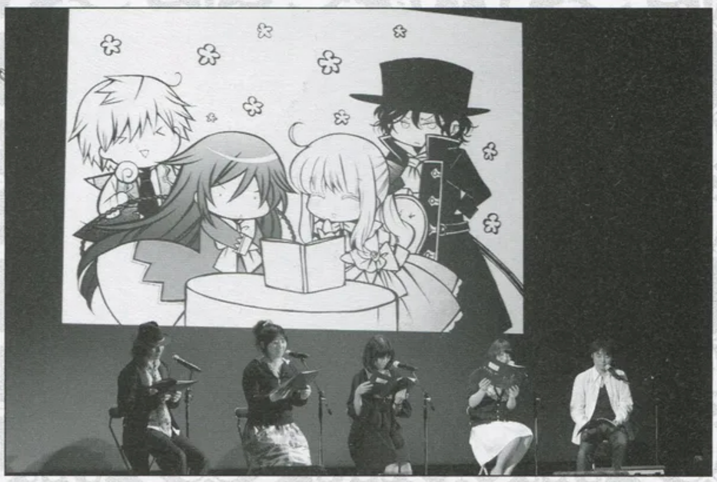




演者

皆川純子
川澄綾子
鳥海浩輔
花澤香菜
石田　彰

FictionJunction
savage genius feat. 近江知永
...and『PandoraHearts』を愛するファンの皆様



「Knave of Hearts」限定ミニ劇場パンドラハーチュ!!!
～オズ君のなんてことない一日～

脚本・イラスト：望月淳



シャロン「跪いて乞いなさい、この駄犬共!!!」

オズ「うわっ、びっくりした。
ど…どうしたのシャロンちゃん？」

シャロン「あら、オズ様。いやですわ恥ずかしい。
ふふふ…今のはですね。
“シルヴィお嬢様と駄犬達”の中で、主人公シルヴィが彼女の愛を求める
50人もの駄犬…殿方を前に言い放った素晴らしき名言ですのよ。」

オズ「ああ…それって確か、レインズワース家の人たちが大好きなロマンス小説だっけ？」

ギル「悪女育成文書だ。」

シャロン「失礼ですねギルバートさん。
レインズワースだけではありませんわ。
ほら、私が今読んでいるこの雑誌でも、
特集が組まれる程の人気作品ですのよ。
ちなみに先ほどのセリフは、シルヴィ名言ランキング第4位のものですわ！」

ギル「あれが4位なのか。」

アリス「なんだ？　この本は。たくさん絵が載っていて…
オズがいつも読んでいるものとは大分違うな。」

シャロン「これはファッションプレートですわ。」

アリス「ファ……？」

オズ「いわゆるファッション雑誌だね。」

シャロン「ええ。最近の流行やちょっとした噂話、
先ほどの文学特集なども載っていて、
一日中見ていても飽きることがありません。」



オズ「あ！　この女の子が着てる服かわいいなぁ！
アリスに似合いそう。」

シャロン「あら、本当ですわね！　いつもの赤い服も素敵ですが、たまにはこんなピンクのドレスも着てみませんか？　アリスさん。」

アリス「わ…私は別にっ。」

オズ「ああ！　こっちも可愛いよシャロンちゃん！
この白いスカートにこのブーツを合わせてさ…。」

シャロン「まあ、素敵！　…ちょっと失礼しますわねアリスさん。(ごそごそ)」

アリス「みゃっ!?　こ…こら、何をするシャロン……。」

シャロン「このように髪を結い上げれば、
こちらの黒いドレスでもいけるのではないでしょうか！」

オズ「ああ似合う似合う！　うわ～、どのアリスを想像しても可愛いなぁ～。」

アリス「おおおおまえは！　さっきから可愛い可愛いうるさいぞっ！」

シャロン「はあああああ！　照れてるアリスさん可愛いですわ！」

ギル「おい、街での噂話も載っていると言ったな。
なにか違法契約者に繋がるような情報はなかったか？」

(シ――ン)

オズ「……ギルさぁ……。少しは空気読めよ、
お前…。」

ギル「は？　…え？」

シャロン「全く…。(パラパラめくって)それらしいものはありませんでしたけれど…。
ああ、それよりも興味深かったのは、街での流行りごとですね。」

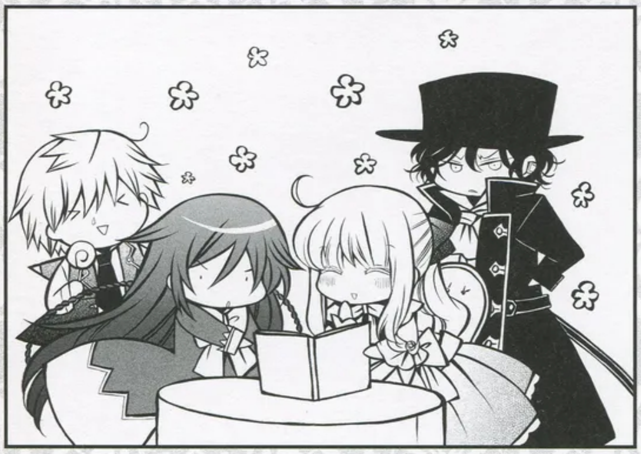
ギル「流行りごと？」

シャロン「ええ、なんでも今巷では……。
殿方を女装させることが流行っているとか。」

オズ&ギル「………は？」

シャロン「どこかの人気俳優が、ファンサービスとして女装をしたことがきっかけらしいですよ。
なんでも普段とは違う殿方の一面が見れてどきどき♥　キャ～☆　な女性が急増しているとか。」
オズ「いわゆるギャップ萌えってやつだね。」
ギル「おまえはどこでそんな言葉を覚えてくるんだ。」





シャロン「その流れにのって、今度レベイユで開かれる祭りの中では、女装コンテストも行われるそうです。優勝者には…ええと。
“女装マスター”の称号と記念トロフィー、あと祭りの間、露店の食べ物を好きに食べ歩けるパスが発行されるそうです。」
アリス「なんだと！ それは欲しい！
欲しいぞオズ！」
オズ「確かにパスは魅力的だねー。アリスが手に入れたら、レベイユ中のお肉がすぐになくなっちゃいそうだ。」
アリス「よおおおし行って来い下僕共！
私のためにそのコンテストとやらで優勝してこい！」
オズ「任せてよ！　じゃ、頑張って、ギル！」
ギル「なんでオレが!!」
オズ「だぁってぇ、ギルの方がぁ、女装経験豊富だしぃ。」

ギル「**以前一回やっただけだ!!!**」



※原作ドラマCDにてギルの女装姿が披露されました！
（テレビアニメとはキャストが異なります）
ドラマCD『PandoraHearts』
3,150円(税込)
JANコード：4580143032794
発売・販売：フロンティアワークス
販売協力：ジェネオン・ユニバーサル・エンタテインメント株式会社

「Knave of Hearts」
限定ミニ劇場パンドラハーチュ!!!
～オズ君のなんてことない一日～
脚本・イラスト：望月淳



オズ　「じゃあなに、ギルはオレに女装して欲しいわけ。
言っとくけどオレ、めちゃくちゃ似合っちゃうよ？
むしろ、今まで騙してたなーとか言われちゃうくらい完璧な女の子になっちゃうよ？
そうするともれなくアレだよ？
オズ＝ベザリ子ちゃんのファンが男女問わず急増して『我こそ従者に』ってひとが連日連夜この屋敷に押しかけるよ？
それでもいいわけ！」
ギル　「よくない！　おまえの従者はオレ一人で十分だ!!」

(言った後でハッとするギル)

ギル　「………あ。」
オズ　「だよねー。おまえはオレの自慢の、じっまんの従者だもんねー。
だからぁ。オレのお願い…聞いてくれるよね…？
(最後すごいキラキラ)」
ギル　「うっ…………！」

(ガラガラガラとシャロンが沢山のドレスを引っ張ってくる)

シャロン「さあオズ様！　ドレスの準備はよろしいですわよ！」
オズ　「さっすがシャロンちゃん、仕事が早いね！」
ギル　「い…嫌だあああああああ！」

オズ　「ほらギル……恥ずかしがってないで早くその服脱いで。」
ギル　「や、やめろ！　自分で出来る……！」
シャロン「ドレスの構造はわかりますか？
コルセットもちゃんと付けていただいて……。」
ギル　「だわー！　覗くなシャロン」
オズ　「大丈夫だよシャロンちゃん。オレがちゃんと面倒見るから！」
アリス　「おい、腹がへったぞ。」



(…………………)

オズ　「よし、ウィッグと化粧もばっちしだ。
ギル子ちゃん、再誕おめでとー！」

(アリスには是非とも後ろで肉の歌を歌っていてほしいです)



ギル　「めでたくない！」
シャロン「とてもよくお似合いですわ、ギルバートさん！
……まあ、髪が長くなるとますます弟さんに似て、少しいらっときますけれど。」
オズ　「でもさあ……。確かに似合ってるんだけどさぁ……。」
シャロン「はい……、なんと言いますか……。」
オズ　「うん……。でかいよね。」
シャロン「でかすぎますね。」

ギル　「だから最初から無理だと言ってるだろう！」
オズ　「パーツごとに見る分にはいいんだけどなー。
ギルって割と体格いいし……うーん。」

ギルバート＝ナイトレイ
身長＝182cm

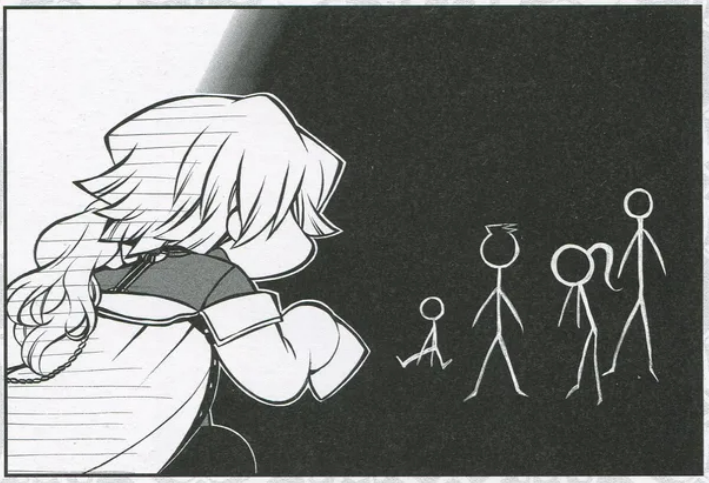


シャロン「やはり女装させるとなると、
ある程度華奢な方のほうが向いているのかもしれ
ませんね。
手袋を付けても手の大きさ自体は変えられません
もの。」
オズ　「ああ、いるよね。
男でもすっごい指先綺麗な人！」
シャロン「オズ様では違和感がなさ過ぎて逆に面白みがあり
ませんし……。
どこかに適した方は
いないものでしょうか……。」

ブレイク「いや〜、ただ今帰りましたお嬢様ー。
もう聞いてくださいよ、パンドラに出向いた途端
にレイムさんに捕まっちゃって、今までずっと
資料整理を手伝わされまして……。
ねえ、エミリー？」
エミリー「あいつの眼鏡こんど叩き割る！」

一同　「…………………………………」
ブレイク「な……、なんですか皆さん。
そんな目でこっちを見て。」
シャロン「ブレイク…………。(にこ)
今すぐ着ている服をお脱ぎなさい！」
ブレイク「は!?」
ギル　「そうだブレイク、今すぐ脱げ!!
おまえ以上の適役はいないぞ！
あはははははは！」
オズ　「あ、ギルが楽しんでる。」
アリス　「ピエロの女装!?　それは見たいぞー！」
ブレイク「な………なんなんですか！」

(間)



「Knave of Hearts」
限定ミニ劇場パンドラハーチュ!!!

～オズ君のなんてことない一日～

脚本・イラスト：望月淳

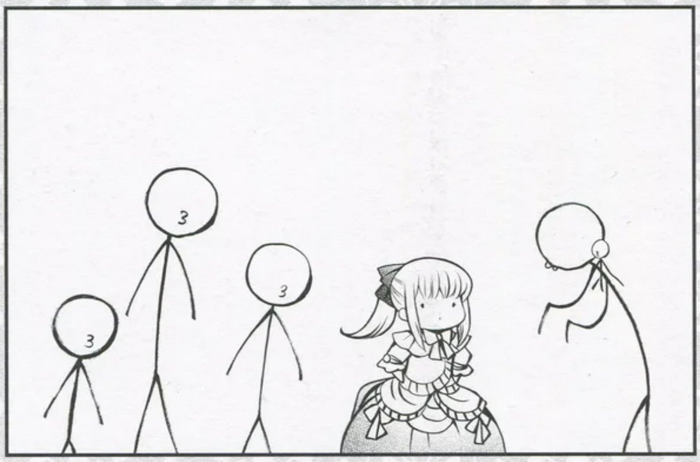


ブレイク「なるほど……、今巷ではそんな流行りが……。馬鹿らしい(ぼそ)。」
ギル「(なんか嬉しそうなギル)とりあえず諦めろブレイク。
お前の女装はきっと綺麗だぞー。
な、な？」
ブレイク「お断りします。レイムさんのせいで今日はもうクタクタなんですよー。」
エミリー「今すぐ寝ないと死ぬぞー。」
ギル「おまえな………少しは空気を読め！」
ブレイク「君には言われたくありません。」
シャロン「別にいいではありませんかブレイク。
ここは年長者の、
更には一番女装経験豊富な貴方がお手本を見せるべきです！」
オズ「え」
ギル「は」

一同「…………………………………」

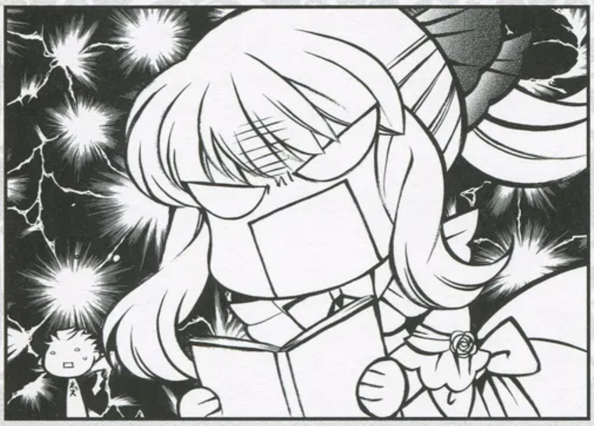
ブレイク「お…お嬢様。」
オズ「あれ、ブレイクって女装したことあるの？」
シャロン「ええ！
昔は毎日のように私のお母様にいじられていましたから！
今と違って髪も長かったですし、
どこか影のある瞳が黒のドレスによく映えて…………」
ブレイク「シャロン！」

(シャロンを捕まえて端に逃げるブレイク)



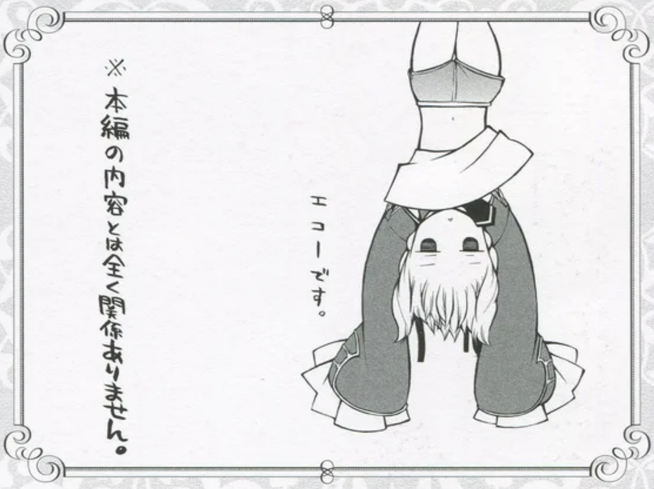


ブレイク「(ひそひそ)シャロ………いいえお嬢様。
そういう話をここでするのはやめてくれませんか。」
シャロン「(ひそひそ)なんの問題があるのです。
ドレス姿の貴方はとても綺麗だったと皆さんお話ししているだけでしょう。」
オズ「ねえねえシャロンちゃーん。
ブレイクって他にはどんないじられかたしてたの～？」
シャロン「ええ！
あれはお母様と彼が、一緒に散歩に出かけていた時のこと……。」
ブレイク「お嬢様！(照)」



シャロン「ふふ……ブレイク…………。
　　　　　『ご主人様におねだりしたければ、汚らしいお腹を
　　　　　さらけ出し、
　　　　　地べたで服従することね』！」
オズ　　「あ、名言ランキング第3位だ。」
ブレイク「…………はー。わかりました、わかりましたよ
　　　　　…………。」

（間）



オズ　　「う……うわ〜〜〜。」
アリス　「ほおおおおー……。」
ギル　　「ぶ…ぶれいく………。」
シャロン「まあ……まあまあまあまあ！
　　　　　綺麗ですわ、美しいですわブレイク！」

ブレイク「アリガトウゴザイマス。」
オズ　　「やっぱ線が細いからラインが綺麗に出るねー。
　　　　　わ、どうしよう。オレ、ちょっと
　　　　　ドキドキしてきちゃった。」
ブレイク「ははは一、オズ君うざいですよー。」
シャロン「でも……まだなにかが足りない気が
　　　　　しますわ。」
ブレイク＆オズ「え」
シャロン「そう、インパクトです！
　　　　　コンテストには当然美しく着飾った方達が
　　　　　大勢現れます。
　　　　　その中で誰よりも注目してもらうためには
　　　　　インパクトが必要なのです！」
ブレイク「ちょっとお嬢様……
　　　　　私はコンテストに出る
　　　　　とは一言も……。」
オズ　　「インパクトかぁ……
　　　　　（小物入れを漁りながら）
　　　　　あ、シャロンちゃん、
　　　　　すごいの発見！」
ギル　　「そ…………それは！」
シャロン「あらあら、
　　　　　懐かしいですわ！」



「Knave of Hearts」
限定ミニ劇場パンドラハーチュ!!!
〜オズ君のなんてことない一日〜
脚本・イラスト：望月淳

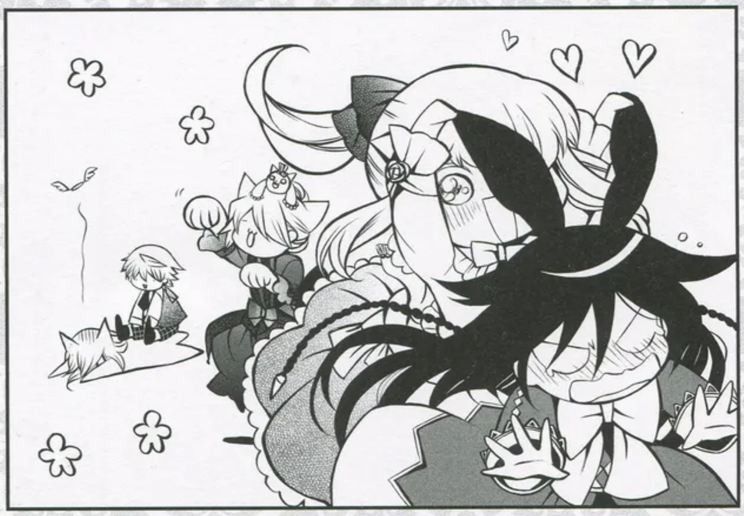


アリス　「……猫耳？」
ブレイク「お嬢様！」
シャロン「(ごそごそ)さあブレイク、動かないでくださいっ。」
ブレイク「これはまた懐かしいものを…………。
はあ…もう好きにしてください。」
シャロン「いい心がけですわね。
ってあら……、そもそも猫耳のような髪型をしているから、
付けたところであまりぱっとしませんわね…。」
ブレイク「悪かったですね。」
オズ　「うーん、じゃあオレはギルに猫耳☆」
ギル　「ぎゃあああああ！な、なにをするんだ
オズ、やめろ、虫唾が走る！」

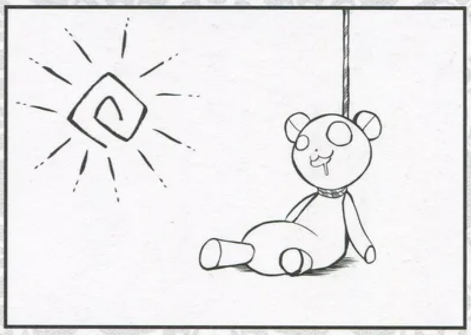


オズ　「よいではないかー
よいではないかー！」
ギル　「やめてくれ
えええええ！」
ブレイク「諦めがわるいですよぉ？
ギルバート君。
ほら、早く黒猫ちゃんになってくださいにゃん☆」
ギル　「にゃんとか言うな！」
ブレイク「にゃーん。」
シャロン「ではアリスさんにはこのウサミミを！」
アリス　「なんだこれは。
おいシャロン、
コンテストにでるのは私じゃないぞ！」

シャロン「そんなことはもうどうでもよいのです！
私は皆さんをいじれて
可愛いアリスさんを見れれば
それで満足ですにゃんっ！
おほほほほほほほほほ！」
ギル　「とうとう本音が出たな。」
ブレイク「全くお嬢様には困ったもんですにゃーん。」
エミリー「にゃーん。」
オズ　「ほらほらギル、次は猫のお髭を書きましょうにゃ〜。」
ギル　「いやだにゃあああああああああああああん！」



ブレイクN（ナレーション）「かくして、オズ君のなんてことない一日は、なんてことなく過ぎ去っていくのです。そして、それから一ヶ月後…………。」

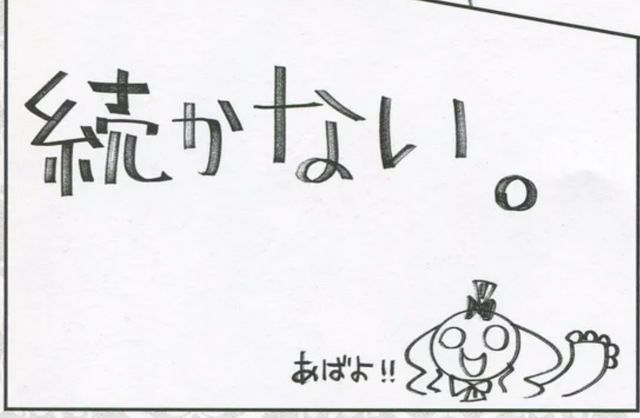




アリス「おいシャロン、それはこの前とはまた違う雑誌か？」
シャロン「ええ、最新版が届いたんです。確かこれには…………女装コンテストの様子がレポートされているはずですわ。」
オズ「へー、気になるな。結局どんな人が優勝したんだろう。」
ギル「どれどれ。」
ブレイク「ふむふむ…………優勝者は…………。」

全員「こ…こいつは…………!!!!!!?」



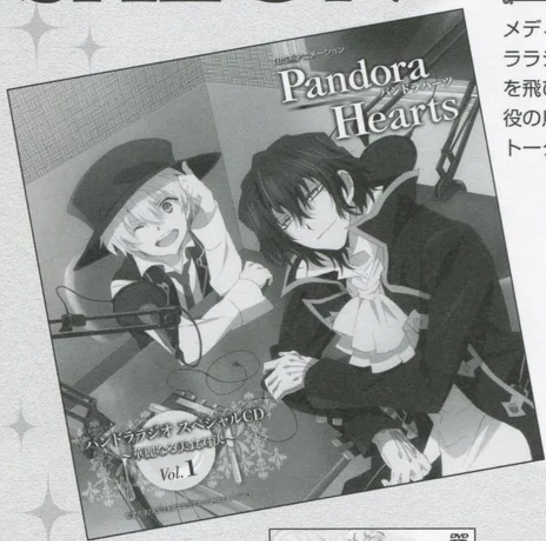


「Knave of Hearts」
限定ミニ劇場パンドラハーチュ!!!
～オズ君のなんてことない一日～
おしまいっ★

GOODS INFORMATION SALON

『PandoraHearts』の世界から、たくさんのアイテムが登場！　パンドラならではのバラエティあふれるグッズ達でお部屋を満たしちゃおう★





DJCD

「パンドララジオ スペシャルCD」

メディファクラジオ内で配信されている、あの「パンドララジオ～アヴィスの使者がやってくる!?」がスタジオを飛び出して完全CD化。オズ役の皆川純子さんとギル役の鳥海浩輔さんをホストに、毎回豪華ゲストと楽しいトークを繰り広げる出張版ラジオを永久保存!!

Vol.1
～華麗なる美食対決～
皆川さんが歌う、オズのキャラクターソング『swear to …』も収録！
ゲスト：石田彰
2,520円(税込)
品番：VTCL-60146
発売中

Vol.2
～肉、肉、お肉～♪ 究極の牛肉パラダイス～
川澄さんが歌う、アリスのキャラクターソング『禁じられた遊び』も収録！
ゲスト：川澄綾子
2,520円(税込)
品番：VTCL-60147
発売中

Vol.3
～ロケ？海外？ どこでラジオをやってるの!?～
鳥海さんが歌う、ギルのキャラクターソング『Truth』も収録！
2,520円(税込)
品番：VTCL-60148
9月23日発売予定

発売元：フライングドッグ
販売元：ビクターエンタテインメント

ドラマCD

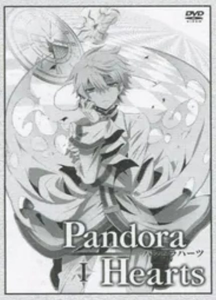
「『PandoraHearts』ドラマCD」

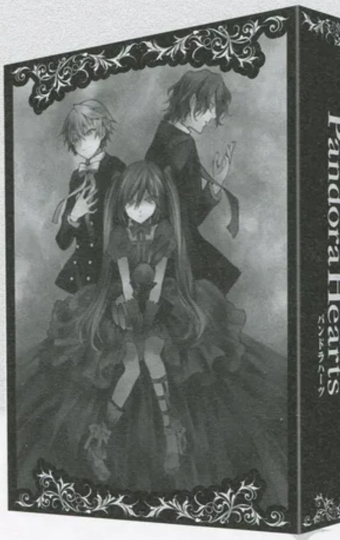
アニメ『PandoraHearts』のキャラクター達の、本編では見られなかった日常をドラマCDで楽しもう！

ドラマCD１ CDドラマシアター『ベザリウス学園の悪夢』
2,730円(税込)
品番：VTCL-60166
9月23日発売予定

ドラマCD２ CDドラマシアター(仮)
2,730円(税込)
品番：VTCL-60167
10月14日発売予定

発売元：フライングドッグ
販売元：ビクターエンタテインメント

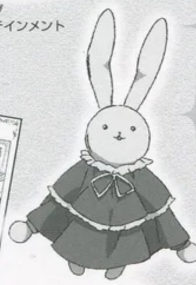




DVD

あの名場面を、豪華な初回特典付きのDVDでもう一度観よう！　毎巻パンドラのキャラクター達が別の世界(!?)で活躍する「スペシャル映像特典」はファン必見です。さらに１巻、4巻、7巻では望月先生描き下ろしのDVD3巻収納BOXがもらえちゃう。全巻揃えて完成する、キャラクターデザイン小林千鶴さん描き下ろしのトランプや、望月先生描き下ろしマンガ「不思議の国のギルバート」も絶対手に入れよう！







Retrace:1 収録 特典映像『迷探偵無礼句!!!』



Retrace:2収録　特典映像『シャロンの胸キュンドキドキ大作戦』





Retrace:Ⅰ～Ⅲ　発売中
以下、続々発売予定！
Retrace:Ⅳ　2009年10月23日
Retrace:Ⅴ　2009年11月25日
Retrace:Ⅵ　2009年12月22日
Retrace:Ⅶ　2010年1月22日
Retrace:Ⅷ　2010年2月25日
Retrace:Ⅸ　2010年3月25日

Retrace:Ⅰ　3,990円、(税込)
Retrace:Ⅱ～Ⅸ　各7,140円（税込）

発売元：メディアファクトリー・TBS
販売元：メディアファクトリー
問い合わせ先：メディアファクトリーカスタマーサポートセンター
電話番号：03-5469-4880
受付時間：月曜～金曜　10時～18時（祝・祭日を除く）
公式HP：http://www.tbs.co.jp/anime/ph/

※画像は各巻に封入されるトランプの一部です。
※画像はデザイン中のものです。

携帯シール

携帯電話や手帳や小物など、いろいろなものに貼って、あなただけのオリジナルグッズを楽しんじゃおう。

368円(税込)
サイズ：約65mm×165mm
フルカラー印刷
9月中旬頃発売予定
発売元：ムービック



メタルステッカー

思わず3種揃えたくなる!? お気に入りキャラを大きめサイズで楽しめるメタルステッカー。各368円(税込)発売元：ムービック





ファスナーアクセサリー

3人のちびキャライラストが、可愛いトランプ風チャームに！
カバン、ペンケース、ストラップなど、好きなところに付けてね。



各525円(税込) サイズ：約20mm×25mm 金属製／フルカラー印刷
9月中旬頃発売予定 発売元：ムービック

クリアブックマーカーセット

美麗イラストがクリア素材に映えるブックマーカー4枚セット。読書のお供にどうぞ。

683円（税込）
発売元：ムービック



レターセット

便箋2柄×各5枚、封筒5枚、シール1シートのセット。素敵なイラストと共に手紙を届けてみてはいかが？

473円(税込)
サイズ：便箋136mm×190mm
封筒153mm×105mm
便箋表：フルカラー印刷
便箋裏・封筒：ブルーグレー 1色印刷
発売元：ムービック



リトルマスコット

オズ達が2.5等身のマスコットに変身♥ 約30mmのミニサイズだから、バッグや携帯につけても、お部屋に並べてもキュートだね。

１回300円(税込) カプセル用自動販売機にて発売中

発売元：タカラトミーアーツ
問い合わせ先：株式会社タカラトミーアーツお客様相談室
電話番号：03-5650-0033
受付時間：月曜～金曜 10時～17時（祝・祭日を除く）









まだまだ広がるパンドラワールド!

ブレイクのキャンディ缶

紅茶キャンディ20粒が入った、ちびキャライラストがかわいい八角形の缶ケース。ブレイクみたいにお気に入りのお菓子を持ち歩こう！

998円(税込)　サイズ：約73×73×高さ113mm
缶ケース：ブリキ製フルカラー印刷／紅茶キャンディ 20粒入り
発売元：ムービック



メタルポートレート

美麗イラストがメタル素材に映えるポートレート2種が登場！　是非お部屋に飾ってね。



各630円(税込)
サイズ：本体A4サイズ
台紙345mm×255mm
本体：メタル素材にフルカラー印刷
台紙：黒色台紙にそれぞれ金・銀1色印刷
発売元：ムービック

ピンアクセサリー

プレートチャームとチェーンが揺れる、オズ、ギル、ブレイクをイメージしたデザインのピンアクセサリー。



各683円(税込)
サイズ：約55mm×60mm
金属製／プレートチャーム付き
9月中旬頃発売予定
発売元：ムービック





設定資料集

魅力的なキャラクター、衣装、チェインなどの繊細美麗な設定がぎっしり64ページ詰まった設定集！



1,575円(税込)　A4サイズ／64ページ
表紙フルカラー印刷／本文片面黒１色印刷　9月中旬頃発売予定
発売元：ムービック
問合せ先:アニメイトサポートセンター
電話番号：03-3972-0022
受付時間：月曜～金曜　10時～18時(祝・祭日を除く)
アニメイト公式HP：http://www.animate.co.jp/
販売場所：全国アニメイト他

アリスコートセット

大きなリボンや袖口のディティールなどを見事に再現。ひろがるラインのコートを、アリスみたいにかっこよく着こなそう！オズの衣装も近日発売予定。

39,900円(税込)
サイズ：S/M/L/XL
セット内容：コート、リボン
※シャツはセットに含まれません。
2009年11月上旬発売予定

発売元：コスパ
問い合わせ先：コスパ
電話番号：03-3770-3699
受付時間：月曜～金曜　10時～17時
(祝・祭日を除く)
コスパティオHP：http://www.cospatio.com/

他にも続々発売予定!!

※すべて2009年9月現在の情報です。

Pandora Hearts
パンドラハーツ
OFFICIAL ANIMATION GUIDE
～パンドラ　ボックス～

2009年9月26日　初版発行

原作
望月淳
（月刊「Gファンタジー」スクウェア・エニックス刊）

企画・制作
武笠義友　志賀むつみ　鈴木純子
（株式会社スクウェア・エニックス）

編集・文
池田智美　鬼澤未妃
（株式会社ウェッジホールディングス）

執筆
合田夏子
若松久美子（株式会社スクウェア・エニックス）

デザイン
大平由美子　中西知子　川又紀子

Special thanks
株式会社TBSテレビ
株式会社メディアファクトリー
株式会社ジーベック
株式会社ムービック

発行人
田口浩司

発行所
株式会社スクウェア・エニックス
〒151-8544
東京都渋谷区代々木3-22-7
新宿文化クイントビル3F

書籍内容についてのお問い合わせ
TEL　03-5333-1634

営業販売についてのお問い合わせ
TEL　03-5333-0832
FAX　03-5352-6464

印刷所
図書印刷株式会社

カバーイラスト（描き下ろし）
作　画：小林千鶴
仕上げ：松岡珠江
コンポジット：中野剛

Printed in Japan

ISBN978-4-7575-2694-5 C0979



PandoraHearts
OFFICIAL ANIMATION GUIDE
〜パンドラボックス〜

SQUARE ENIX

9784757526945
1920979015241
ISBN978-4-7575-2694-5
C0979 ¥1524E
定価：本体1524円＋税
SQUARE ENIX.



PandoraHearts
OFFICIAL ANIMATION GUIDE
～パンドラボックス～

PandoraHearts OFFICIAL ANIMATION GUIDE ～パンドラボックス～ スクウェア・エニックス